

82
743

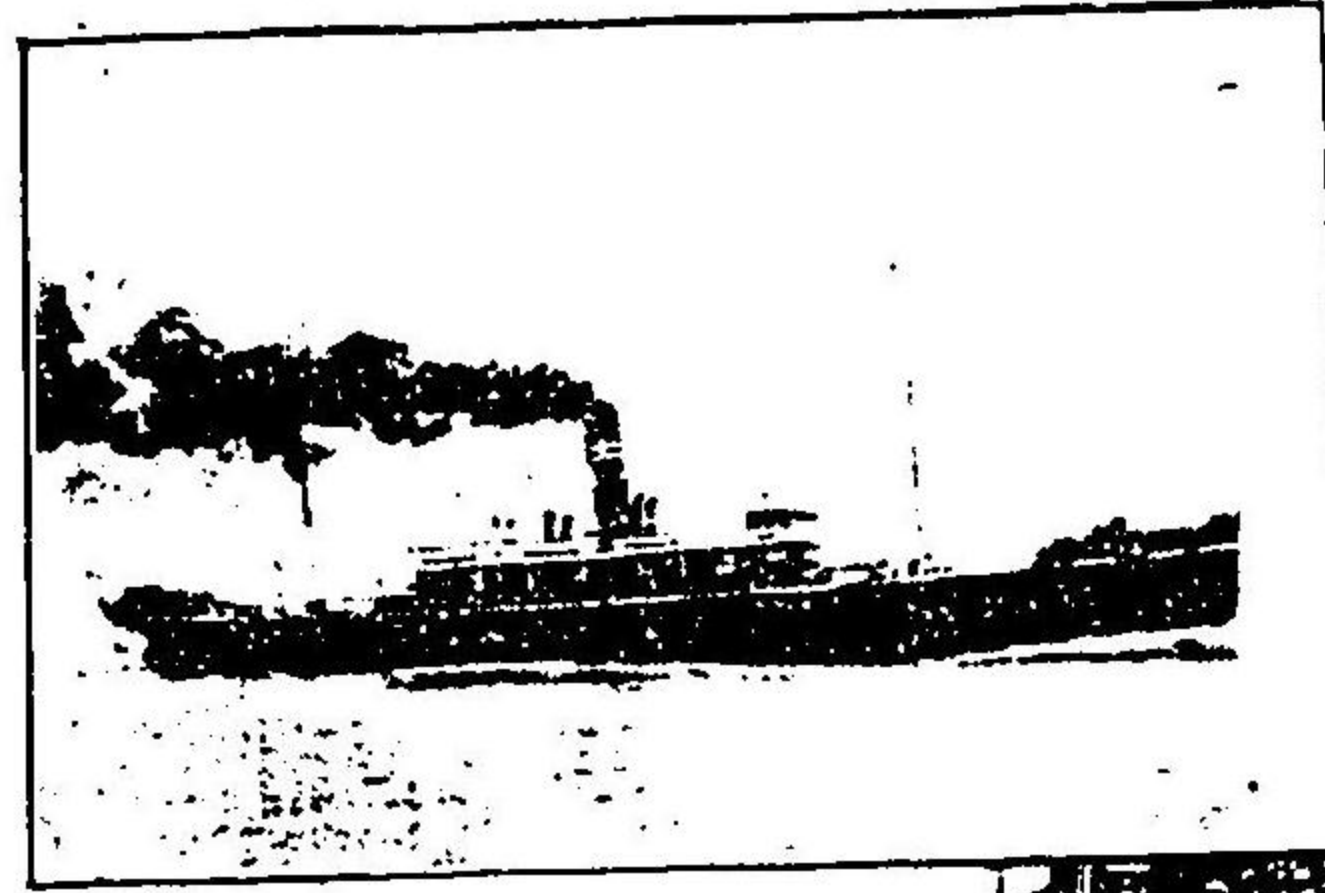
道鐵亞利比西
內案行旅



航 直 鹽 浦 賀 敦
 Vladivostock to Japan (Tsuruga)

社 會 式 株 船 商 阪 大
 OSAKA SHOSEN KAISHA

丸 山 鳳



S. S. HOZAN-MARU (鳳山丸)

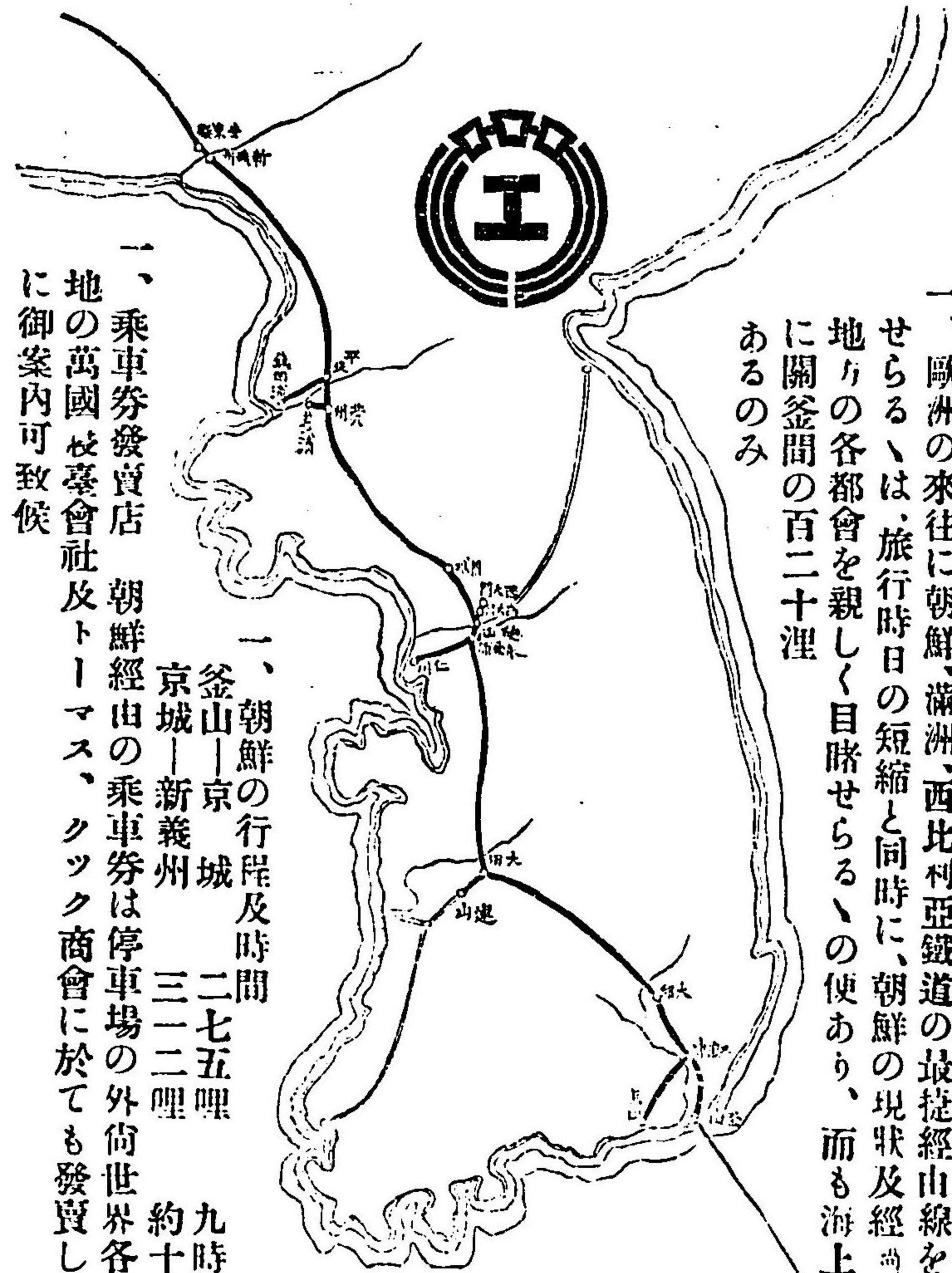


DINING ROOM (食堂)

汽船鳳山丸は最新式の建造に係り總噸數貳千五百九噸設備最も完全にして客室は船體の中央部に位し波浪澎湃の間に在るも毫も動搖を感せず敦賀發は毎金曜日午後五時にして翌々日即ち日曜日午前九時浦鹽に着し同日午後一時二十分發歐洲行急行寢臺列車に接続す浦鹽發は毎火曜日正午にして其日午前六時歐洲より浦鹽に到着する急行寢臺列車に接続し翌々日即ち木曜日午前五時敦賀に着す

敦賀代理店大和田回漕部は海岸稅關前にありて停車場より約十五町人力車約廿分程なり連絡乘船券の發賣露貨の兩替、旅券の裏書其他諸般旅客の便宜を計る事最も懇切丁寧を極む

浦鹽代理店林回漕店はキタイスカヤ街帝國總領事館前に在り鳳山丸棧橋より數町旅客各位にして市内の巡覽を望まれば最も懇切に御便宜を計るべし



一、歐洲の來往に朝鮮、滿洲、西北利亞鐵道の最捷經山線を撰定せらるゝは、旅行時日の短縮と同時に、朝鮮の現状及經山大陸地方の各都會を親しく目睹せらるゝの便あり、而も海上は僅に關釜間の百二十哩あるのみ

一、乗車券發賣店 地の萬國校臺會社及トーマス、クック商會に於ても發賣し懇切に御案内可致候

一、朝鮮の行程及時間
 釜山—京城 二七五哩
 京城—新義州 三一二哩

九時間半
 約十時間

局 道 鐵 府 督 總 鮮 朝

SENDAI HOTEL

TEL. NO. 214 (Long Distance)

This is the only hotel of European style in **Sendai**, and stands in front of the station. **Sendai**, is 210 miles, and 10 hours by train from **Tokyo**. The beautiful islands of **Matsushima**, one of the three most celebrated pieces of scenery in Japan, is one hour by rail from **Sendai**, and it is easy to go from **Matsushima** to **Shiwogama**, and from **Shiwogama** to **Kinkwazan**. Both **Shiwogama** and **Kinkwazan** are also well known to tourists in North-Eastern Japan.

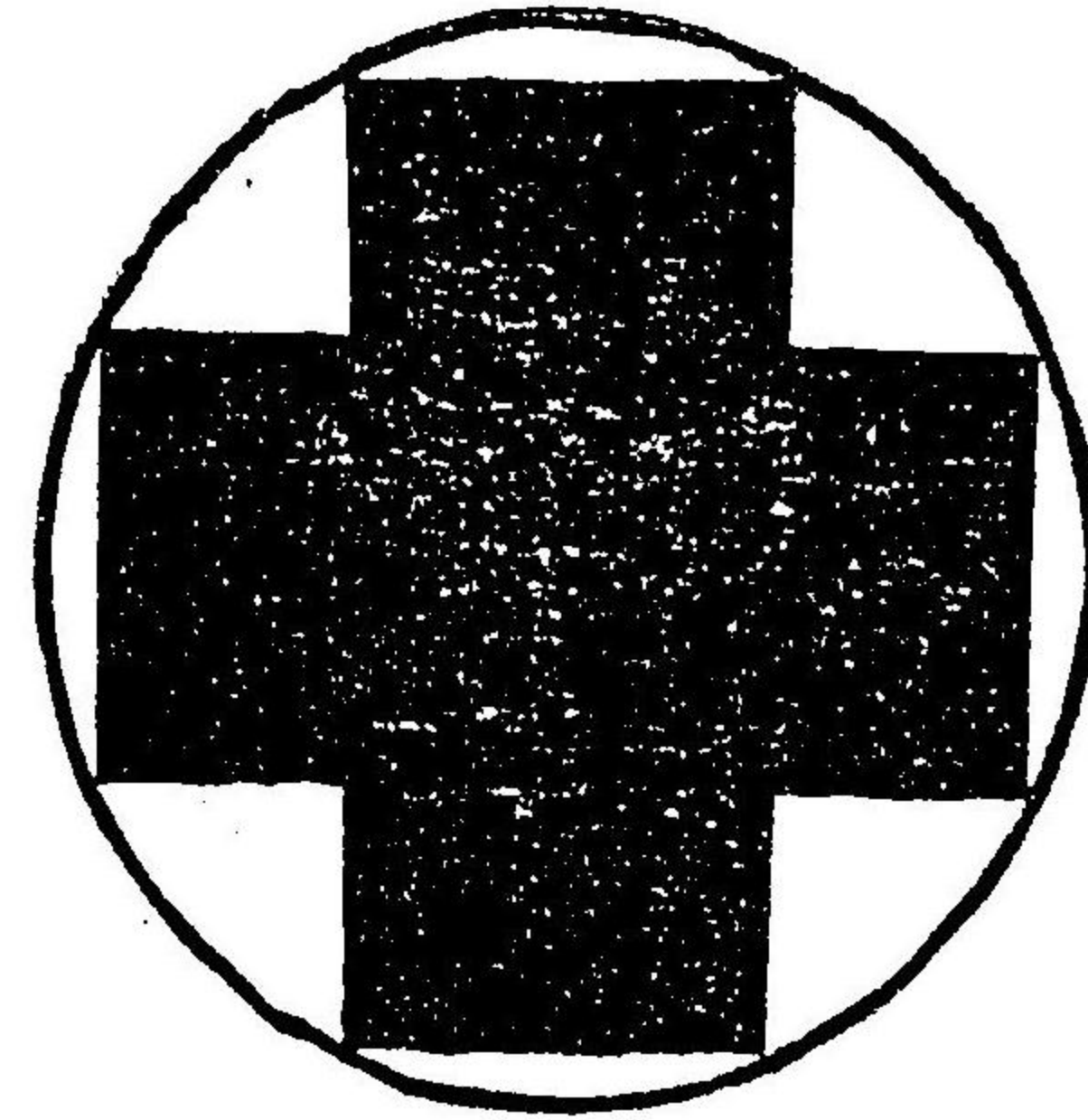
當館ハ仙臺停車場前ニ在ル和洋折衷ノ三階建ナリ内外ノ投宿客ヲ遇スル勉メテ誠實ニ御取扱可申尙ホ東北線列車内ノ食堂ハ勿論當停車場樓上ノ食堂ニ於テモ和洋飲食物恰好ニ販賣可致候

仙臺ホテル

(長電話二一四番)

SHIP OWNERS & BROKERS.
PACKING, SHIPPING, LANDING AND FORWARDING AGENTS.

東京、神戶、横濱
回漕店



宇都宮
合資會社

SPECIALTIES:—

Heavy Cargo Transportation,
Porcelain and Curios Packing,
Furniture and Piano Moving.

Utsunomiya & Co., Ltd.

President—KINNOJO UTSUNOMIYA.

HEAD OFFICE:—

No. 7, Minamikinroku-cho, Kyobashi-ku, Tokyo.
Phones:— 28, 29, 769, 770 (Shimbashi).

BRANCHES:—

Aioicho Rokuchome,
YOKOHAMA

Phones: 1443, 2440.

Sakaemachi Sanchome,
KOBE

Phones: 1519, 3408.



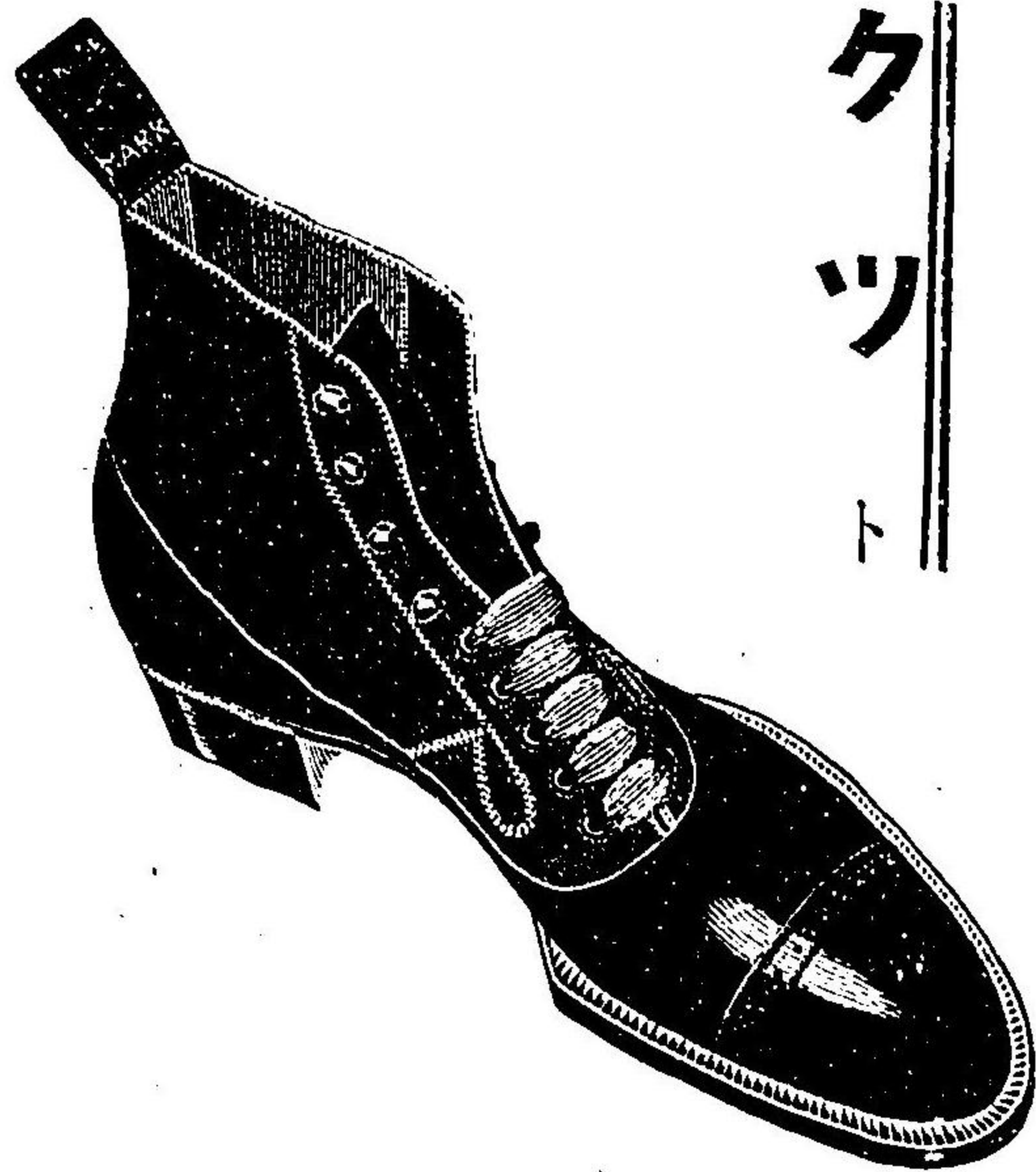
所行發符切絡聯船汽車瀨

社會車列行急臺寢國萬

店理代京東

地番二目丁二町樂有區町麴

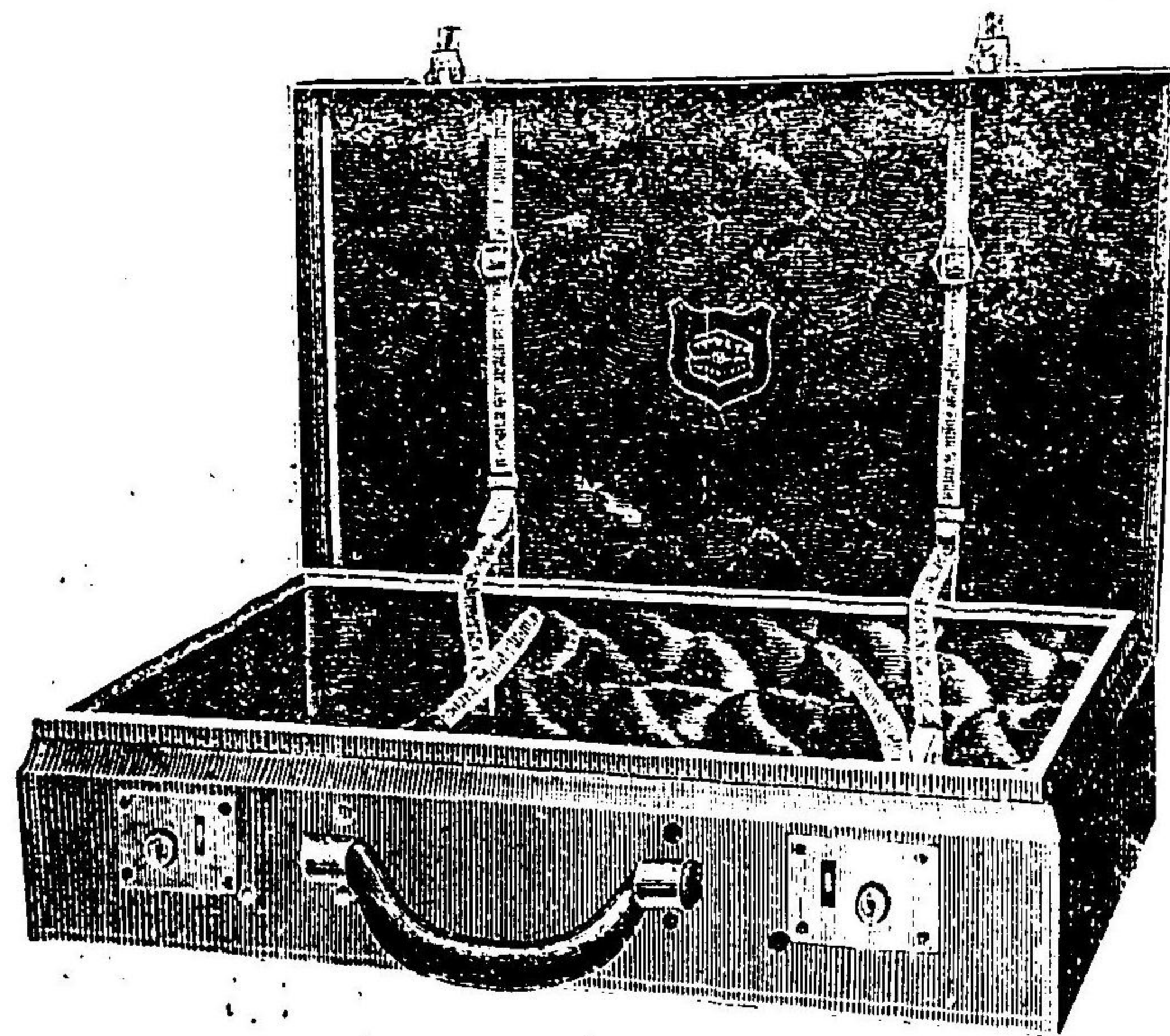
番〇八五二 } 局本話電
番五二五二 }



ク
ツ
ト

カ
バ
ン
ハ

ト
モ
エ
ヤ



東京銀座

ト
モ
エ
ヤ

電話京橋四番

82-743

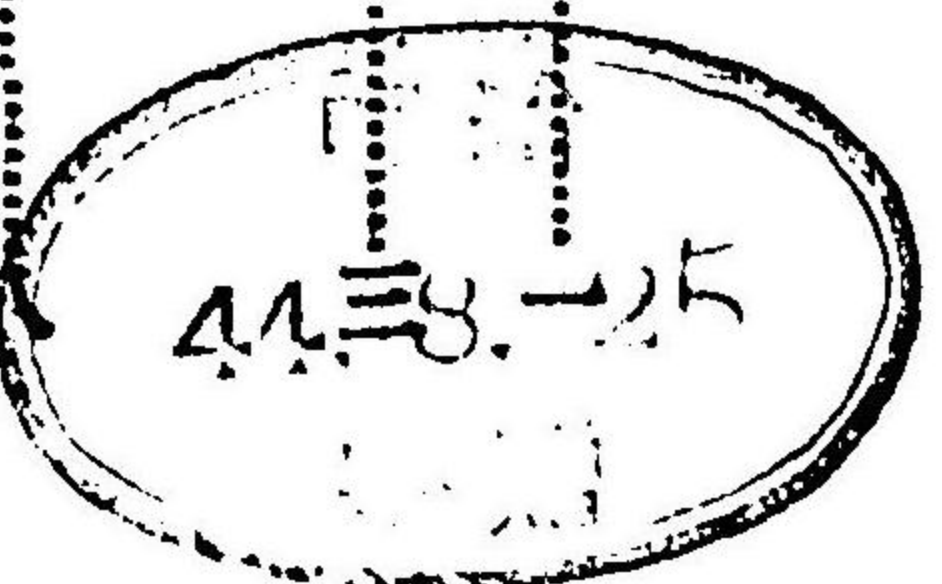
營業主要目次

- 一 鐵道汽船主要地切符發行
 - 一 南滿州鐵道、主要地切符發行
 - 一 西比利亞鐵道、及歐州各地聯絡切符發行
 - 一 清國鐵道切符發行
 - 一 日本郵船會社切符發行
 - 一 大坂商船會社切符發行
 - 一 義勇艦隊汽船切符發行
 - 一 佛國、郵船、北ロイド汽船其他主要汽船會社切符發行其他
 - 一 內外團體旅行組織
 - 一 外人旅行案内
 - 一 內外貨幣兩替
 - 一 旅行新聞廣告取次
- 以上の外旅行に關する一切の事務

本書の目次

- 本邦と歐州諸都市間汽船汽車連絡切符
- 西比利亞鐵道
- 汽車の構造——列車の編成——圖書閱覽室及談話室——浴室
- 甲東洋、歐羅巴間主要通路
- 乙東洋、亞米利加間主要通路
- 丙東洋、濠州間主要通路
- 一、敦賀、浦潮斯德間發着連絡表
- 一、亞、歐間主要通路日程并に里程表
- 一、北京、大連、奉天、長春、哈爾濱、汽車發着表
- 一、上海、長崎、浦潮斯德、汽船發着表

支那汽船會社發行



- 一、上海、大連間定期汽船發着表……………十四
- 一、東京、橫濱、敦賀、浦潮斯德、莫斯科、伯林、巴里、倫敦、汽車汽船發着表……………十五
- 一、敦賀……………十七
- 一、敦賀、浦潮斯德間連絡……………十八
- 一、浦潮斯德着……………十八
- 一、浦潮斯德手荷物通關及び運搬……………十九
- 一、浦潮斯德……………二十
- 市内遊覽地——旅館——湯屋井に理髮店——馬車賃
- 一、浦潮斯德より哈爾濱——莫斯科——露都——伯林——巴里——倫敦に至る沿線主要——各驛略案内……………二十五
- 一、英國海峽……………四十七
- 一、大連經由線……………五十三

南滿州鐵道——滿鐵支線及乘換驛

- 一、大連……………五十五
- 市内及附近遊覽地——旅館——人力及馬車賃
- 一、京奉鐵道……………六十二

吉長鐵道——東清鐵道

- 一、南滿州鐵道安奉支線……………六十五
- 一、旅順支線……………六十八
- 一、營口支線……………六十九
- 一、撫順支線……………七十一
- 一、朝鮮鐵道……………七十三
- 一、注意事項……………七十九
- 一、旅券……………八十

- 一、携帶品.....八十
- 一、書籍類.....八十一
- 一、藥品.....八十二
- 一、衣服類其他.....八十二
- 一、旅行用荷物の荷造.....八十三
- 一、西比利亞鐵道無賃超過手荷物運賃率.....八十四
- 一、西比利亞鐵道乘車合圖.....八十五
- 一、西比利亞鐵道乘換驛.....八十六
- 一、手荷物検査驛.....八十六
- 一、貨幣兩換.....八十七
- 一、露國通貨.....八十九
- 一、歐米各國通價の比價.....九十

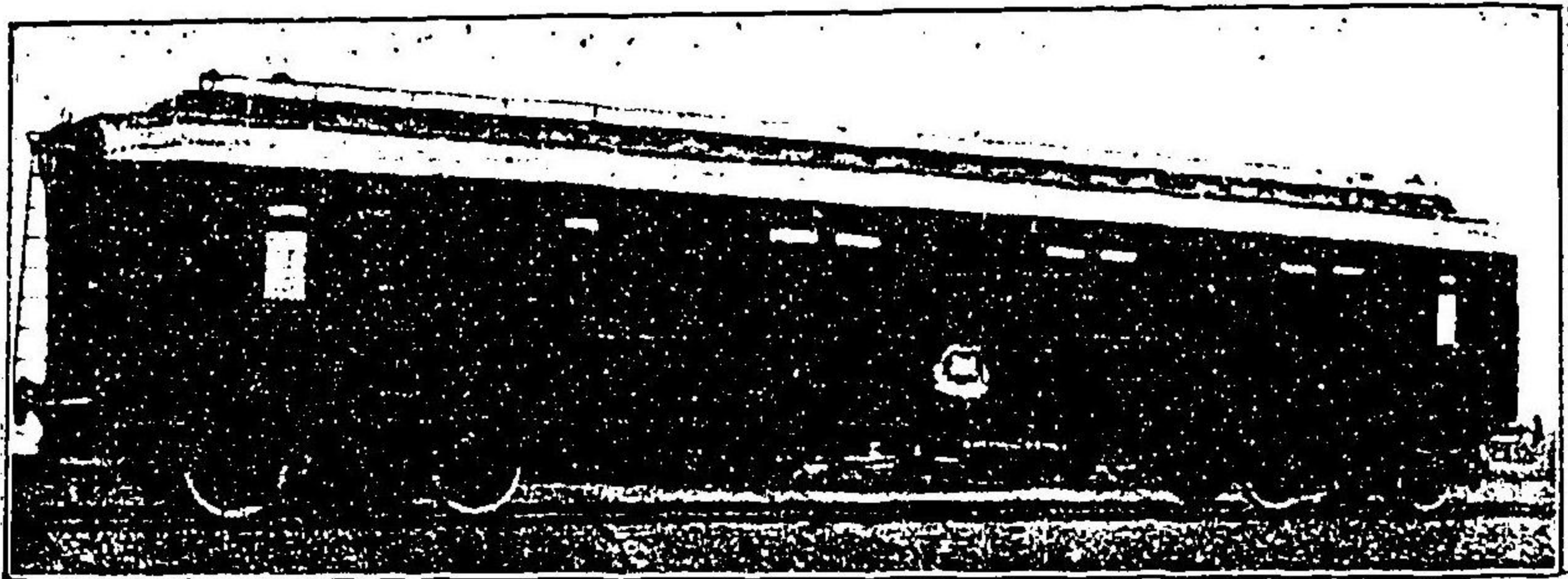
- 一、郵便及電信.....九十一
- 一、時差.....九十二
- 一、外國渡航旅客の注意.....九十四
- 一、歐州航路.....九十五
 - 香港—新嘉坡—彼爾—馬耳塞
- 一、米國航路.....百二
- 一、濠州航路.....百二
- 一、附錄、旅行用簡易露語

終

本邦ト歐州諸都市間
汽車汽船連絡切符

本邦に於て右切符發行する所は萬國寢臺急行列車會社代理店なり萬國寢臺會社は歐羅巴各國政府及び鐵道會社と契約をなし同社特製に係る設備周到最新式善美なる急行寢臺列車を運轉し各線の鐵道切符を發賣する特典を有す又同會社代理店は會社寢臺切符及び各鐵道會社の公認切符發行所なるのみ成す旅行者の便を計り船車聯絡切符を發賣す本邦に於ける特約會社本邦に於ては帝國鐵道院、南滿州鐵道會社、朝鮮總督府鐵道并に日本郵船會社、大阪商船會社其他清國鐵道、東洋各地の主要なる内外汽船會社等と特約聯絡切符を發行するを以て西比利亞經山歐州諸都市、滿州、朝鮮、清國、西比利亞并に濠州、印度、「ヒリピン」其他太平洋又は蘇士經由諸港等への長途の旅行にも容易且つ安全に聯絡する切符を發賣す

同會社代理店 は右切符を發賣するのみならず旅行者の爲めに周到丁寧に旅行に關する注意説明をなし又必要なる案内冊子地圖等を寄贈す尙會社は主要各地に特約『ホテル』を有するを以て旅客の便甚だ大なり



急行列車ノ外觀

西比利亞鐵道

東洋、歐羅巴間最捷最廉の通路なり

露國當局者は夙に列車の改良旅行の安全手荷物
の稅關手續を簡易にする等大に心を用ひて旅行者の
便を計り以て旅客の吸収に怠らず尙且つ明治四十
三年八月より『イルクーツク』以東急行列車全部
の經營を萬國寢臺列車會社に委任し然して『イル
クーツク』以西の經營も現下兩者の間に交渉進捗
中にあり されば本鐵道に依りて旅行する内外人
年々益々増加し殊に本邦人の歐州へ往復する者官

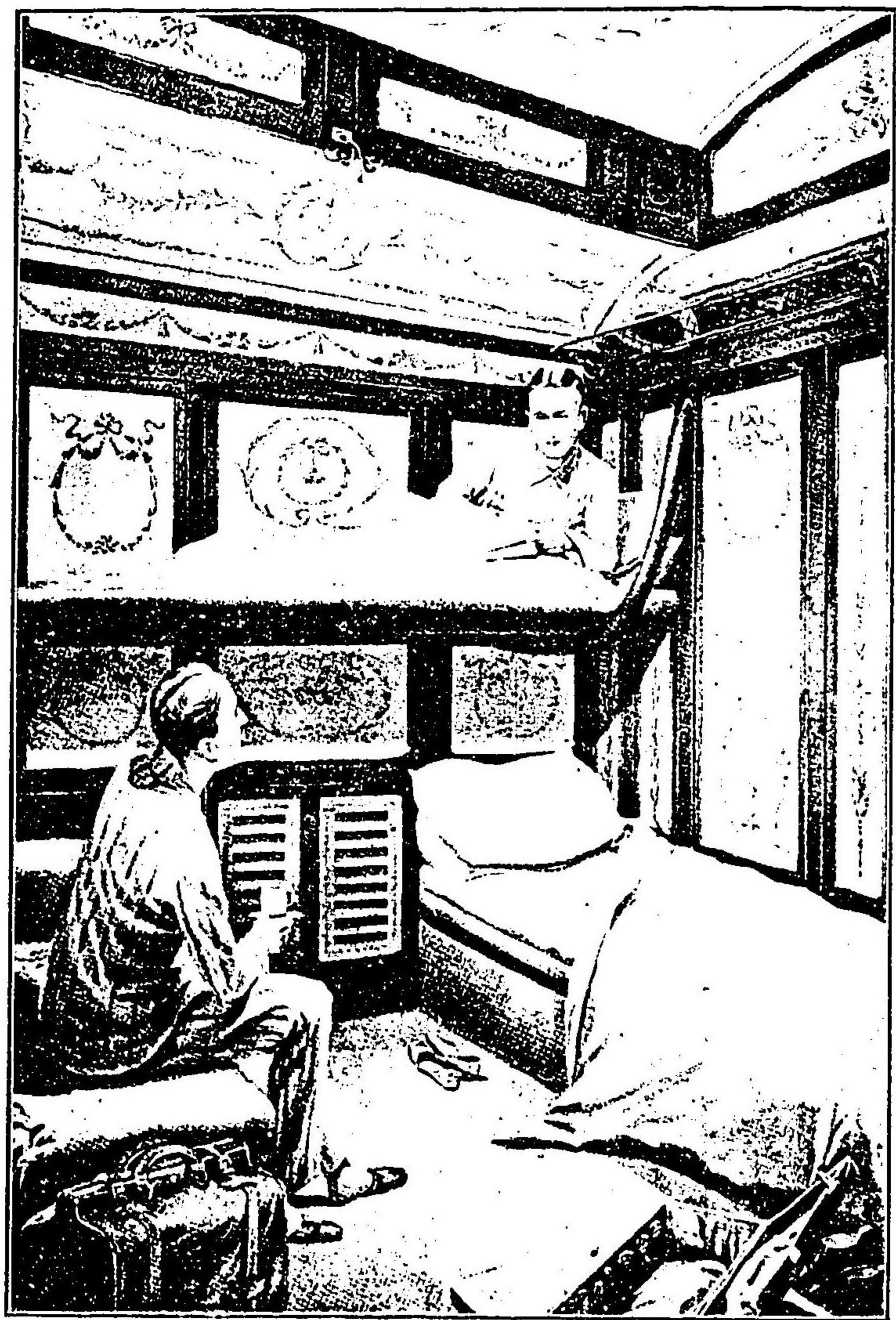
更と實業家とを問はず殆んど全く本通路を取らに至れり

本鐵道の通路は滿州の平原西比利亞の奇觀『バイカル』の絶景『ウラル』高原等土地
風俗人種の推移時々刻々耳目を新たにすることを以て十有餘日の列車生活を飽く事なく未だ
曾て旅客倦怠の聲を聞かず

西比利亞鐵道瀛車の構造

萬國寢臺瀛車と露國々有寢臺瀛車とは其構造略ぼ同一にして何れも特別に大きく且つ
廣く最新式設備完全体裁優美なる『ボーギ』式なり 寢臺車は各室の廣さ約方六呎計に
して扉の外には幅二尺餘りの廊下を通せり

客室一等は一室に二人詰又は四人詰の二種とし二等は四人詰とす寢床は一等は上
下二段に二等は兩側に對ひ合ひて二人宛 上下二段となれり 室の廣さ何れも充分
にして動搖甚だしからざれば安眠することを得 車体は最も堅牢にして窓硝子は露



(間夜) 部内の車列

國式の二重設備ありて外部よりの寒を防ぎ室内は蒸氣爐の暖氣充分に行届き夏季は電氣



列車内の部分 (圖)

通風器の設備あれば寒暑共に少しも不自由なし 尙室内廣くして棚上には大抵の行李又は鞆等皆持ち込まり而して扉を閉ち内部より鍵せんか室内は全然城廓の如く決して侵さるゝことなかるべし

全鐵道列車の編成 西比利

亞鐵道に於ける汽車の構造は大畧前記の如くなるか扱て其列車の編成は

如何にと云ふに一等車一輛一二等合造車一輛 二等車二輛及び食堂喫煙車一輛手荷物車

一輛を以て編成し一二等共に婦人室の特設あり



列車内の食堂

全鐵道食堂車 全鐵道に連結さるゝ食堂車の構造は四人掛卓子六脚及び二人掛卓子六脚合計十二卓子にて三十六人前分座席の設備あり 午前八時より午後十二時迄開かれ食事は献立表に依て隨意命することを得献立は簡單にして普通「スープ」の外二三品及び紅茶「コーヒー」菓子等なり 食料は大抵一圓五十錢乃至二圓なりとす尙歐洲方面に於ける食堂車内食料金は大約左の如し朝食十片乃至一志八片晝食二志六片乃至四志晚餐三志六片乃至六志又酒類其他の飲料は「ワインリスト」ありて瓶賣「コップ」賣の便あり

全鐵道圖書閱覽室及談話室

鐵道列車内に在ては人情風俗及び人種を異にする全一列車中の他旅客と一室に會し談論



列車内の化粧室

浦潮斯德より莫斯科まで十日を要する西比利亞歡笑するは旅客相互倦怠を防ぐの最良手段なりとすされば列車中食堂車の一部を分ちて圖書閱覽室を設け新聞雜誌を備へ以て旅行中讀書談話社交等の便に供せるが最も有益にして且つ最も愉快なる一室なりとす

全上浴室

旅客の疲勞を慰する爲め荷物車の一部に浴室の設備あり旅客若し沐

浴せんと欲する時は列車「ボーイ」に命じ何時にても浴すること得其料金一回約二留五十哥なりとす

甲東洋、歐羅巴間主要通路

は左の如し

一、東東
横濱
神戸
.....
敦賀
.....
浦潮斯德

二、上海
.....
長崎
.....
浦潮斯德

三、東京
横濱
門司又は下ノ關
.....
大連
.....
哈爾濱

四、東京—横濱—神戸
下ノ關—釜山—京城
.....
仁川
.....
大連
.....
哈爾濱

五、上海
.....
大連
.....
哈爾濱

六、上海
.....
漢口
.....
北京
.....
奉天
.....
哈爾濱

七、東京
横濱
神戸
.....
下ノ關
.....
釜山
.....
新義歩
.....
奉天
.....
哈爾濱

乙東洋、亞米利加間主要通路

香港
.....
上海
.....
長崎
.....
門司
.....
神戸
.....
横濱
.....
桑港
.....
シヤトル
.....
クコマ

丙東洋、濠州間主要通路

横濱
神戸
門司
長崎
.....
香港
.....
マニラ
.....
木曜島
.....
タウンズウイル
.....

.....プリズベン.....シドニー.....メルボルン

敦賀、浦潮斯德間發着連絡表
(四四年夏期)

西比利亞鐵道急行列車并に之と接続する大阪商船會社汽船及び露國義勇艦隊汽船
露都及び莫斯科行

大阪商船汽船 義勇艦隊汽船

敦賀 發	(金曜)	午後五時	月曜 及び	水曜	午後六時
浦鹽 着	(日曜)	午前九時	水曜 及び	金曜	午前八時
汽車(浦潮發(日曜))		午後一時二十六分	水曜	金曜	午後一時二十分

浦鹽斯德金曜日發は露都行にして他の日曜日と水曜日發は何れも莫斯科行とす
露都及び莫斯科より

汽車浦潮着	火曜	午前八時	木曜	土曜
-------	----	------	----	----

大阪商船汽船 義勇艦隊汽船

浦鹽 發	火曜	正午十二時	木曜	土曜	午後四時
敦賀 着	木曜	午前五時	土曜	月曜	午前六時

浦鹽斯德木曜日及び土曜日着は莫斯科より而して火曜着のみは露都より來るものなり

亞、歐間主要通路日程并ニ里程表

敦賀	浦鹽斯德	一日半	四九〇哩
長崎	浦鹽斯德	二日	六五三哩
上海	浦鹽斯德	四日半	一一二〇哩
浦鹽斯德	『ハルビン』	一日	七二九露里
浦鹽斯德	『イルクーツク』	五日	三〇二九露里
全	チエリヤビンスク	八日	六〇七六露里

全	モスコ	十日半	八一三六哩
全	露都	十一日	八七七九(コヌユ)經由
全	ベルリン	十二日半	八三八八(ヘルム經由)
全	パリ	十三日	六六二七哩
全	ロンドン	十三日	四七八九哩
下ノ關又は門司	大連	二日	七三八三哩
上海	大連	三日	五一〇哩
大連	長春又は寬城子	十八時間	五四二哩
寬城子	ハルビン	九時間	四四〇哩
			一四八哩

北京 奉天 長春 哈爾濱
大連 汽車發着表

大連	發	後 六、〇〇	(日、火、金)
北京	發	前 八、三〇	毎日發
奉天	着	後 七、三五	(日、火、金)
全	發	前 三、〇〇	(日、火、金)
長春	着	前 九、五五	(月、水、土)
全	發	前 一、四〇	(月、水、土)
哈爾濱	着	後 八、二〇	(月、水、土)

上海、長崎、浦潮斯德
汽船發着表

上海	發	潮時	金曜日
全	發	後二、〇〇	日曜日

浦鹽斯德 着 後四、〇〇 火曜日

上海、大連間 定期汽船發着表

上海 發 日曜及び木曜
 大連 着 火曜及び土曜

東京。横濱。敦賀。浦潮斯德
 莫斯科。伯林。巴里。倫敦
 汽車汽船發着表

東京	發	後	一一、〇〇	(日、木)	後	六、三〇	(火)
横濱	發	後	一一、四九	(日、木)	後	七、〇九	(火)
敦賀	着	後	三四五	(月、金)	前	九、三〇	(水)
全	發	後	六、〇〇	(月、金)	後	五、〇〇又六、〇〇	(水)
浦潮	着	前	八、〇〇	(水、日)	早朝		(金)
全	發	後	一、二〇	(水、日)	後	一、二〇	(金)
ハルビン	着	前	九、五五	(木、月)	前	九、五五	(土)
全	發	前	一〇、二五	(木、月)	前	一〇、二五	(土)

イルクーツク	着	後	一、四〇	(土、水)	後	一、四〇	(月)
全	發	後	二、二五	(土、水)	後	二、二五	(月)
露都	着	後	四、三〇	(日)
モスコ	着	前	九、一五	(金、火)
全	發	前	九、四五	(金)	後
ワルソ	着	前	一一、〇〇	(土)	後
全	發	後	一二、二二	(土)	後
伯林	着	後	一〇、五三	(土)	前
伯林	發	後	一〇、五九	(土)	前
巴里	着	後	四、〇〇	(日)	前
倫敦	着	後	一〇、四五	(日)	前

右の表に於て敦賀發月曜(浦潮水曜發車)は萬國寢臺直通列車に接續す

又モスコ一金曜發(同じく浦潮水曜發車)は『ノールド、エキスプレス』にして一週一回一等のみ『オーステンド』經由倫敦直行
 尙モスコ火曜發(浦潮日曜發車)は國有列車にして毎日一二等車『フラッシング』經由倫敦行

備考船車發着時間は冬期夏期に變更あるを以て注意を要す

敦賀 敦賀は北陸第一の良港にして名所舊蹟多く又佳景に富む 浦蘆斯徳との間に

定期航路開始以來西比利亞又は歐州行旅客の來往年々に増加し從て瀛車瀛船接續に關する設備も漸次改良され『ホテル』の新設さるゝ等大に繁榮を加へ全く面目を一新せり
 敦賀停車場は埠頭まで約十丁の所に在るも良好なる新道路あり停車場には手荷物通關手續取扱所の設けありて非常に便利なり

前記停車場内聯絡船手荷物通關取扱所に手荷物を附託する時は一定の手數料を以て税關手續をなし停車場より指定船へ運搬す旅客は荷物引換券を受取り取扱人の番號又は姓

名を記憶するを便とす

敦賀 浦潮斯德間連絡

敦、浦兩地間の連絡には別表の如く毎週三回兩地發着の定期船ありて浦潮斯德發着西比利亞鐵道毎週三回の急行列車に接續す 其一は大阪郵船會社汽船一隻鳳山丸(二、五〇〇餘噸)にして毎週一回而して他は露國の義勇艦隊汽船二隻『ベンザ』(二六四八餘噸)『シンピリスク』(全噸)にして毎週二回何れも兩地間を定期航海す各船共新造の客船なり

浦潮斯德着

敦賀港を夕刻出帆し三國岬の燈光を後に見て進航する裡に眼を覺せば四面渺茫として際涯なく唯碧海蒼空を見るのみ紀念すへき日本海大海戰の蹟を過ぎ三日目の未明には既に遙かに大陸を望む『アスコルド』島に針路を採りたる船は全島より約二時間にして港口に達す此所にて檢疫を終れば大阪商船會社汽船は税關倉庫前商港埠頭に義勇艦隊汽船は其専用埠頭に横付けにせらる何れも乗降至て便利なり

着船するや直ちに港務官及び税關吏數名臨船本船に於て旅行券及び手荷物の検査を行



浦 潮 斯 德 停 車 場

ふ旅客は甲板上に自己の手荷物を並列し立會の上検査を受くべし歐州行旅客は其旨前以て事務長又は税關官吏へ通告するを便とす又着船の際は同地萬國寐臺列車會社代理店員本船に來るを以て萬國寐臺列車又は露國々有寐臺列車の別なく聯絡切符所持者の便宜を計るに付就きて相談せらるゝを便とす

潮潮斯德手荷物通關及び運搬

本船に於て

税關官吏の『検査済』の封紙を貼付されたる時は本船に乗り込み來る赤帽『荷物運搬人』(露語)『ノシーリシチツク』日本の赤帽の仕事をなせども赤帽を戴かず皆露人にして一般に白の前垂を掛け胸部に番號を刻したる天保錢形の眞鍮徽章を有す』に命じて辻馬車に積み込ます可

く荷物一個に付大抵二十哥位與ふるを普通とす又手荷物多數なる時は荷馬車を雇ふも可なり一臺に付普通五十哥乃至六十哥とす大抵支那人なれば油斷す可らず通常汽船入港の際は各『ホテル』の『ポーター』埠頭に來るを以て右『ポーター』に荷物を依頼し自身は其儘その『ホテル』に向ふを便利とす

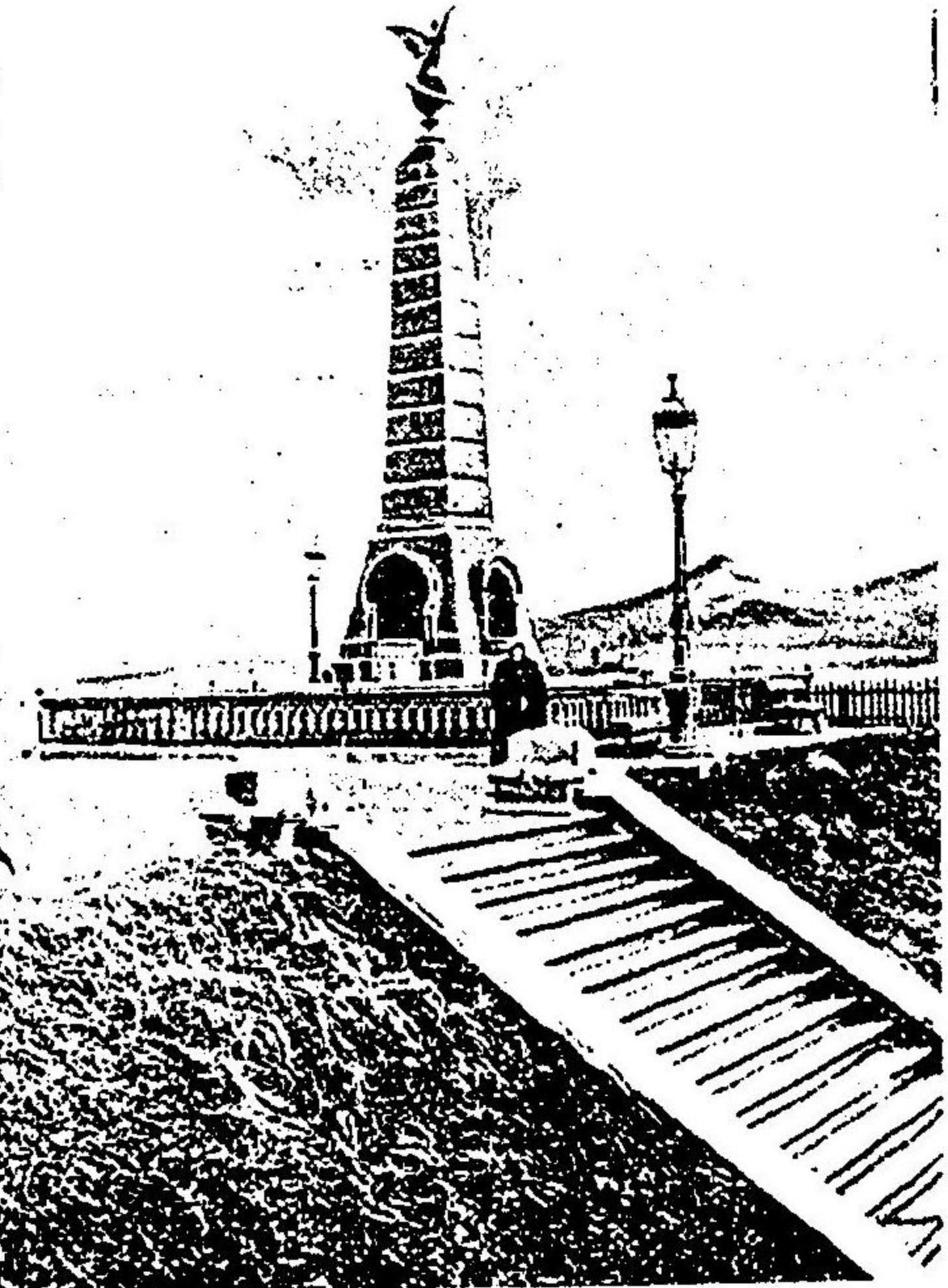
浦潮斯德

露領浦潮斯德は我が敦賀港を北西に一葦帶水僅に四九〇哩を隔つる隣港にして今より五十年前即ち西曆千八百六十年の創設に係り灣内水深く數萬噸の大船も棧橋に横付けにせらる 灣内埠頭三ヶ所あり即市有埠頭、商港埠頭、『エゲリセイド』埠頭是なり『エゲリセイド』埠頭は重に輸出貨物の積卸に使用せらるゝを以て輸出埠頭の別名あり

市街は灣に望み傾斜せる山腹に在りて區劃整然たり 清韓人并に歐米各國人の來り居留する者次第に多く人口約五〇、〇〇〇邦人の居留するもの約三千人あり市中一等街たる『スウエートランスカヤ』街は東、西洋各種雜人種の往來頻繁を極む

市内遊覽地

浦潮斯德は特に之れと取り立て遊覽すべき箇所少なければ四五時間も餘裕あらば市中の觀覽充分なり 市有公園、ネウエリスキー公園、イタリヤ公園、ニコライ紀念門、博物館等に



浦潮斯德ネウエリスキー紀念碑

して博物館は西比利亞及び北滿州一体考古の資料に富むと云ふ又劇場は『ゾロトイローク』、『チーフオケアン』等にして『スウエートランスカヤ』大街道には二三の常設活動寫真館あり

旅館

浦潮斯德に於て本邦人經營の旅館扶桑舎、徳永旅館等四五あるも外人經營の其れに比し其設備の及ばざるは甚だ遺憾とす西洋旅館に於ては『グランドホテル』獨乙式

の『オテルダルマーニユ』及び『ゾロトイロークホテル』等あり埠頭より何れの旅館へも大凡七八町辻馬車あり、浦潮斯徳を初め露國內にては『ホテル』に投ずれば館主は直ちに旅券の提供を請求し滞在すれば其間預るなり是れ露國內に於ては居留届(廿四時間内)又は出發届等夫れく官憲の手續に要する故なれば旅客は之に應じて渡すべし旅館の宿泊料及び食料西洋旅館に於て食事付宿泊料一晝夜八留乃至九留位なるも區別すれば左の如し

室料 晝夜普通 二留半乃至八留 晝食 一留半乃至二留
朝食 五十哥前後 晩食 一留半乃至二留半

日本旅館組合の宿泊料及食料は

特別宿泊料 (三)食代 二留
上等宿泊料 (三)食代 三留
並等宿泊料 (三)食代 二留五十哥
(一)食代 一留二十哥

湯屋并に理髮店

内地を離れて二晩船中に眠り或は西歐より十數日汽車中に疲勞せし旅客の希望する者多ければ便宜の爲め記さんに

露西亞式湯屋

一室 二名 一留五十哥
二名 二留
三名 二留五十哥

以下數等あり

理髮賃

外國人床屋 七十五哥乃至一留
日本人床屋 五十哥乃至八十哥

浦潮斯徳馬車賃

市内馬車賃率は區制とし三區に分たる一區間一回二人迄二十五哥

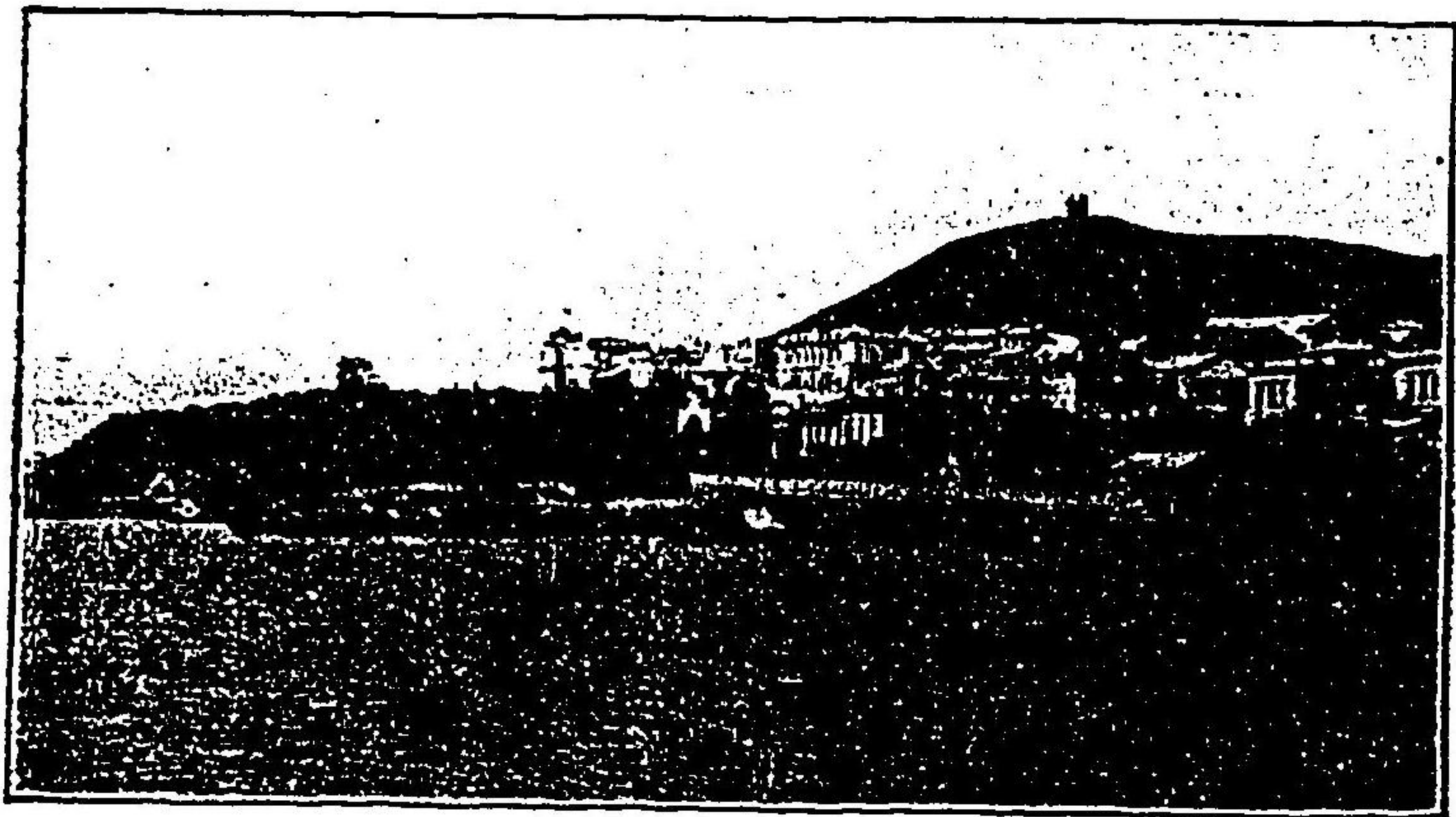
の規定となり居るも複雑なる市街のこと加ふるに地理不案内の旅行者には區劃不明の爲め不便少なからざれば概要を記して参考とす

- 一、埠頭又は前記旅館の何れよりするも左に列記する所までは大抵一區間の賃銀即ち廿五哥『二人迄』にて足る
停車場、日本帝國總領事館、萬國寢臺列車會社代理店、日本郵船及び大阪商船會社代理店、浦潮居留民會、松田銀行部、浦潮商友會事務所、『クンストアハベルス』商會、『チューリン』商會、其他本邦人の重なる商店所在地
- 二、時間極めとすれば一時間毎に一留とす夜間十二時後より午前六時迄は二倍にして又露曆正月元旦、『クリスマス』復活祭等大祭祝日には倍額を請求せらるゝを例とす
- 三、二人迄は賃銀同額なるも三人となれば一定賃銀の半額を割増し四人となれば一定賃銀の倍額となる但し四人を制限とす
- 四、涼車又は涼船より乗客と共に荷物を運搬する時は二十哥を割増す

浦潮斯德より哈爾濱—莫斯科—露
都—伯林—巴里—倫敦—に至る沿線
主要各驛畧案内

浦潮斯德を定刻に發したる列車は三四の小停車場を過ぎ約四時間計りにして
ニコリスク驛 Nikol'sk に至る市街は鐵路より稍離れたる所に在りて穀類の産地なり
車窓より望めば彼處此處の寺院の屋上高く燦然たる金色の十字日光に映して眩き計り
なり

此所より『ハハロヴスク』Khabarovsk 行支線分岐す
ボグラニーチナヤ驛 Pogranichnaya は露清兩國々境に在る停車場にして税關官吏の手
荷物検査あり、夫れより『ムーリン』Mouline『イミヤンポ』Imiampo 等二三の停車場を
過ぎればハルビン驛 Kharbin に達す浦潮斯德より約二十四時間其延長七二九露里あり



浦鹽斯德光景

二六

ハルビン停車場は一九〇三年に落成し其翌年より日露開戦したれば露本國より極東へ送る軍隊は盡く此所に到り更に東清鐵道南線に乗り換へ南方の各地に輸送せり當時此驛が露軍の爲め如何に樞要の地なりしか察するに足れり

此地元來支那人の一部落に過ぎるも松花江の岸に臨み其河流は北東に走り黒龍江と合して長江千里汽船往來の利を成し西比利亞大鐵道の停車場を置きたれば水陸の連絡地となり更に鐵路の此所より分れ南滿洲を貫通して大連旅順に通ずるに至り露國は極東經營の最樞要地とし一等停車場を設け大規模の露西亞市街を建設したるなり

市街は新市街舊市街及埠頭の三部落に分れ停車場附近は全然露人の開きたる新市街にして今は我總領事館を始めとし各國領事館露國の諸官衙ホテル等多く此所に在り 又其東に隣接する埠頭には商店會社等多く此両市街の間は唯鐵道線路を隔つるのみなり 舊市街即ち舊『ハルビン』は新市街とは一里計りを隔つ其所も亦露人の開きし所にして舊時露國は軍隊を置きしも今唯僅の軍兵在るのみ

埠頭の北、松花江に沿ふて傳家甸とて支那人の市街あり其他は總て露國式の建築にて壯大なる露清銀行女學校寺院勸工場等あり現今の人口露國人及支那人各約二萬本邦人約六七百人あり

尙附近一帶は滿洲第一の肥沃の地にして平野は四方遠く數十里に亘り大豆の産出額年々四五十噸に上り大連又は浦潮斯德へ輸送盛にして前途頗る有望なる都邑なりとす

此停車場に於て、大連、北京、安東線を經由して西歐諸國に赴く旅客は乗換接續を要す

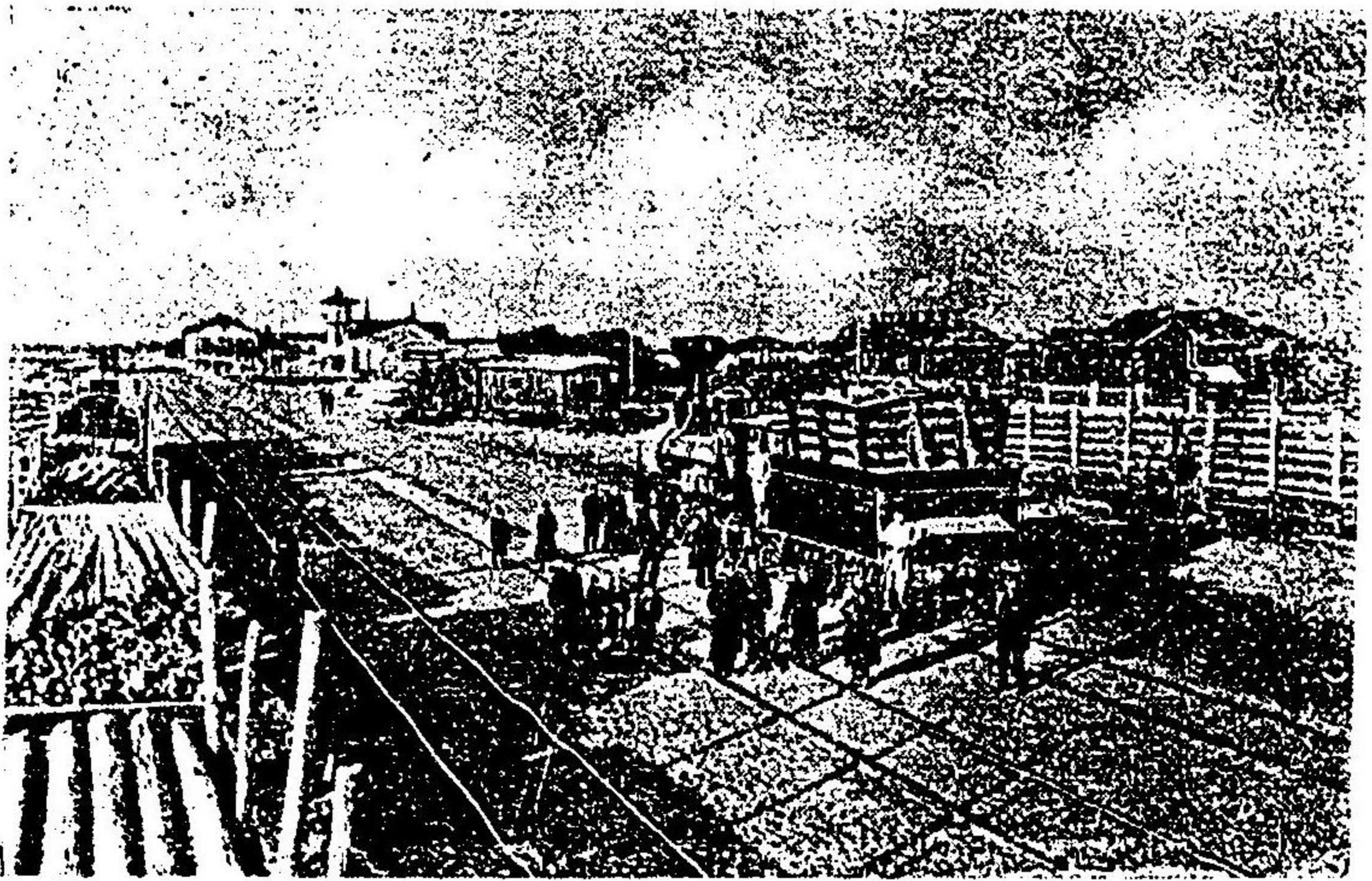
『ハルビン』停車場を發すれば間もなくSongg
 河を渡る夫れよりチ、カル驛 Tzizikar チヤ
 ラントン驛 Tchalantun ホーガトー驛 Boukhatou
 等の諸驛を過ぎて其全延長三『キロメートル』
 なりと云ふ隧道を經過し

キネガン驛 Khinegan

に至る一、〇〇〇『メートル』のキネガン山高
 地に在りて大興安嶺を越ふる線路は東清全線中
 の最高所と云はれ山腹を迂回する狀頗る奇觀な
 り

マンチユーリヤ驛 Manchouria

は哈爾濱より約二十時間餘浦潮斯徳より四十四



西比利亞ホカリ驛の光景

時間計り一、六〇五露里の所に在り 清領内最終驛露清國境停車場にして手荷物の檢あ
 り停車約一時間

滿洲里亞停車場を發したる瀛車は再び露領内に入りオロウヤンナヤ驛 Oloviana ア
 ガ驛 Aeg を過ぎりカリムスカイヤ驛 Karinskaia あり『ツランス、バイカル』州の中
 心最も繁榮なる市にして『ストレチェンスタ』 Strechensk 支線の分岐點なり

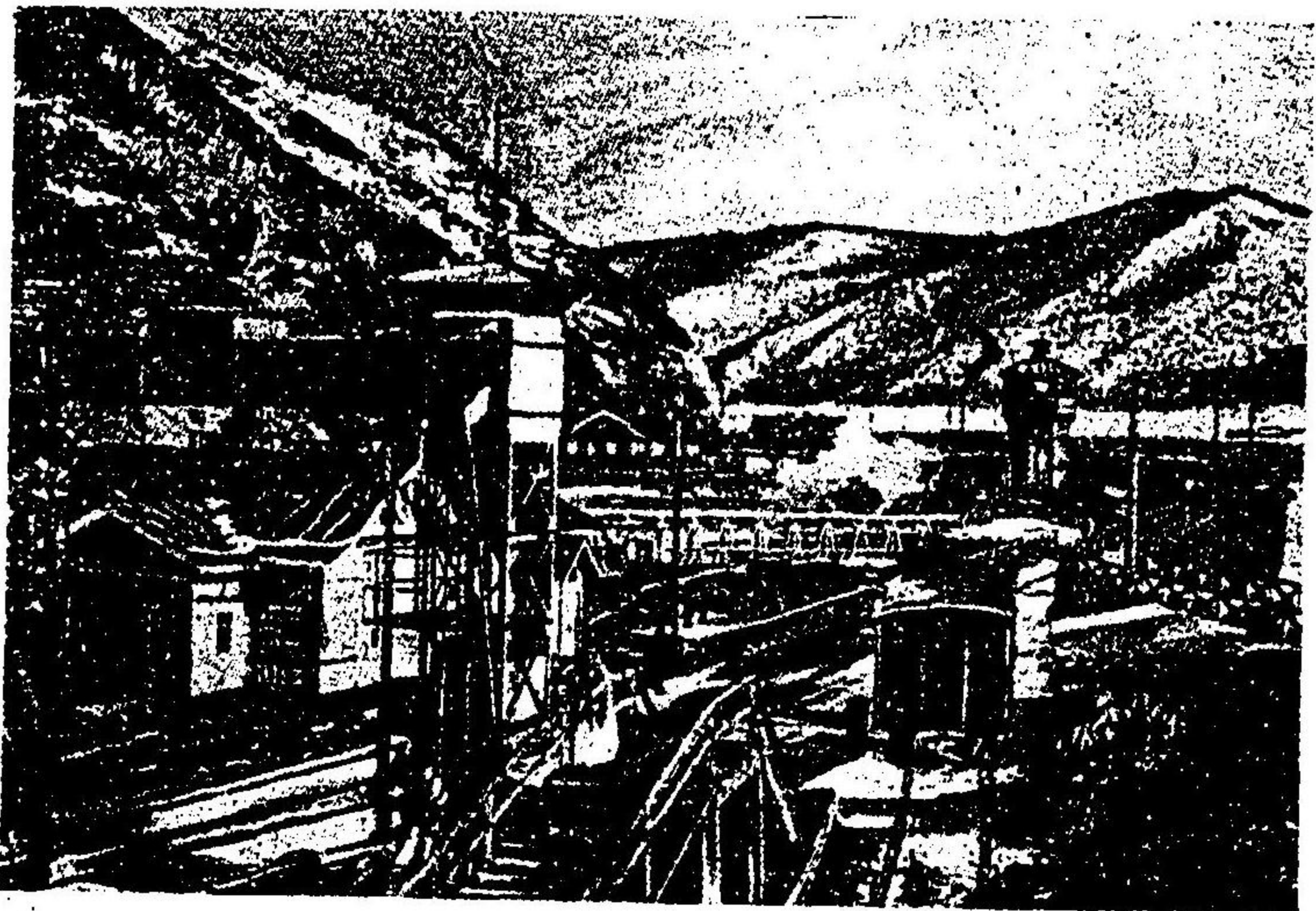
チ タ 驛 Tchita

此地附近 Chilka-Anour 河の灌域にして土地肥沃同州中屈指の市街、人口二、〇〇〇要
 用なる陸軍屯營あり

マ グ ソ ン 驛 Mogzone

ウエルニーチンスタ驛 Verkhneoudinsk

此所は Selenga 州西部商業の中心なり之れより瀛車は次第に高く且つ樹木鬱茂せる丘陵
 の連続する坂路の間を走りて壯觀なり



バイカル湖の水望む
バイカル湖の南端に沿ふて走り

三〇

タンホイ驛 Tankhoi

に至れば此所にて旅具の検査あり列車は此所より『バイカル』湖畔に添ふて進み其壯大なる景色に見惚れつゝ退屈を忘れて

バイカル驛 Baikal

に入る可し市街は『バイカル』湖畔に在り、『バイカル』湖は世界大湖の一にして四方は全く山を以て圍まれ風景實に壯麗なり湖は長さ六〇〇『キロメートル』廣さ三〇乃至八〇『キロメートル』にして其深さ一、五〇〇『メートル』ありと云ふ一月より五月までの間は氷結す 流車は湖の南端に沿ふて走り

イルクーツク驛 Irkutsk

に達す浦潮斯徳より五日目にして三、〇二九露里あり

『イルクーツク』は莫斯科と浦潮斯徳との殆んど中間に位し『アンガラ』Angara 河の右岸に在り州廳の所在地にして人口七五、〇〇〇全西比利亞中『トムスク』市に次ぎ最も繁榮にして且つ最も重要な都會とす

乗客は此驛に於て全部同一線路なる他の列車に乗換を要す停車時間約一時間半あり 此驛より以西露都時を用ふ

『イルクーツク』停車場を發したる流車は『イルクーツク』河を渡り而して『セントインノーセント』St. Innocent とて西曆一六七二年に建設せられしと云ふ有名なる古刹を近く望むべしインノーケンチーヴスカ驛 Innokentievskia ホロツイナ驛 Polovina ニズニエーヂンスク驛 Nijnieoudinsk 等諸驛を通過して

カンスク驛 Kansk

を通る人口三、五〇〇殺類の市場なり此處より

クラスノイアルスウ驛 Krasnoarsk

に至る間に約二『キロメートル』の鐵橋を横ぎる Yenesei 河に架したるなり此河は源を『モンゴリヤ』邊に發し Yen essei 灣に流出する西比利亞三大河の一にして其流域實に三、五〇〇『キロメートル』ありと云ふ

此市は鐵道敷設當時よりの新市街にして州廳の所在地 人口一九、〇〇〇あり 其れよりアツチンスク驛 Atchi-nsk を經て

ボゴトル 驛 Bogotol

との間には砂金に富む Tchouline 河あり『ボゴトル』は 次の停車場なる



圖の換乘て於にクツクルイ

マリンスク 驛 Marinsk

と共に多く金採工及其種の移住民の居住する所にして人口一萬二三千あり 此所より汽 車は殆んど無盡藏無限と稱せらるゝ森林及び有名なる金産地とを過ぎて

タイガ 驛 Taiga

に至る此驛は『トムスク』Tomsk 支線の分岐點なり

トムスク 驛 Tomsk

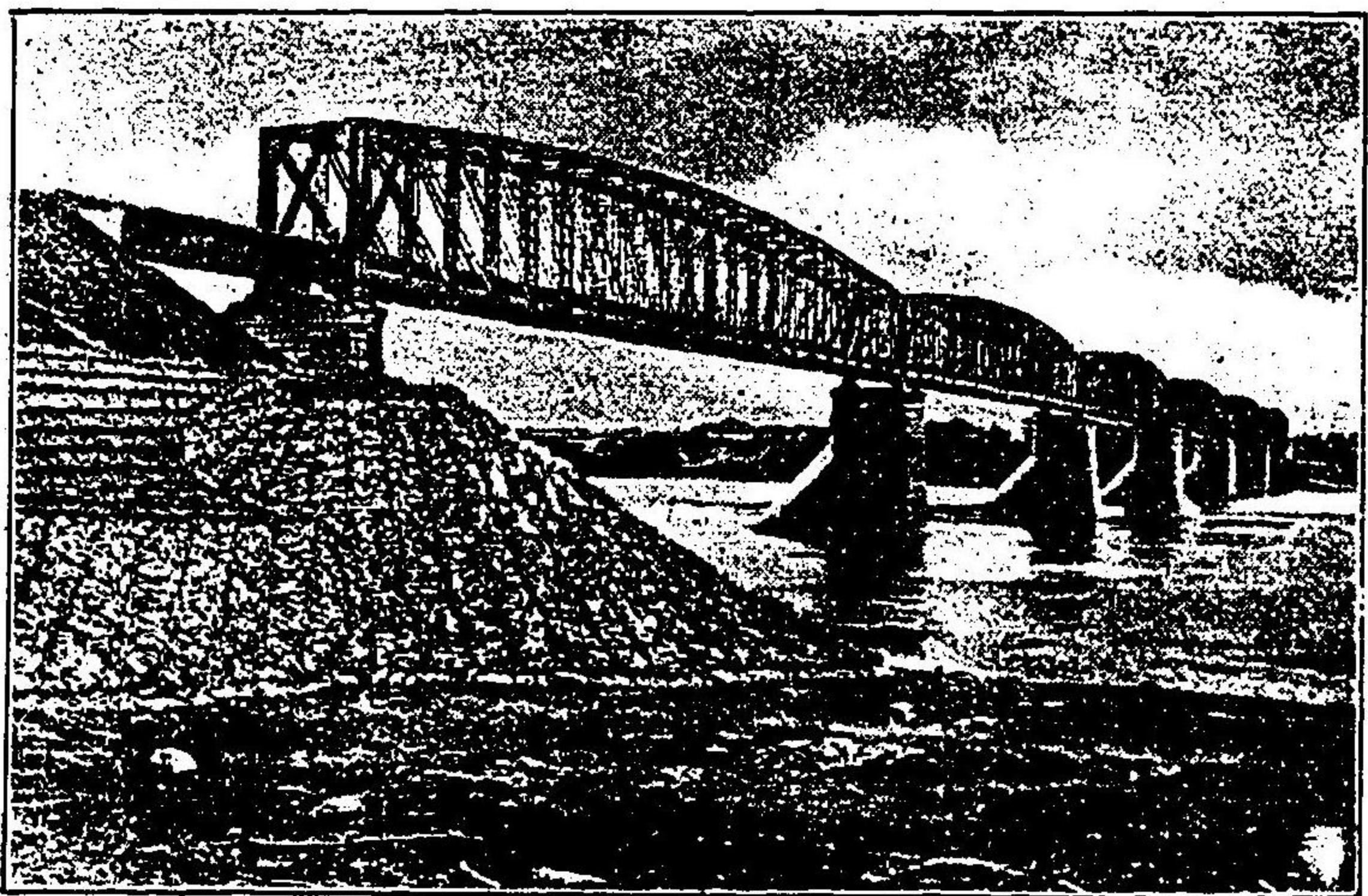
は幹線『タイガ』驛を距る約五十哩の所に在り州の首都西比利亞に於ける最も開化せる 都會にして金、銀、銅、鉛に富みアルタイ Altai 州鑛業の中心なり尙且つ豊富なる水獺 黃鼬、及び『マーチン』(燕の一種)等大狩獵地の中心として名高し

タイガ驛を發したる涼車は西比利亞旅行に有名なる樺の深林を過ぎて Obi の廣漠たる 原野の間に移り行く異國の光景を眺めつゝ Obi 河に達すべし 此河は先に渡りし Lena 河及び Yenesei 河と共に西比利亞三大河の一にして北氷洋に注ぐ其延長五、〇〇〇『マ

エルスト」其灌溉は西部西比利亞の最も要用なる水源となり其流域は Yenisei 河の流域との間に一大平原をなせり

○シ 河には長さ八〇〇『メートル』の鐵橋あり
△ て橋上の眺望壯麗なりチエーリム驛 Tchouline 河 カインスク驛 Kainsk タノルスカヤ Tatarskaia の驛を經過して

鐵 橋 オムスク驛 Omsk
に至る『オムスク』市は停車場を距る約二哩の所に在り西比利亞全州を通して第一に位する最も要用且つ最も繁盛なる大都市にして人口九四、〇〇〇余あり『トボリスク』市と僅に『オ



ド』河の支流たる Irtych 河を隔て、相對す ヘルツォグスタット驛 Petropavlovsk タノルガン驛 Kourgane を經て、

チエリヤビンスク驛 Tcheliabinsk に達す

『チエリヤビンスク』は浦潮斯德より六〇七六露里八口目なり

露都行支線の分岐點なれば聖彼得堡行及び同地經由の旅客は乗換を要す(露都直行参照) 此地は同州中の首都にして人口約一〇、〇〇〇寶石、置物の名産地にして約一時間の停車時間あり

『チエリヤビンスク』停車場を莫斯科へ向け出發したる瀛車は Miass 湖の縁に在る

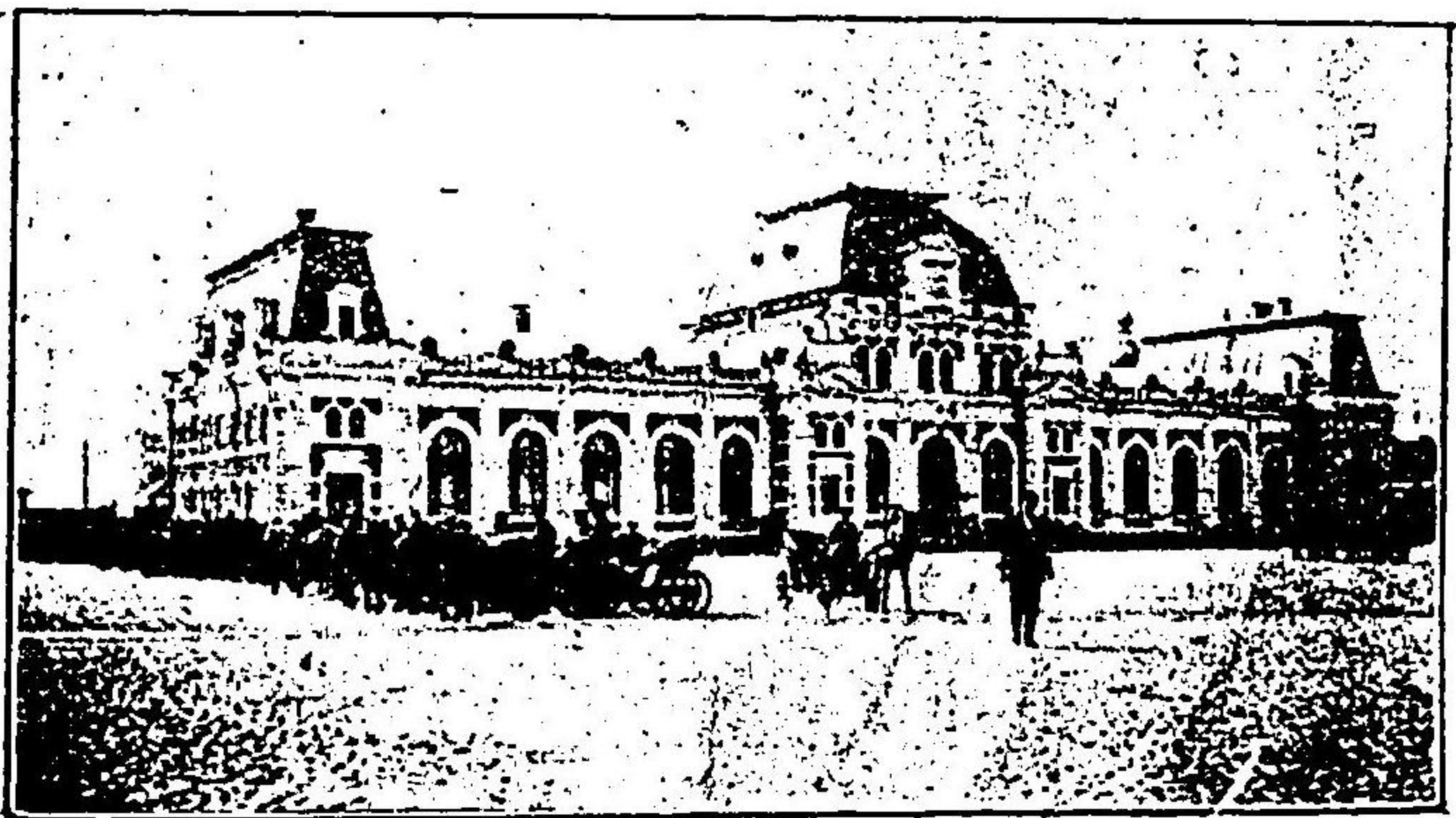
ミ ア ス 驛 Miass

を過ぐれば線路は次第に高く益々登りて遂に『ウラル』山嶺なる最高地點のウルジユンカ驛 Ourjoumka に至る之れより先き驛の附近線路に沿ひ左方に歐羅巴と亞細亞との境

停車場に到着す 浦潮斯德出發後十日目にして八、一三一露里あり

莫斯科は露帝國の舊都として知られ人口九八八、六〇〇餘あり 有名なる『クレムリン』の宮殿を中心として市街は車輪の如く其周圍を繞れり 市中寺院最も多く到る所民家の屋上を抽で、金色の十字架半空に輝けり 市中見物には路傍多くの辻馬車（冬季降雪中は棧を使用し馬に轆かしむ）ありて頻りに勸む賃錢は一定せざるも概して餘り高からず短距離なれば二人乗りて二十五哥も拂はば充分なり

旅館 『スラバンスキーバザール』、『ホテルメトロポール』等有名にして之に次ぐを『ホテルナシヨナル』



『ホテルベルリン』、『ホテルピフニー』等なりとす 旅館に投ずる時館主は旅行券を預かるを例とし出發する時警察署の手續を要すること浦潮斯德の時と同じ 西比利亞鐵道は當市『クールスキー』停車場に於て露都南、南部露西亞及び、歐州各國より來る者を收拾す

莫斯科より露都又は伯林へは毎日數回汽車の便ありて露都迄約十一時間伯林迄約三十七八時間を要す而して露都行は『クールスキー』Kamskiy 停車場より 伯林行は『ブレスト』Brest 停車場よりとす

莫斯科 Brest 停車場を出發して伯林行の列車は四五時間計り走りて
スモレンクク驛 Smolensk

とて最も古く且つ風景に富む市を過りて Borisov の前 Beresina 河を渡る此地は西暦一、八二二年十一月ナポレオン敗軍の際に起りし古跡を以て有名なる所なり

ブレストリトヴスク 驛 Brest-Litovsk

界を刻せる大なる白色の Pyramid を望見すべし 線路は次第に下りて

ズラトースト驛 Zlataoust

を過ぐ此所は五八〇『メートル』の高地にありて金屬工業の盛なる所『歴山』第一世帝の創始に係ると云ふベルヂョーシ驛 Berdiaonche を經て

ウーファ驛 Oufa

あり Bielaia 河の岸に位し州廳の所在地人口凡三〇、〇〇〇商業盛んにして邊地一帯の中
心たり 此驛を出づれば銅及び鐵の産地あり線路は降り且つ昇りて小麦及び其他穀類の
大市場たるアブヅリーノ驛 Abdaulino を過り而して次なる停車場を

キネル驛 Kinel

とす此驛に於て『オンンバーグ』、『タシユケンド』Orenburg, Tashkend, 及び中央亞細亞
地方 Central-Asia の諸線と接続連絡す 莫斯科よりは一週二回『タシユケンド』及び『ア
ンヂシヤン』Tashkend, Andijan との間を定期運轉す

此驛を發して『サマラ』に近く進めば尙左方遙に『ウラル』山を望むべし此地方土地
最も豊饒にして異種異族異宗徒雜居せり

サマラ驛 Samara

は人口約九二、〇〇〇商業盛んにして繁華の大都會なり『フルガ』Volga 河に架したる
大なる『アレキサダー』三世大橋を渡りバトラキ驛 Batraki を過きて

ペンザ驛 Penza

に至る『ペンザ』は Penga, Saura 兩河の間に在りて州廳の所在地人口四四、八〇〇駱駝
毛羅紗製造の大工場あり 其れより二三の停車場を經て

ツーラ驛 Toula

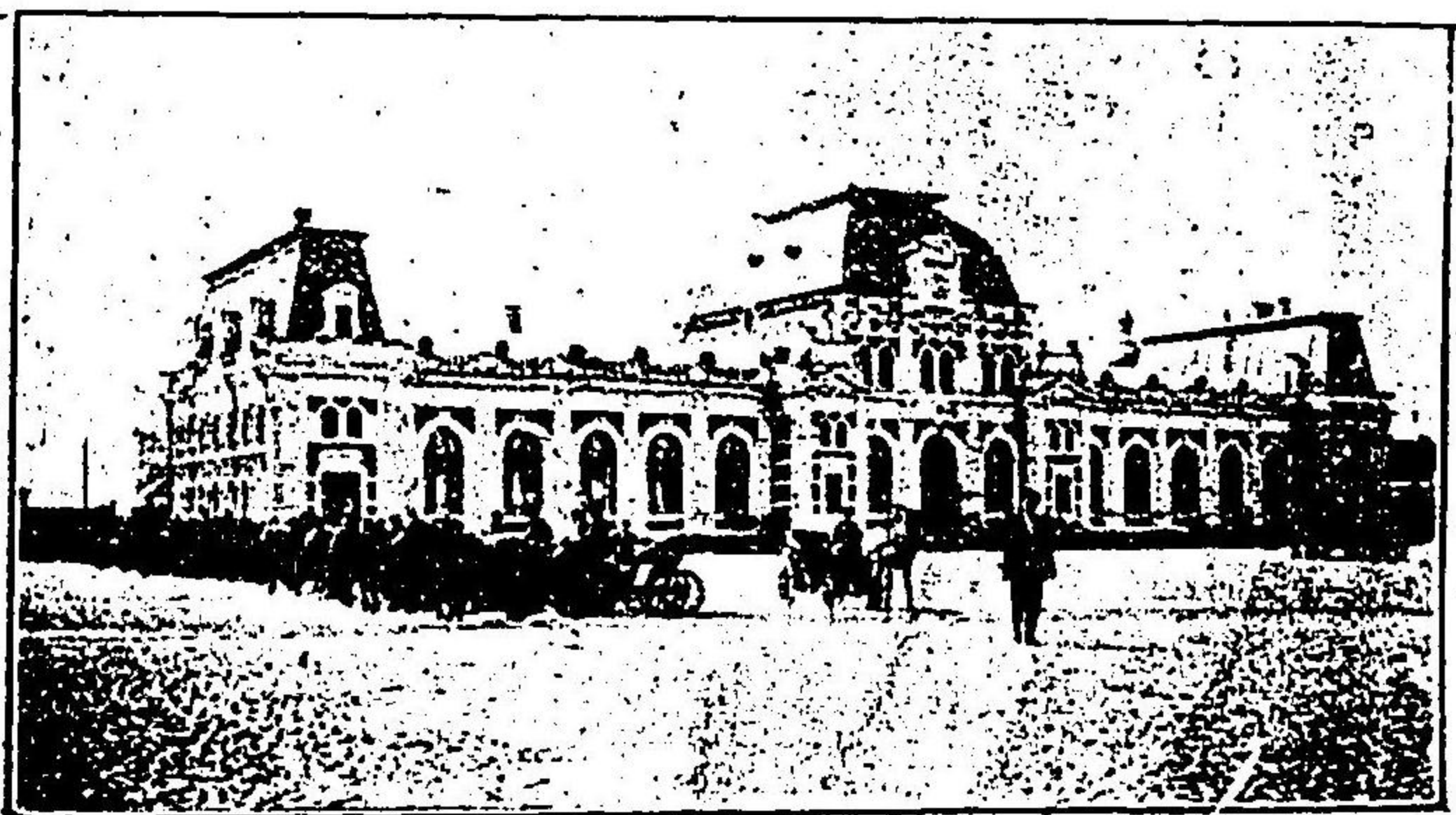
あり 工業般盛なる都市にして人口八六、〇〇〇及物商賣盛んにして露國兵器工廠あり
『ツーラ』停車場を發して間もなく西比利亞鐵道の終點なる

モスコー驛 Moscou (kursk)

停車場に到着す 浦潮斯德出發後十日目にして八、一
三一露里あり

莫斯科は露帝國の舊都として知られ人口九八八、六
〇〇餘あり 有名なる『クレムリン』の宮殿を中心と
して市街は車輪の如く其周圍を繞れり 市中寺院最も
多く到る所民家の屋上を抽で、金色の十字架半空に輝
けり 市中見物には路傍多くの辻馬車（冬季降雪中は
橇を使用し馬に轆かしむ）ありて頻りに勸む賃錢は一
定せざるも概して餘り高からず短距離なれば二人乗り
て二十五哥も拂はば充分なり

旅館 『スラバンスキーバザール』、『ホテルメトロ
ポール』、等有名にして之に次ぐを『ホテルナシヨナル』



『ホテルベルリン』、『ホテルピフニー』等なりとす 旅館に投ずる時館主は旅行券を預
かるを例とし出發する時警察署の手續を要すること浦潮斯德の時と同じ
西比利亞鐵道は當市『クールスキー』停車場に於て露都南、南部露西亞及び、歐州各
國より來る者を收拾す

莫斯科より露都又は伯林へは毎日數回汽車の便ありて露都迄約十一時間伯林迄約三十
七八時間を要す而して露都行は『クールスキー』Kainsk 停車場より 伯林行は『ブレス
ト』Brest 停車場よりとす

莫斯科 Brest 停車場を出發して伯林行の列車は四五時間計り走りて
スモーレンクク 驛 Smolensk

とて最も古く且つ風景に富む市を過ぎりて Borisov の前 Beresina 河を渡る此地は西曆
一、八二二年十一月ナポレオン敗軍の際に起りし古跡を以て有名なる所なり

ブレストリトヴスク 驛 Brest-Litovsk

は人口三九、九〇〇 Bona 河の右岸に在りて主要なる都會なり

ワルソー 驛 Warsaw

『ワルソー』は莫斯科より約一晝夜計りにて達する所にて『ポーランド』の首都總督府の所在地なり住民六七五、〇〇〇商業最も殷盛を極む 此停車場に於て『ウイエンナ』方面行旅客は乗換へ分離し露都へも直通列車あり

莫斯科倫敦間の『ノールドエツキスプレス』の列車に乗れば往復り共直行すれども國有鐵道瀛車の時は町の兩端相距る馬車時二十分計りの兩停車場の乗換接續至て面倒なり
ワルソー Best 停車場を發したる瀛車はスクエルネウイッツ驛 Skierniewice クートノ驛 Kutho 等を過ぎて

アレキサンドロフ 驛 Alexandrovo

に至る 此所は露、獨國境停車場にして東行旅客の旅行券及び手荷物の検査（税關構内検査所に於て）の頗る嚴重なる爲め常に最も面倒がる所なり

此停車場まで露都『タイム』を用ひ次の驛より獨乙『タイム』を用ふ

『アレキサンドロフ』を發し國境を越ふれば獨國最初の停車場なる

トルン 驛 Thorn

あり 税關官吏の手荷物検査あり 其れよりポセン驛 (Posen) ベンチエン驛 (Bentschen) ランクフォルト驛 (Frankfurt) 等の諸驛を経て

ベルリン 驛 Berlin

に到達す 莫斯科より一晝夜半浦潮斯德より十二日目とす

伯林は歐洲中倫敦、巴里に付き人口二百萬餘を有する繁華の首府にして秩序整然全市の家屋は盡く五階に制限し六階も無ければ四階もなく規則、正しく同一の高さとし道路は清く掃除せられ市民は尙武の風に富み市況殷賑を極む

市中見物には辻馬車又は辻自動車ありて何れも走るに隨ひ其走行距離を自動的に表はす装置の『タキシメーター』のもあり賃錢は半日以内は半『マーク』一日迄は一『マー

ク』と一定の賃錢表車内に掲げあり至て便利なり辻々に客待ちするを軽く手を舉げて招けば忽ち飛び来る

當市を初め巴里及び倫敦等は旅客の早晚行かれて親しく充分に觀覽さる可く市中遊覽の案内は元來本冊の趣旨に非らざれば省略す然れども序に主なる遊覽所を列記すれば『ウンテルデンリンデン』街、凱旋門、『チーアガードン』大公園、帝國議事堂、『ビスマルク』、『モルトゲ』及びローン三大銅像、戰勝紀念塔『フリードリッヒストラッセ』街、『ドム』の本山寺院、宮城、『シャロットレブルヒ』宮『ポツダム』離宮、『オランギー』宮殿等なり其他大商店大工場等枚舉に遑あらず、唯茲には百中の一二を記するのみ

伯林を出發して倫敦に向へば

コ ル ン 驛 Cologne

あり Rhine 河の左岸に在りて人口大凡四二八、五〇〇日耳曼内大都市の一にして商業

頗る盛んなり

此所にて『コーペンハーゲン』Copenhagen 『ハンブルグ』Hamburg 及ら『ブレンメン

Bremen 地方より來る者と接續連絡す

ア ー ン 驛 Aachen (Aix-le-ch.)

は人口一四七、〇〇〇最も古き都會にして Char-Lemagne の愛宮あり

ハーベツセル驛 Herbesthal

獨國最終の停車場にして白耳義國との國境に在り復行此所にて旅具の検査あり

ウエルウイールス 驛 Verviers

白耳義國最初の停車場にして手荷物検査あり近世の都市にして織物工業盛んなり

リ ー ゲ 驛 Liege

人口一七二、〇〇〇餘商業般盛にして且つ風景に富む繁榮の大都會なり

此停車場に於て右してオーステンド經由倫敦行と左して巴里其他西班牙等の諸市行と

分離す

リীগ停車場より倫敦行の列車は約一時間半許りにて

ブラッセル驛 Brussels

に至る

『ブラッセル』は白耳義國の首府にして人口六三〇、〇〇〇餘あり市街清潔にして大層高樓相接し壯觀を極む行人の絡繹商店の華美其般富豪奢の様巴里に彷彿たるを以て世に小巴里の稱あり又此國は繪畫に秀づるを以て聞ゆ

オーステンド驛 Ostend

は白都より約一時間半を要す白國第二の良港にして英國と大陸諸國との往復交通に依り主要且つ繁盛に赴けり

ドーバー驛 Dover

は對岸『オーステンド』より約五時間半にて達す英國より大陸諸國へ海峡を渡る渡航場の

一にして東洋諸國より渡來する旅客は重に此所を通過す 倫敦迄一時間半路なり此所を發して

倫敦 London (Charingcross)

停車場に到達す此行程東京より實に七、八五三哩十六日目とす

倫敦は英國開闢以來の舊都にして漸を以て規模を擴大したるものなれば街衢甚だ錯綜し人口實に七百萬を算すと云ふ

市街は規模壯大にして大層高樓鱗比し馬車絡繹市民の往來織るか如く高架鐵道あり地下鐵道あり『テムス』河底の隧道は奇巧驚く可く眞に一偉觀たり又國內鐵道は蛛網の如く交通の至便言を俟たず

倫敦古城、二重橋、『バッキンガム』王宮、聖『ゼームス』公園、『ハイド』公園、『ウエーストミエスター』寺院、國會議事堂、水晶宮、大英博物館、美術館、大商店、大工場等至る所巡覽に値するものみにて枚舉に遑あらず爰には唯その一二のみ

又内地到る所般賑なる都市ありて山家江畔行くとして人家ならざるはなく廣漠たる原野の如きは殆んど見るに由なし以て如何に産業の隆盛なるかを知るに足れり

主ナル本邦官衙及商店 帝國大使館

No. 3 Grosvenor Gardens, S. W. に在り領事館は No. 84, Bishopsgate Street Within, E. C.

に其他日本郵船會社、横濱正金銀行、三井物産會社、大倉組、東京海上保險會社等の各支店あり

旅館

各停車場附近を初め到る所好旅館乏しからざれば旅客の選擇自由なり 旅館の方法は歐羅巴式と亞米利加式との二種あり前者は單に室を借るのみを謂ひ後者は食事附なるを謂ふ初めての旅客は亞米利加式をを選び方便多し 宿料は單に寢室のみにて一日三志乃至十志計り文房具等備附の室五志乃至二十志給仕雇入料一志半 朝食一志乃至四志 晝食二志乃至十志なり 毎年五六月國會開會の頃は倫敦期節と唱へて旅客輻輳し宿料亦平生に比して騰貴し容易に好旅館を得難きことあり

英國海峽

莫斯科其他大陸諸國より倫敦へ又は倫敦より西比利亞鐵道に連絡する爲め莫斯科其他の大陸諸國へ英國海峽を渡るには左記四線あり而して海峽航海は約六時間計りとす

第一 『オーステンド』經由

『オーステンド』(白耳義國)を經由し『ドーヴ』に出て倫敦『チャーリングクロス』停車場に到る線

第二 『カレー』經由

『カレー』(佛國)を經由しドーヴに出て矢張り倫敦全停車場に到る線

第三 『フラッシング』經由

『フラッシング』(和蘭國)を經由し『クインポロー』に渡り倫敦『ヰキクトリア』停車場に到る線

第四 『フック、オヴ、ホーランド』經由

『フック、オヴ、ホーランド』(和蘭國)を經由し、『ハーウキチ』に渡り倫敦『リヴァープール、ストリート』停車場に到る線

『リーグ』Liege 停車場より分れて巴里行の列車はナムール驛 Namur を過ぐ全名州の首都にして人口三三、〇〇〇餘ありチャールロイ驛 Chaleroi は人口約二七、七〇〇白耳義國中金屬工業の中心として名ありエルクエリン驛 Erquelines 白耳義國最終の停車場にして復行には税關吏の流車中にて手荷物の検査ありセント、クエンチン驛 Saint-Quentin 此市は Somme 河の右岸に在りて人口五三、〇〇〇最も古く且つ堅牢なる都會にして織物工業市として著名なり

此停車場を發して約一時間半にて

巴 里 驛 Paris (Nord)

停車場に達す東京より十五日間を要す

巴里は人口約三百萬歐州中倫敦に次ぎ最も繁榮なる大都府にして大家高樓相接し車馬行人の絡繹斷ふることなく商店の華麗にして其般富豪奢の有様實に壯觀を極む別けて巴里第一の繁昌部落と稱せらるゝ『オペラ』通りは美人花の如く滿街を填めて倫敦の『ピツカデリー』街伯林の『フレデリック』街にも勝り最も賑かなる夜の都會を現する所流石は世界の樂園艷麗目覺むる計りなり

『ノートルダム』寺院 『ルーブル』國立博物館、『チュイルリー』公園、コンコルド廣場、『シヤンゼリゼー』街、『オペラ』通、凱旋門、『ボア』大公園、『エツフェール』塔、『トロカプロ』博物館、『インパリード』寺院は主なるものにして其他枚擧に遑あらず

巴里—倫敦間 巴里より倫敦へ行くには北停車場を發し約三時間にして海岸『カレー』に達す 此所より對岸ドーバーは僅に一葦帶水を隔つる所にて其距離二十一哩快晴の日には英國海岸の白き崖壁日光に映して輝くを眺めらる船行一時間にてドーバーに達す

露都直行

(ウイアツカ一名ペルム線)

浦潮斯徳より露都に至るには一週二回莫斯科を經由して赴くことを得べきも右の外に浦潮斯徳より一週一回金曜日發急行列車に依り『チエリヤビンスク』Tcheliabinskより別れて『ペルム』Perm及び『ウイアツカ』Viatka等を經由して直行することを得べし浦潮斯徳より此全行走時間を十晝夜とす

聖彼得堡

聖彼得堡は『ネバ』河の『バルチック』海に注ぐ河口に彼得大帝の建設せし大都府にして人口約百七十萬あり市街は河の兩岸に跨り中央の大通りを『ネウスキー』街と云ひ町幅廣く唯此通のみに電車往復す其他の市街は概ね馬車を使用し冬季は櫓ありて一頭立又は二頭立馬なること莫斯科に同じ

此國は寒威非常に酷烈なれども流石に防寒の設備大に進歩し且つ行き届けり室外は零度以下十度乃至二十四五度位の寒氣の時も室内は皆二重硝子の扉にて閉め切り露國一流の煖爐にて暖め大抵六十度前後好き肌合ひの溫度を保たせありされば『ホテル』の客

室内にて裸体となりて衣服を更むるも毫も寒氣を感ずることなし

聖彼得堡にて第一の美觀は皇城にして其次は寺院なりとす中にも『聖アイザック』寺院は其建築費用のみにて八億留を要せしと云ふ其他『カザン』寺院も美麗を極む

此所より莫斯科へは毎日數回瀛車運轉し約十一時間を要す『ニコライ』停車場よりとす

尙伯林、倫敦、巴里に至るには『モスコ』又は『ワルソー』ヲ經由し行くことを得るも『ウイルバン』Wirballenを經由し伯林に出づる『ノールド、エツキスプレッス』に依るを最捷徑路とす

此地を發して伯林へ行く『ノールド、エツキスプレッス』列車は約廿九時間を要す其途中ウイルナ驛 Winaにて『ワルソー』行と分離し露都より約十五時間計りにてウイルバン驛 Wirballenあり露、獨國境停車場にして露國の最終驛なり復行旅客は此驛にて手荷物及び旅券の検査あり

エイトクーネン驛 *Eydekuinen*

は獨國最初の停車場にして税關吏の手荷物検査あり 此驛より日耳曼「タイム」を用ふ其よりインスタールプ驛 *Instenburg* コニングスベルグ驛 *Königsberg*, *Elbing*, *Dirschau*, *Schneidemühl*, *Landsberg*. 等の諸驛を通過して國境より約十二時間にて伯林に到着す

大連經由線

大連を經由し南滿州鐵道に依り長春、寛城子を経て哈爾濱に於て歐州行列車に接続するは現今浦潮斯德經由に次く本邦歐羅巴間の最捷通路にして近來此線に依る旅客大に増加せり

南滿州鐵道 南滿州鐵道は南、大連に起り遼東半島を縦貫し北、長春に達するものを幹線とし其延長四三八哩外に二三の支線あり沿道の地勢概して平夷にして一の隧道なく遼河、渾河、大子河には大橋梁を架す 從來の狹軌は既に廣軌式に改められ歐米諸國の一等線路近くは東清線路に比し少しも遜色なく明治四十一年以來全線廣軌車輛を運轉するに至れり 急行列車は一週三回大連及び長春を發し兩地の間僅に十八時間長春にて直ちに露國東清鐵道列車に接続す急行列車には東清鐵道に劣らざる食堂車及び寢臺車を連

結し全線長途の旅も旅客をして少しも倦怠の念を起さしめず

尙同鐵道は内外鐵道汽船即ち帝國鐵道院線、朝鮮鐵道線、京奉線、東清線及び大阪商船會社汽船等と連絡を有す

手荷物無賃制限 本鐵道に於ては鐵道院線及大阪商船會社汽船との連絡の場合は一等百五十斤二等百二十斤を限り無賃とす

南滿州鐵道支線及乗換驛 大連又は長春(哈爾濱より接續)よりする旅客にして若し安奉線又は京奉線に沿ふ諸市に行く者は奉天驛に於て乗換を要し撫順には蘇家屯驛に於て營口には大石橋驛に於て而して旅順に行く者は臭水子驛に於て各其支線に乗換を要す(滿鐵支線參照)

門司又は下の關及び其他各地より

門司又は下の關よりは毎週三回大阪商船會社の定期船航海し僅に二日間を要す此他郵船會社船の定期寄港并に臨時汽船の往復頻繁なり 又長崎を起點とし朝鮮沿岸經由一ヶ

月三回の定期寄港船もあり 尙上海—大連間は滿鐵會社直營にて神戸丸、西京丸の二隻を備入れ一週二回兩地間を定期運轉し滿鐵及び西比利亞鐵道經由歐州行旅客の便宜を計り居れり

大連 入港船検査を了れば大棧橋に横付けせらる埠頭は大工事を施して建設したるものにして規模の宏大なること東洋稀に見る所なり第一第二何れも大埠頭にして長さ一千九百尺水深約二十八呎優に一萬噸以上の巨船も横付けするを得べく鐵道線路を導きて貨物の積却に便す

市街は元露國租借時代「ダルニー」と稱して財貨を各ます盛んに工事を起し以て浦潮斯徳と共に東清鐵道に依る東洋貨客の吞吐港たらしめんとし咄嗟の間に東洋屈指の良港とし市街を建設せし所なり然るを日露戰役中少からず兵燹に羅りしも我國に讓受けし以來銳意修理を加へて漸次に面目を改め且つ事情次第に内外人に知らるゝに従ひ商業も益々發展して滿州地方特産の大豆、豆粕、穀類等は急激の勢を以て海外に輸出せらるゝ

に至り數年ならずして今日の隆盛を來せり 市街は道路廣潤兩側に鐵製臺の電柱を樹て
樹木を植え人道には煉瓦石材を敷き家屋の構造は露、獨、清國風を加味して其大厦高樓
軒を並べ頗る美觀を極む日本人の居住する者約二萬支那人一萬餘諸外人合して約五十計
りあり(四十二年三月調)

市内及附近遊覽地

到る所紀念の新戰場又は名所舊跡あり唯爰には名稱地名のみ
を記し參考とす 東公園、西公園(俗に虎公園と稱す)北公園、常盤公園(一名松公園)伏
見臺、小崗子、老虎灘、小平島、電氣遊園地、劇場等

大連旅館

大連やまどホテルは滿鐵會社の經營に係り大連停車場の北四丁の所に
あり各室内の裝飾、電燈、防寒、消夏、等設備周到遺憾なく滿州第一の洋式旅館と稱せ
らるる宿料及ば食事料左の如し

- 宿料 二圓以上十圓迄
- 食事料 朝食 一圓

晝食 一圓 五十錢

晩食 一圓七十五錢

其他市内旅館には遼東ホテル、盤城ホテル、勝利旅館、春田旅館、花屋ホテル、鎮西館
吾妻旅館、關東旅館、大坂屋等あり宿泊料は一泊二食付最高六圓最低一圓五十錢晝食料
は宿泊料の半額とす

大連人力及び馬車賃

人力車客待一時間五錢一日雇切金一圓半日雇切金六十錢夜
間一割増 二人輓は一人輓の倍額市外一里に付二十五錢歸路は往路の七割

馬車 客待一時間十二錢一日雇切金二圓七十錢半日雇切金一圓六十錢雨雪天二割増夜
間一割増市外一里三十錢 歸路は往路の七割 臭水子驛 Chou-sui-tzu 臭水子驛は大連起
點より約五哩旅順支線の分岐點なり 驛の東北二十丁計りの煉瓦製造所は地積約五萬坪
規模壯大なり又小野田セメント製造會社關東州分工場も附近に在りて一ヶ年の製造高十
五萬樽なりと云ふ南關嶺驛 Nankouling 此驛は元旅順支線の分岐點なりしが廣軌鐵道開

通と同時に之を廢せり大房身驛 Ta-Fang-Shin 此所より分岐して柳樹屯に達する軌道は日露戰役當時列車を運轉せしも今は休止す其間里余馬車又は汽船の交通あり金州驛 Chin-Chan 金州市街は驛を距る西北十八丁車馬の便あり往時遼東半島施政の中心として著名の地なり人口約一萬城内は區劃整然商舖軒を並ぶ

市内に三島屋旅館あり一泊二圓乃至三圓晝食は其半額とす普蘭店驛 Pu-Lan-tien 此地は遼東半島の北端にして關東州租借地の限界たり 普蘭店の東方十里余の所に貔子窩あり人口七千邦人の經營する製鹽業盛なり瓦房店驛 Wa-Fang-tien 東清鐵道時代には中間の主要驛たりしを以て停車場附屬建物は其規模宏大にして驕に構内食堂の設けあり 炸子窟炭坑は驛の東約一里本邦人の經營に係り毎日の出炭高四五十屯なりと云ふ 驛を距る約十里に復州あり鹽田多く又五湖嘴には露人所有の炭坑あり毎月二千余屯の粉炭を採掘し渤海沿岸の清人に供給すと云ふ得利寺驛 Te-Li-Szu 此地は日露の役に所謂得利寺遭遇戰場として著名なり熊岳城驛 Hsing-Yo-Cheng 市街は驛を距る西方十余町にして高き城

壁を繞らし四百年前の建造なりと云ふ 米、豆粕、梨子、葡萄等を産し人口三千入江旅館あり一泊一圓五十錢

熊岳城温泉 は驛の東南十八町熊岳河の傍に湧出す硫黃質及び僅の鐵質を含む

蓋平驛 Kai-Ping 蓋平市街は驛の東南約里余あり人口約一萬七千商業頗る繁盛柞蠶絲の中央市場として商賈の來往頻繁市況大に振へり其一年の取引高約三萬捆（一捆百斤入）に上り取引先は重に上海なり 現今邦人の經營に成る大吉盛洋行ありて繭の乾燥及び輸出に従事す大石橋驛 Ta-Shih-Chiao 大石橋は大連を距る約百五十哩約五時間半を要す 營口支線の分岐點にして常驛より十四哩あり（滿鐵支線參照）驛内には食堂兼休憩所あり階上に簡單なる宿泊所を設けあり夜具料一夜五十錢食事は和洋何れにても旅客の需に應ず 當地附屬地に本邦人の居住するもの九百人余あり海城驛 Hai-Cheng 海城市街は驛の東南十二町計り人口一萬余あり 本邦人の居住する者城の内外合して其數約三千余あり 海城ホテル外三四の旅館は旗亭を兼ね一泊二圓五十錢内外とす湯崗子驛 Tang-kiang-

Kang-tzu 湯崗子温泉は驛を距る數町の地に在り東清鐵道時代には露人經營せしが戰後邦人之を修理經營す 四方の眺望廣濶旅館金湯ホテルあり一泊一圓五十錢乃至四圓晝食は其半額遼陽驛 Liao-yang 遼陽城市は驛より數丁の所にあり滿州に於ける舊都城の一にして奉天に次ぐ繁華の市街なり物資の一大集散場にして商賈雲集し鐵道の便に加ふるに大子河には舟楫の便あり城内人口三萬六千余内本邦人四百余停車場より城門に通ずる鐵道附屬地には頗る繁華なる日本町をなし人口二千七百余あり

停車場構内には食堂の設けあり又赤帽ありて手荷物を運搬す一個に付五錢なり且つ到達手荷物を旅客の旅舎又は住所へ配達を取扱ふ

遼塔ホテル、藝陽館、滿州ホテル、遼陽館等あり一泊一圓五十錢乃至四圓晝食は其半額煙臺驛 Yen-Tai 煙臺炭坑は驛の東方約三里毎二五六十屯の出炭あり沙河驛 Sha-ho 河露の役沙河大會戰場として知らる蘇家屯驛 Su-chia-tun 此驛は撫順支線の分岐點ならば撫順炭坑方面へ赴く旅客は同支線列車に乗換を要す(滿鐵支線参照)

奉天城を距る約一里の所に在りて大連より約九時間を要す 奉天は安奉線の分岐點に加ふるに京奉鐵道の終端連絡點に當るを以て滿鐵全線中長春と伯仲の間に在る主要停車場なり 構内には本邦人と外人と各別に經營する二食堂の設けあり 又赤帽ありて手荷物運搬及び市内配達を取扱ふ

驛より城内には馬車鐵道の便あり賃銀十錢とす

奉天府は奉天省の中央に位し清朝發祥の地とて規模雄偉壯麗にして街衢四達老舖軒を并べ商賈雲集百貨幅輳す 人口十六萬八千滿州第一の大都會なり 日本人の居住する者城の内外を合して三千八百人驛より城に達する間には既に日本町を形成せり

旅館 『アストルハウス』(城内)瀋陽館、扶桑館、東洋ホテル、奉天旅館(城外)等あり宿泊料一圓五十錢乃至五圓晝食は其半額

金鑾殿、崇政殿、福陵、昭陵、紀念碑(奉天大會戰に陣歿せし我勇士の紀念碑)等觀覽に値す

京奉鐵道

京奉鐵道は奉天より北京に通ずる鐵道にて南滿州鐵道奉天停車場西北半哩弱の處に起點瀋陽驛あり 該驛と奉天驛を連結し京奉線乗換者に便せん爲め列車は奉天驛に在て客を迎ふ 但し切符は瀋陽驛着の際購入するを要す 尙京奉線と南滿線との間には連絡切符發賣の便法あり 南滿線に在ては大連、旅順、瀋陽、長春の各驛に於て京奉線に在ては新民府、山海關、天津、北京の各驛に於て之を發賣す鐵嶺驛 Tiehling 鐵嶺市街は驛を距る約十町大道直に西門に通ず人口約三萬余西門外より停車場に至る一帶の地域は殆んど日本町を形成し約二千八百人余居住す 此地は遼河に瀕し且つ鐵道の便あるを以て附近一帶の豊富なる農産物は多く此地に集まり大豆のみにても其額年に六十萬石に達す 蓋し遼河々岸の都市中大豆の最大集散地なり

旅館

松華ホテル、高砂ホテル、鐵嶺ホテル、近江屋、福屋等あり一泊一圓五十

錢乃至七圓晝食は其半額とす開原驛 Kaiyuan 開原市街は人口二萬八千を有し驛の東方約一里半に在り 鐵嶺、昌圖、法庫門 西豊(掏鹿)西安三縣に通ずる大道路あり大豆の集散地にして市況稍々盛んなり昌圖驛 Chang-tung 圖府は驛を距る西北二里府を開きしより三十余年人口約一萬四千余の一新都府なり現今居住本邦人城内外合はせて二百四十余人あり

停車場構内食堂の設けあり

驛の東方十八丁に在る鉢卷山は日露兩軍最後の對戰場なり四平街驛 Sui-ping-chieh市街は驛の西北二里計りに在る小村落なり此地は日露戰役後第一次彼我兩國委員の會見地にして徹兵及び其順序を定めたる所謂四平街覺書を調製せられたる所として有名なり長春驛 Chang-chun 長春驛は南滿鐵道の終端にして長春城北門を距る約二十町に在り東十余町を隔て東清鐵道の寬城子驛と相對す

城内は人口約五六萬と稱し街路廣潤商業甚だ殷賑なり本邦人の居住する者約四千五百

人内附屬地に住するもの二千八百余人あり

此地は北滿商業の中心にして其北方より西方に亘る大平野は大豆其他穀類の産地として滿州中實に第一位を占む

停車場構内には赤帽あり手荷物の運搬及び市内への配達を取扱ふ

旅館

滿鐵會社直營に係る長春やまごホテルは宿泊料一人一泊三食付金六圓乃至

七圓食事料 朝食九十錢 晝晩食各一圓三十錢なり其他三義ホテル 大和ホテル等あり

一泊二圓乃至四圓晝食料は其半額とす

吉長鐵道

長春より東三十五里に在る吉林市と長春間の鐵道にして工事大に進捗して最早凍車の運轉を見ること遠からず何れ竣工の曉には長春停車場は南滿、東清、吉長三鐵道の會合點となり其旺盛眞に想ふべし

東清鐵道

露國東清鐵道は寬城子驛を南端とし我南滿州鐵道と長春驛に於て接続し北哈爾濱に走り西は露都及び莫斯科へ東は浦潮斯德へ通す 毎週三回大連發の急行列車は

長春驛に於て直に東清鐵道旅客列車に接続連絡す

南滿州鐵道安奉支線

安奉線は南滿州鐵道幹線奉天驛より鴨綠江岸なる安東縣に至る南滿州鐵道の支線なり日露戰役中我陸軍の手に依りて敷設せられたる輕便鐵道なりしが明治四十二年之が改築工事に着手し全線百九十二哩余其内奉天と本溪湖間約五十哩及び他の一方安東縣より鶏冠山まで約四十五哩間は既に改築工事竣成し廣軌列車の運轉を開始するに至れり本線路の通ずる所其風光の奇峭にして秀抜なる實に全線に冠たる所にして且つ沿道山河一として往年我將士流血の地ならざるはなく人をして轉た感慨に堪へざらしむ 安東縣驛 An-tung-hsien は鴨綠江を溯ること約十里の右岸に位し東南に江を隔て、朝鮮の新義州と相對す 此地は元と一寒村に過ぎざりしが開墾事業の進捗と共に次第に發展の機運に向ひ加ふるに木材市場としても大孤山、大東溝の繁榮を奪ひ今日にては東部滿州第一の都

會となり人口約二萬餘あり

六六

日本市街は江に臨み丘を負ひ北は支那市街に接し區劃整然として行政教育其他諸般の設備略ぼ整頓せり人口四千を算す

旅館 元寶館 喜久旅館 富久壽美旅館 安東館等あり一泊一圓五十錢乃至五圓晝食料六十錢乃至一圓五十錢 五龍背驛 Wu-lung-pei 五龍背は安東縣より約十五哩山間の一村落到過ぎざるも驛を距る約二丁の所に在る五龍背温泉を以て著名たり 無臭透明「アルカリ」泉にして眺望も亦佳絶なり 宿泊自炊の便あり宿泊料一圓六十錢 鳳凰城驛 Feng-huang-cheng 鳳凰城は明時代の建設に係り現今城内は重なる官衙及び官吏の居宅あり人口約八千四圍に産する大豆、豆粕、高粱及び山繭の類は此地を經由して安東縣に出するを以て商業盛んなり 鷄冠山驛 Chi-kuan-shan 明治四十三年十一月改築工事竣工し安東縣より此驛まで廣軌列車運轉す其間約四十五哩余三時間半を要す 秋木莊驛 Chiu-mu-chu 至る線路は大房身嶺、黑坑嶺等安奉線中の難所峻坂なるを以て勾配急にして曲線

多し鷄冠山よ秋木莊迄山路僅に六哩に過ぎざるも鐵路は十六哩に及び實に安東線中第一の難所なり

此地にて列車を山線索引定數範圍内に分割し約五十分を隔てて二回に發車す旅客は開放車内に携帶荷物を遺留せざる様注意すべし 草河口驛 Tsao-ho-kou 安東線の中央に當り安東縣、奉天兩地發の列車は各此驛を終點として停止するが故に旅客は凡て此所にて乗換を要す

中國屋、日新館、滿東館、福住館等の旅館あり一泊一圓五十錢乃至五圓晝食料六十錢乃至一圓五十錢 橋頭驛 Chiao-tou 是より先き瀋車は安奉線中最高地點にして鴨綠江と遼河の兩水域の分水點たる分水嶺を超ゆ 連山關驛より此驛に至る間風光の絶佳なるは實に安奉線中の白眉たり

此驛に於ても先の秋木莊驛にての如く解放分割す 旅館長陽館、若松屋等あり一泊二圓乃至五圓とす 本溪湖驛 Pen-hsi-hu 遼陽を去る東十五里太子河の右岸に位し人口約五

六七

千安奉線中主要の都邑なり本邦人の居住する者約四百多くは料理店又は雜貨店なり

奉天驛より此驛まで廣軌式列車に改めらる其間約五十哩四時間計りなり

此地と太子河との間に横はる丘陵には炭坑ありて中に日本人の經營に係る炭坑もあり石橋子驛のShih-chiao-tzu 奉天より發する廣軌列車は久しく此地迄なりしが今は延長して本溪湖に至れり

大嶺其他附近一帯の山脈は沙河會戰の新戰場として著名なり其他幾多の新戰場と穀類の名産地を通過し撫安驛を過ぎて瀛車は奉天驛に到着し滿鐵幹線と接続す

旅順支線

臭水子驛より分岐して西南旅順灣頭に走る一線は旅順支線にして其延長約三十九哩あり

臭水子驛より旅順まで其間の夏家河子驛 Hsia-chia-ho-tzu は白砂碧海水清く平淺にして

銷夏の好適地たる海水浴場に行く可く城子驛 Ying-cheng-tzu の海岸は魚鹽の利少からず又日清、日露戰役の思ひ出多き新古戰場に行く可く車窓より近く或は遠く望見しつゝ一時間余にて終點なる 旅順驛 Lu-shun (Port-Arthur) に到着す 旅順に就ては遠くは日清戰争及び露國租借以來近くは日露戰役中の新戰場として世人の記憶に新たなる所忘れんとして忘る能はざる所たり

旅館

滿鐵會社直營の旅順やまどホテルは一般の設備等大連と略同じ

其他市内旅館は日の出ホテル、賓來館、松田旅館、臺灣館等あり宿泊料一泊二食付一圓乃至四圓とす

營口支線

大石橋驛より分岐する一線を營口支線と云ひ其終端驛を營口とす其延長約十四哩三十分を要す 營口驛 Ying-kou 營口は遼河を溯ること約十四哩の右岸に位し河に沿ひて

建設せられたる狭長なる市街にして人口五萬余あり我新市街は支那町の東方牛家屯との間にあり邦人の居住する者新舊兩市街を合して二千外に附屬地に約三百人あり此地六十年計り以前は寂寥たる一漁村に過ぎざりしが地の利に加ふるに各國互市場を此地に開くに當り商估次第に移住し今日に及べり元此地は滿州の咽喉たる地位なれば滿州内地の開歩を進むるに従ひ滿州貨物唯一の吞吐口となり其大豆、豆粕販路の擴張は更に長足の進歩を遂げしめ殊に露國が東清鐵道を経営するや物資勢力の大部分を此地に仰ぎたるより一層其繁榮を助成し引續き日露戰役に至る迄は營口の全盛時代とも云ふべし其後引續きたる不景氣は多少影響を被らざるに非らざるも猶大連と相並んで滿州の二大貿易港たるを失はず

旅館

旭ホテル、清林館、大和館、「アストルハウス」等あり宿泊料一圓乃至三圓晝食は其半額とす「アストルハウス」は海關埠頭に在て歐人の主管に係り純然たる歐風旅館にして宿泊料三食付五圓乃至七圓とす

撫順支線

蘇家屯驛より分岐し千金寨又は撫順に達する支線にして其延長三十四哩あり

撫安、孤家子、深井子、李石寨等の諸驛を過ぎて 千金寨驛 Chien-chin-chai に至る千金寨は撫順炭坑の中心にして炭坑事務所の所在地なり元微々たる一寒村なりしが我國の經營に屬せし以來大に其面目を改ため今や鐵道附屬地に日本人清國人各三千人余居住するに至れり

筑紫館、吾妻家等の旅館あり宿泊料最低一圓最高四圓 撫順驛 Tun-shun 撫順驛は本支線の終端驛なり當驛と千金寨驛間は營業線に非ずして重に石炭及貨物の輸送に使用す然れ共便宜旅客乗車の需めに應ずることあり

撫順炭坑は千金寨、揚柏堡、老虎臺一帶の炭坑を總稱するものなり炭脈は南北一里東西約五里に亘り炭層の厚百八十尺より最薄八十尺に至り平均百三十尺なり滿鐵會社が引

繼を受けし以來急速其改造に従事し目下採掘する個所合計七坑にして一日の出炭高優に二千噸に達すと云ふ

朝鮮鐵道

朝鮮鐵道は明治四十四年七月現在に於ける營業線路は釜山より大邱、大田、龍山、京城、開城、平壤等を経て新義州に至る縦貫幹線及び馬山、連山、仁川、鎮南浦等の支線を併せ延長約七百哩とす

豫定線たる京釜線大田より分岐して南海岸の群山、木浦兩港に通ずる湖南線百七十餘哩及龍山より分岐して元山港に到る百三十哩は何れも工事中に屬し湖南線の一部に在りては既に營業列車の運轉を見、順次營業線路を延長しつゝあり、全線の哩數一千を算する蓋し目睫の間にあり

朝鮮鐵道の南端釜山と本土下關間に於ては輕快なる鐵道連絡船あり、北端新義州は鐵道連絡小蒸氣船を以て鴨綠江の對岸直に清國安東縣に達す、鴨綠江の鐵道橋は既に大半其工を終り安奉線改築工事の竣成と相俟て本鐵道は東洋歐洲間最捷の通路として重要な

る地位を占むるに至るべし

七四

釜山 下の關と相距ること百二十哩、絶影島踞然として港外に半天を摩し自ら形成せられたる良灣を有し關釜間鐵道連絡船は朝夕其棧橋に懸り停車場は海岸埋築地に新築され東西交通上の門戸として益々其繁榮を豫期せらる勝地として龍頭山及び龍尾山等あり旅館 大池旅館、守屋旅館、鳴戸旅館、岡野旅館、大市旅館、釜山ホテル等數多あり草梁驛 釜山港内草梁の海岸にあり此地元微々たる一寒村なりしが鐵道創設以來此處に基點を置きたるより全く其面目を改めたり

釜山鎮驛 釜山、草梁と相連接し東萊溫泉場は此處より六哩にして輕便鐵道の便あり龜浦驛 龜浦街に接したる洛東江の左岸にあり此地慶尙南道各地に對する海陸運送の中繼所にして商業上樞要の地位を占む

三浪津驛 釜山より三十哩約一時間を要す馬山支線の分岐點なり

馬山驛 馬山支線の終點にして三浪津より二十五哩約一時間半にて達す、下關より約

百六十哩の西北に在り鎮海灣口の巨濟島を以て外海の激浪を遮り曾て風濤を知らず氣候の溫和と風光の絶佳なるは朝鮮稀に見る所にして避暑避寒の好適地とす 吉川旅館、大功旅館、堀江旅館、望月旅館、池田旅館、湖上旅館、朝日屋等あり

慶山驛 此地附近土地肥沃豊饒にして農産物の集散地として著名なり

大邱驛 大邱は慶尙北道の首都にして釜山京城間の要路に當り本道は勿論全羅、忠清江原各道の重要市邑に對し交通至便の形勢を保ち物質の集散夥しく商業頗る殷盛なり又附近に曠豁なる平野を有し且つ地味氣候共佳良なるが故に煙草、果實其他農作物の收穫尠からず 大邱館、吉田旅館、立花旅館、唯家旅館等數多あり

大田驛 京釜鐵道創設以來の新開地とす曩に群山、木浦に到る湖南線の分岐地と確定以來一層の活氣を帯び移住者は漸次増加し駸々發展の好況を徴せり

湖南線は一部既に工を終へ當驛連山間二十五哩列車運轉しつゝあり

成歡驛 此地日清戦役の古戰場たるを以て其名夙に知らる 牙山、屯浦の要衝に當り

七五

且つ砂金及び岩金を産する稷山金鑛あり

平澤驛 地形一帯平坦にして東西八里地質肥沃にして朝鮮唯一の穀産地たり五穀豊熟年々の産出數十萬石を下らず

水原驛 水原は往昔高麗の大祖水州都護府を置きし等由緒ある地にして近代には觀察府を置き京畿を管理せし處たり 李朝正宗莊孝王を葬る、華山には栽植の松樹無量六百萬株に達し禿山國たる半島唯一の人工的模範林にして附近一帯の山水は頗る風致に富み旅行者をして車窓鬱を散せしむるに足るべし此地亦土地肥沃農産物豊穰にして朝鮮總督府勸業模範場所在地たり

永登浦驛 此驛は仁川に至る分岐點なれば釜山方面より仁川に赴く旅客は乗換を爲すべし

龍山 南大門驛を距る十餘町の處に在り京義線の基點にして京釜線との分界點なり 此地は漢江の一要津にして日露戦役後着々發展し鐵道主腦部の所在地にして市區整然京

城に通ずる電車あり

目下工事中なる京元線も當地より分岐し運輸交通上中樞の地とす 太陽旅館、内田旅館等あり

南大門驛 西大門驛兩驛共京城市中に在り一は南大門外に他は西大門外に位置し京釜線は西大門驛を以て終點とす

京城は元と韓國の首府にして現今總督府あり、四方山を以て圍まれ漢江は東南を遶り山河襟帶實に景勝の地たり 石壁延長二里半京城を周廻し城壁に八城門を設く市街は城の内外に連り區劃井然其最も繁華なるを鐘路とす

旅館 ソンタクホテル、アストルハウス、京城ホテル、天真樓、巴城館、山本旅館、不知火旅館、浦尾旅館、三ヶ月旅館等數多あり

勝地としては景福宮、バゴダ公園、倭將臺、東北廟等枚舉に遑あらず

仁川驛 此地元濟物浦と稱する一漁村なりしが明治十六年開港以來漸次繁盛に赴き其

後日清、日露戦役の結果として非常の進歩を來し今や朝鮮第一の貿易港となり其貿易額の如き一千六百萬圓以上に上る。京城より僅に二十五哩汽車頻繁に往復し其急行列車は一時間にて達すべし。

當港は由來潮水干満の差三十尺に及び大船巨船は多く港外に碇泊せざるを得ざる不便あり。久しく提唱せられたる築港も今や其歩を進めたるを以て近く着手せらるべし。仁川俱樂部ホテル其他數多あり。釜山より新義州に直行する旅客は龍山驛より水色、一山其他の諸驛を經過し開城に至る。

開城驛 往昔高麗朝の帝都たりし所にして京城、平城間の大都會なり有名なる高麗燒は尙四方數里間に於て發掘せらる又人墓は此地の特産にして專賣局の經營する處年額二百餘萬圓と稱せらる。

平壤驛 京城、義州間の中間に位し朝鮮の古都にして京城に次ぐ大都會なり。此地は遠く文祿の役、近くは日清の新古戰場として其名高く又附近に良好なる無煙炭を産す。

柳屋旅館、三根旅館、櫻屋旅館、松岡旅館、二見旅館、北辰旅館等數多あり。

鎮南浦驛 朝鮮西海岸唯一の良港たる鎮南浦は平壤を距る三十五哩、大同江の下流に在り港内水深く大船巨船碇繫に適し商業殷盛なり。朝日館、扶桑館、明月館等數多あり。平壤より汽車は順安、新安州、雲田、定州、東林、南市、白馬、石下等の諸驛を經過し新義州に走る龍山驛よりの行程三百十哩。

新義州驛 新義州は京義線の終端驛即ち朝鮮鐵道北部の終點にして鴨綠江の左岸にあり、滯國安東縣と斜めに相對す鐵道連絡小艇に依りて兩地間の往復至便なりと雖も着手中の鴨綠江鐵道架橋工事の竣成は目睫の間に迫り車窓其偉觀を恣にするの機蓋し本年秋季なるべし。岩田旅館、安樂旅館、日勝旅館、中津旅館等あり。

注意事項

旅券

西比利亞鐵道に依りて旅行せんとする者は浦沙斯德又は大連の何れを經由するに論なく米國其他の外國へ行くに等しく必ず海外旅行券を携帯することを忘る可らず而して旅券を得たるときは先づ在本邦露國領事館（横濱、函館、神戸、長崎此外敦賀にて露國義勇艦隊代理店主「フェドロフ」氏名譽領事の資格にて便宜此取扱をなす）に就き査證を求むべしこの査證手数料一件に付貳留貳拾五哥にして邦貨換算額金貳圓參拾六錢を要す旅券は露國內に於て殊に必要にして汽船汽車切符購入の場合又は露國內にて旅館に投宿の際必須のものにして之れ無きか或は有るも査證なき爲め上陸入國を拒絶せられ又は不測の面倒を惹起する等無益の時間と費用とを空費することあれば旅行者は必ず露國領事の査證濟旅券携帯を怠る可らず 又露國々境を出つる時にも警察官の許可を受くる規定なるを以て聖得彼堡又は莫斯科にて裏書を受く可し「此の手續は「ホテル」又は心得ある人に依頼するを便とす」

携帯品

旅行中朝夕取り出し使用す可き物を初め携帯品の數は甚だ多し 化粧

道具は革製にて巻き掩ふ様に出來一と纏めとなりたるを最も便利とす之れには齒磨楊枝 齒磨粉、石鹼、櫛、香水、鏡、小刀、刷毛、爪磨、懐中電燈等揃ひあり其他剃刀、革砥又は安全剃刀、服「ブラシ」、書籍、藥品、上靴 縫針、白黒二種の縫糸大小ボタン數個（總てボタン類は兎角衣服着替の節散逸紛失し易ければ「カフス」釦及び襟、胸の釦も一組位餘分に準備すへし）次には手袋、ハンカチーフ、紙、書翰箋、狀袋、名刺、マツチ煙草等の類を一ト纏めにする様手提小鞆を選ぶを簡便とす

酒と煙草は各國の税關にて嚴重に検査あり甚だ面倒なれば行先にて求むる様にすべし スリッパ（上靴）は船車共に甚だ輕便にして必要なれば必ず用意すべし

寫眞器を携帯する者は浦潮斯德附近は要塞なれば撮影は勿論取扱ひにも注意を要す

「オーバッシュユース」は夏季ならば雨天に冬季は西比利亞にて防寒及び滑りを防ぐに必須のものなり

書籍類

長途の旅行には船中又は汽車中にて多く讀書すれば頭痛す又途中にて友

人も出来自然往來頻繁となり實際は餘り讀む暇なしされば讀んで肩の凝らざる案内記小説類等四五冊も携ふれば充分なり尙數多の書籍、印刷物等は露國內にて面倒多し

藥品

長時日を要する旅行には一通りの藥品は必ず携ふる必要あり寶丹、仁丹、ゼム、清心丹等清涼劑の一種胃散、タカヂアスターゼ、アンチヘブリン、キニーネ丸、トールス丸、ガスガラサグラダ等の類と絆創膏之を要するに解熱感冒藥、下劑、下痢止め、消化藥目藥等一通りの藥品あらば服用せずして事済むも何となく心強し

衣服類其他

服装は成る可く輕装を便とす長途の旅行とて兎角誰も多くを着替服シャツ、ズボン下、ネクタイに至るまで何ダースとなく用意する人あるも此等は却て用心の深過ぎたる話とす從來の旅客中には其儘持ち歸り或は出先きにて不必要と悟り送り返せし例少からず 歐米は日本内地と異り衣服又は身廻り裝飾品の何を求むるも容易に得べし且つ品質好く物に依りては價格も安しされば旅客が西比利亞線ならば伯林へ到看迄の間印度洋航海ならば「マルセル」か倫敦へ到着迄而して米國線ならば桑港、シ

ヤトル又はタコマへ到着迄の間に必要なる杖を用意せば其後は到る所にて新調又は洗濯もせらる

尙防雨謨護引き外套は雨天の時停車場「プラットホーム」散歩に最も便利なり

旅行用荷物の荷造

西比利亞鐵道に依る旅客は荷物の荷造りに關して特に注意を

拂ふの必要あり 大形「トランク」は成る可く之を避け靴「スートケース」等可成小形にして寢臺列車内に運び入れ得るもの「即ち長さ曲尺二尺三四寸以下」の物を撰ぶべし然すれば他客の妨害とならざる限り自己の室に持ち込むことを得要するに大形にして數少なきよりは小形にして個數の多き方好都合なり、大形の荷物は客車中に置くこと能はざるを以て勢ひ列車中の貨車内に預入れと爲さざる可らず然るに露國領内一二等旅客手荷物無賃制限量は一人僅に五十「ポンド」約六貫目歐州各國百十「ポンド」約十三貫目余にして之を超過するときは距離の多大なる大多額の運賃を支拂はざる可らず之を要するに荷物は無賃制限量内にて大形二個位に止めて預け入れに便し其他は客車中に持ち込まれ得る

大の小形數個に荷造すること最も肝要なりとす 尙旅客にして特別に荷物多く且つ不急の物は最終目的地に近き港迄船便にて送るか又は豫め送り置けば言語不通等の爲め往々起り易き手續の面倒と并に運賃の節約も出來至極便利なりとす

無賃超過手荷物運賃 西比利亞鐵道手荷物無賃制限斤量五十「ポンド」歐州各國百十「ポンド」なること既記の如くなるが今便宜の爲め制限超過手荷物に對する運賃率を掲ぐれば左の如し

露國內各地九「ポンド」毎に浦潮斯德より	留哥	二、四六
ハルビン	〇、四一	二、五四
イルクーツク	一、四〇	二、四二
聖彼得堡「ベルム」經由	二、七三	七、九七
同「莫斯科」經由	二、八〇	八、四〇
莫斯科	二、六九	八、六九
哈爾濱より		一〇、四八
イルクーツク	一、一三	九、一五
聖彼得堡「ベルム」經由		二、四六
同「莫斯科」經由		二、五四
莫斯科		二、四二
浦潮斯德より歐州各地「二十二ポンド」毎に		七、九七
ヅキンナ		八、四〇
ヘーグ		八、六九
ブラツセル		一〇、四八
マルセーユ		九、一五
巴里		

ハンプルグ	七、九八	ブラツセル	八、〇三
ベルリン	七、七五	マルセーユ	九、八二
倫敦「フラツシング」經由	八、九三	パリ	八、四九
同「オーステント」經由	九、六七	ハンプルグ	七、三二
哈爾濱より(同上)		ベルリン	七、〇九
ヅキンナ	七、三一	ロンドン「フラツシング」經由	八、二七
ヘーグ	七、七四	同「オーステント」經由	九、〇一

右の表に據て見るに露國內各地間へ浦潮斯德よりと哈爾濱よりするとは毎九「ポンド」に付廿七哥の差を生し歐州各地へは前記兩地より毎二十二「ポンド」に付六十六哥の差違あり

尙此他露都經由歐州各地への超過賃金は浦潮斯德又は哈爾濱其の何れよりするも共に三十一哥宛多額なり

西比利亞鐵道乗車合圖 西比利亞鐵道にては發車合圖として打鐘す 其の一點鐘が乗込用意二點鐘が出發用意にして而して最後の三點鐘は愈々發車の合圖なりとす第

一點鐘と第二點鐘の間には多少の餘裕あるも第二點鐘と第三點鐘との間には餘裕至て少なければ第二點鐘にて乗車するを可とす。時に小驛にては制規點鐘を省略し點鐘二回にて進行することあれば各自注意を要す。

西比利亞鐵道乘換驛

浦潮斯德發西比利亞鐵道に依る歐州行旅客は南滿州鐵道經由哈爾濱にて接續合併したる旅客も共に「バイカル」湖畔の「イルクーツク」停車場に於て最初の乗換あり此驛に於けるは同一線路上の他の列車に乗換ふることなれば至極簡便なり次には「モスコ」停車場にて乗換ふ而して最後に「ワルソー」停車場に於て亦「グーデ」差違の爲め乗換へを要す。

前記停車場の乗換は復行の時も亦同じ。

手荷物検査驛

税關官吏の手荷物検査は各國境停車場に於て行はるゝものなるが潮斯德乗車の旅客は露清國境驛「ポグラニーチナヤ」にて哈爾濱接續旅客は清露國境驛「マンチュリア」に於て最初の検査を受く而して其次には莫斯科經由伯林行旅客は露獨國

境驛「トルン」復行「アレキサンドロフ」に於て而して露都經由伯林行旅客は同しく露獨國境驛「エイクローネン」(復行「ウイルバレン」)に於て旅具の検査あれば旅客は各自立會ひて検査官の便宜を計るべし。

客車及食堂「ポイ」 西比利亞鐵道寢臺列車には各車各一名の「ポイ」露語「ブラウオードニツク」ありて重に露國人なり、食堂車附「ポイ」には多少獨、佛、英語を解する者ありて客車「ポイ」に勝るも未だ十分ならず、されば露語を話さざる旅客は多少不便を免かれざるに付附録せる必要の日用露語を一讀するは退屈を凌ぐ外利便多かるべし。扱て「ポイ」に對する「チップ」心付は客室「ポイ」に對しては二度に與ふるを宜しとす。其一は浦潮斯德又は哈爾濱より乗換驛なる「イルクーツク」まで大抵三留乃至五留乗換後モスコまで約五留乃至七留位とし食堂附「ポイ」には毎食費の約壹割位の見當にて毎食勘定の際與ふるを通例とす。

貨幣兩替

西比利亞鐵道を經由し歐州各地へ旅行する者は日本貨は先づ浦潮斯德に

於ても通用せざれば渡航前便宜露貨に兩換なし置くを便とす
尤も浦潮斯德にても松田銀行部に於て内地と大抵同一率を以て露貨と兩替することを
得

内地及び浦潮斯德兩地に於ける兩替店又は其需に應ずる所は

東京有樂町二ノ二

萬國寢臺東京代理店

横濱

露清銀行支店

敦賀

澤田兩替店

同

大和田銀行部

浦潮斯德キタイスカヤ街

松田銀行部

尙其他の貨幣兩替は旅行者便利の爲め國境停車場なる

ALEXANDROWO

露 國

HERBESTHAL

獨逸國

に準備しありて需に應ず

露國通貨

露國貨幣は留を單位とし總て十進法に依る種類左の如し

紙幣	五百留
紙幣	二百五十留
紙幣	二十五留
紙幣	十留
紙幣	五留
紙幣	三留
紙幣	一留

金貨	二十留
金貨	十留
金貨	五留
銀貨	一留、五十留、二十五留、二十留、十五留
銀貨	十留、五留
銀貨	五留、三留、二留、一留

歐米各國通貨の比價

日露獨佛英米諸國通貨の比價を表示すれば

白佛國	獨國		露國		日本			
	Fr	C	Mks	Pts	Rls	Cks	Yen	Sen
	5			4		2		2
	10			8		4		4
	52			42		20		20
1	00			85		40		40
1	25	1		00		48		48
12	50	10		21	4	86	4	86
22	50	18		36	8	76	8	76
25	00	20		42	9	72	9	72

伊國	埃國		英國				
	Lira	C	eF	C	£	S	D
	5			² 1/2			1/2
	10			5			1
	52			24			5
1	00			48			10
1	25			60		1	00
12	50	6		00		10	00
22	50	10		50		18	00
25	00	12		00	1	00	00

郵便及電信

甲露國內に發着する郵便物

端書 三哥

往復端書 六哥

封狀 一「ロート」毎ニ七哥五「フロント」を最大限

但市内封狀一「フロント」以内五哥

印刷物 封緘せざるもの五グラム毎に四哥

書留料 郵便物一個に付七哥

乙露國外に發送する郵便物

端書 四哥

往復端書 八哥

封狀 五「アラ」毎ニ 十哥

印刷物 封緘せざるもの 二哥

同 封緘せざるもの 十哥

書留料 小包料

十哥

第一種は重量五「キログラム」

乃至十二「フロント」迄とし容積

六十「センチ」迄とす

第二種は重量三「フロント」迄とし

容積に制限なし

丙露國に發着する電信

西北利亞各地 一語五哥(用紙代一回に付十五哥)

歐露各地 一語十哥(同上)

北滿州 東清鐵道驛一語十二哥(同上)

丁露國外に發着する電信(外國電信には用

紙代を要せず)日本各地及南滿鐵道電信所

在地十五字綴一語に付六十八哥

清國 同上 五十六哥

釜山 京城 仁川(同上) 一留三哥
 一留十七哥
 英國 同上 四十六哥
 獨國 同上 三十四哥

佛國 同上 三十九哥
 紐育 同上 八十六哥
 桑港及シヤトル 同上 一留十一哥

時差

西比利亚鐵道に依る長途の旅行には至る所時計の差違ありて不便を感ず
 例令ば浦潮斯德と哈爾賓とは二十一分哈爾賓と莫斯科とは五時五十六分の差違あるが如
 し 便宜の爲め「グリーンウイツチタイム」正午十二時なる時經過する主要各國の時差を列
 記すれば

「グリーンウイツチタイム」正午十二時なるとき
 東京 十一時十三分 午後
 浦潮斯德 八時四十八分 同
 哈爾賓 八時二十七分 同
 イルクーツク 六時五十七分 同
 莫斯科 二時三十一分
 露都 二時一分

中央歐羅巴獨乙、澳太利、匈牙 一時〇分
 利、伊太利、瑞典、諾威、丁抹等 十二時九分
 巴里 正午
 マドリッド(西班牙) 正午
 コンスタンチノール「土耳其」二時〇分
 ニューヨーク 七時〇分
 シカゴ 六時〇分
 桑港 四時〇分

西比利亚鐵道にては浦潮斯德と「イルクーツク」間は哈爾賓「タイム」を使用し「イルク
 ーツク」以西露獨國境「アレキサンドロウオ」間は露都「タイム」を使用し其れより獨乙「タ
 イム」を使用す

外國渡航旅客ノ注意

汽車旅行に於て客車及び食堂車の「ボーイ」又は旅館の「ボーイ」に多少の心付を殊に外國にては益々其必要なることは既記の如くなるが海路旅行に於ても亦其船室「ボーイ」に對し又上陸の後は手荷物運搬夫乃至は旅店の「ボーイ」に對し多少の心付けを與ふことは殆んど定例なりこれは唯僅かのことながら取扱待遇に及ぼす影響甚だ大なれば旅行者は豫め此邊の注意至極肝要なりとす

汽船手荷物無賃制限 汽船は手荷物無賃制限汽車より遙に容積及び斤量共大なれども左記制限を超過する能はず且つ船室に持ち込まんと欲する鞆は長さ四呎幅二呎六吋高一呎三吋を超へざること其以上のものは手荷物庫に預け入れを要す

外國航船

一等

三五〇英斤又は四〇立方呎

二等

一五〇英斤又は三〇立方呎

特別三等、三等

一五〇英斤又は二〇立方呎

「右は郵船會社船の規定にして其他の汽船に於ても大差なし」

右制限以外の手荷物に對しては貨物運賃率に據り相當の賃金を拂はざる可らず

歐洲航路

歐洲航路 日本郵船會社船を初め本航路の汽船は横濱港を解纜して神戸、門司及び長崎等の内地諸港に寄港し清國上海に向ふ

上海は本邦より約二晝夜にして達す支那通商碼頭中最も繁榮を極め百貨常に輻輳帆檣兩岸に林立して常に清國內外貿易の中心たるのみならず實に東洋貿易の一大關門たり此地張園、愚園の二公園を始め觀覽す可き所甚だ多し 上海に於ける人力車賃は市内遠近に因りて相違あれども大抵十錢乃至二十錢なり

旅館は東和洋行、常盤舎、松崎洋行、豊陽館、虎家等あり宿泊料一泊二圓乃至四圓西洋旅館は「アストルハウス」「パレースホテル」「ホテル、デ、コロニー」「カーリーホテル」等にして一日の宿料五圓乃至十圓位とす

香港 上海を發して八百餘海里三日餘りにて著す 港門二つの内日本より赴くものは鯉魚門路より入る 船港に入れば支那船丁船側に來り客を迎ふ其賃銀一人洋銀拾仙乃至拾五仙なり 此港迄は郵船會社の濠州航路船其他東洋汽船及び大阪商船會社の米國航路船も寄港す

香港は廣東省珠口の河口に横はる一小島なり全島巖石にして山陵起伏す英國に割讓以來英人銳意修港且つ地を開き以て東洋第一の商港となせり港内深く且つ濶く大船巨舶の緊泊に便なり

日本旅館は東洋館、清風樓等を其優なるものとす其宿料一日二弗五十仙乃至三弗五十仙位なり 西洋旅館は「キング、エドワード、ホテル」香港ホテル、「ビークホテル」「キ

ンソルホテル」等優れり宿料は一夜四弗乃至七弗位とす

香港を出帆して大小の島嶼散點する間を駛せ約五晝夜にして新嘉坡港に入港す横濱を距る實に三、四四五哩なり

新嘉坡 は馬來半島の南端一緯帶水を隔つる一小島にして英國海峽殖民地政廳のある所なり 港頭の棧橋長く突出し大船巨舶の繫留自在なり 市街は廣濶平坦にして高樓大廈隣次し白亜皎々として壯觀を極め其繁華香港に遜らず

旅館は「ホテルラッフルス」「ド、ラ、ペー」「アデルフキホテル」「ホテルユーロップ」等にして其宿泊料洋銀六弗位なり 此地物産多く就中藤の杖具殻等好土産なり

彼南 一名「プリンス、エールス」島と呼ばれたる海峽殖民地の一にして西方に位する一小島に過ぎざるも近時貿易商業殷賑を極め「マラッカ」海峽中の要港たり砂糖の産出多し

古倫母は横濱を距る五、一三八哩海上廿九日程なり上陸には艇に依るを便とし其賃錢

本船より波止場まで古倫母銀二十五仙（一仙は我六厘五毛即ち一留比我六十五錢餘）此地は錫蘭島の首府にして港口には巨大なる防波堤ありて船舶の繫泊に便す此地には我國より輸入せる人力車ありて雇賃一時間五十仙なり馬車は雇賃一日四留比乃至五留比

旅館は「グレートホテル」及「プリストルホテル」を優とし宿料最高拾留比最低四留比とす 寶石細工、象牙細工、金剛石等は此地の名産にして好土産なり

古倫母を發して十日餘りにして有名なる「スエズ」灣に進み「スエズ」港に着す 此地寄港は單に運河通過の準備の爲めに過ぎざれども埃及觀光に志ある者は此所より上陸し汽車便に頼るを便とす「ポートサイド」迄汽車通す

「ポードサイド」寄港 「ポードサイド」は運河南端の入口より約一百海里にして横濱を距る實に入、六二八哩なり

「ポードサイド」に入るや第一に眼眸に落つるものは運河會社の大厦なり船の此港に寄泊するは單に石炭搭載の爲めにして僅に數時間にして拔錨す 此港を解纜し地中海に入

れば眼界濶大島嶼點在我瀬戸内海の光景に似て壯大なるを異れりとす船の進むに従ひ視界益々廣く遂に渺茫たる蒼海を現し既にして希臘國を北方に望む船進むこと約三晝夜余にして伊國南端の岬角を經過し尙進んで「コルシカ」「サーヂニア」の兩島間なる瀬戸を通過し一晝夜にして馬耳塞港に着す

馬耳塞 埠頭は海灣の東岸より北岸の邊を占め大船巨舶の繫泊自在なり 歐洲大陸の諸都市へ赴く旅客は此地より上陸し汽車に依るを通例とす又英國に行く人にして途中佛國の諸都市を觀覽せんとする時は此地より汽車に依るべし常港より汽車にて里昂まで約六時間巴里まで約十四時間巴里を經由し伯林迄三十時間維納まで二晝夜計りなり此地上陸の旅客は税關官吏の嚴密なる検査あり

此地は佛國南部の商港にして地中海に面し同國第一の貿易港なり市街は街衢整然家屋總て六階乃至七八階にして全市の光景壯麗を極む

遊覽には博物館、展古館を初め「レブメント」公園、離宮等なり

旅館「グランホテル」、「デユ、ルーヅルエドラペーホテル」、「グラン、ホテル、ノアイ
ーユ、エ、メトロポール」を初め好旅館尠からず宿料は大抵朝食付にて佛貨二十法前後以
上晝食凡七法以上位にして船の碇泊は大抵二晝夜位なり

馬耳塞港を解纜し西班牙半島の東海岸に沿ふて進行すれば約三晝夜計りにして地中海
西方の海口たる「ジブラルダール」の瀬戸を過ぎ此瀬戸を出づれば有名なる古戰場「トラフ
アルガー」岬角あり夫れより進んで進路は北に轉し葡萄牙國の岸に沿へば首府「リスボン」
「オポルト」港等の市街を指點すべし益々駛すること凡二百哩計りにして「ビスケー」灣に
出て英國海峽に入るなり更に進んで英國「サウザンプトン」港口の燈臺を望み「ドーヴァ
ー」海峽を過ぎ左方に向て進航すれば間もなく船は「テムス」河に入り倫敦に至るべし
日本郵船會社船に依るときは同支店はNo.4 Lloyds Avenue, E.C. London に在り此所は回
漕業者軒を並ぶる所にして左右概ぬ汽船會社なり又此附近は倫敦市商業の中心にして横
濱正金銀行、三井物産會社、大倉組、東京海上保險會社等の各支店皆此方面に在り

倫敦府は規模壯大にして大家高樓櫛比し馬車絡繹士民の往來織るが如く到る所旅客の
眼を驚かすもの多し

倫敦に就ては陸路に依る倫敦記に少しく記しあり(參照)

米國航路

一〇三

本航路には日本郵船會社及び大阪商船會社汽船の毎二週一回の定期尙ほ東洋汽船會社を初め大平洋汽船會社、加奈太太平洋鐵道會社等の内外國汽船數多ありて北米と香港又は馬尼刺間を往復航海す横濱より約三、六〇〇海里凡十六日間を要す

各汽船何れも米大陸横斷鐵道に連絡するが中に本邦郵船會社汽船は「シアトル」に於て大北鐵道及び北太平洋鐵道に接續連絡し大阪商船會社汽船は「タコマ」に於て「シカゴミルウオーキー」鐵道に而して東洋汽船會社汽船は桑港に於て西太平洋鐵道會社と接續連絡す

濠州航路

本邦より濠州へは日本郵船會社汽船の毎四週一回横濱を起點として「メルボルン」迄定

期航海あり

横濱を解纜して神戸、門司、長崎に寄港し香港を経て「マニラ」、木曜島、「タウンズグイル」、「ブリスベーン」、「シドニー」經過して「メルボルン」に到達す 横濱より三、〇三〇
哩なれども寄港地多く三十五日間を要す

「メルボルン」より「アデレード」には汽車に依るを便と

一〇三

附 録 旅 行 中 實 用 露 語

アザーン
 ヅロー
 ツリー
 チエツトイレ
 ビヤーチ
 シエスチ
 セミ
 ウホーセミ
 デーウイヤチ
 デーシヤチ
 アチンナツツアチ
 ヅウエナツツアチ
 ツリナツツアチ
 チエツツイレナツツアチ
 ビヤーチナツツアチ
 セシチナツツアチ

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六

セミナツツアチ
 ウホーセミナツツアチ
 デーウイヤチナツツアチ
 ヅロツツアチ
 ツリツツアチ
 ソーロク
 ビヤチデシヤート
 セスチデシヤート
 セミデシヤート
 ウホーセミデシヤート
 デグヤノスト
 スト
 ヅウエスチ
 ツリスター
 チエツレスター
 ビヤチソート

十七
 十八
 十九
 二十
 三十
 四十
 五十
 六十
 七十
 八十
 九十
 百
 二百
 三百
 四百
 五百

ツイシヤチャ
 ホーエズド
 エクスプレス
 ハールウイ、クラス
 フタロイ、クラス
 ツリーチー、クラス
 ナチヤーリニツクホエズダ
 プロウホードニツク
 コンドクトル
 ザール
 バガーシナヤ、クイタンチャ
 ビレート
 ワクザール
 ナ、ワクザール
 ヘレサツトカ
 スコリコ、ミヌード、オスタノフカ
 タモージニヤ
 ドスモートル

千
 汽車
 急行列車
 一等
 二等
 三等
 列車長
 列車ボーイ
 車掌
 待合室
 手荷物受取證
 切符
 停車場
 停車場へ
 乗換
 何分停車しますか
 税関
 税関検査

パスポート
 バガーシ
 ヤボンスコエ、コンスリストチ
 ゴスチニツア
 レストラオン
 イズウオーシチツク
 ナブラウ
 ナレーウ
 ストイ
 ノシーリシチツク
 チヤイ
 コーフエ
 アペード
 ワーシン
 ローシカ
 ノーシカ
 サール
 ソール

旅行券
 手荷物
 日本領事館
 旅館
 料理店
 辻馬車
 右へ
 左へ
 止レ
 赤朝
 茶
 咖啡
 晝飯
 夕飯
 匙
 小刀
 砂糖
 鹽

ワイノー
 ビーチ
 クラースノエ
 ペーロエ
 モロコー
 スタカン
 スルーシヤイチエ
 ダイチエー
 ダイチエー、ワドイ
 ダイチエー、キピヤトク
 スチオート
 ドーロゴ
 シヨージョーカ
 スカレーエ
 パツヤールイスター
 スコリコ
 シト
 エートイ

葡萄酒
 麥酒
 赤
 白
 牛乳
 コツプ
 モシ
 下サイ
 水ナ下サイ
 お湯ナ下サイ
 勸定書
 高價デス
 安價デス
 速ニ
 何卒
 幾何デスカ
 何か……
 コレ、コレデス

ボチトローヤ、マールカ
 アツトクリートエ、ピシモー
 ピシモー
 プリネシチーチエ
 シユダ
 ハラシヨ
 子エ、ハラシヨ
 ダ
 ネット
 ネエ、ナード
 ナード
 カトールイ、チヤス
 ボニマール
 ネエ、ボニマール
 ヤ、ゼラーユ
 ネ、フワツターエツト
 マーロンキー

アレ、アレデス
 郵便切手
 端書
 手紙
 持チ來レ
 此處へ
 宜シ
 宜シカラズ
 然リ
 否
 不要
 要用
 何時デスカ
 解リマス
 解リマセン
 私ハ望ム
 不足デス
 少サキ

ホリシヨイ	大キイ
スバシーボヌアラゴダリユー、ロス	難有フ
メニヤーロ	兩替屋
タバーチヌー、マガージン	煙草屋
カラシダトシ	鉛筆
スピーチカ	燐寸
ワダ	水
ワイ	那方
ホン	彼
ゴスボシヌ	君
ヤ	私
モ	私ノ
アナチ	彼女
グデ、ウポールナヤ	便所ハ何處デスカ
エス	在リマス
ッダ	彼處へ
シユダ	此處へ
ホーチヌ	郵便局

ヤープロコ
 グルーシ
 アハリシオン
 ハールシツク
 モローゼンノイ
 フルークトフ
 エシチヨ
 ヴーリツツアー
 パールク
 サード

林檎
 梨子
 蜜柑
 桃
 氷菓子 アイスクリ
 菓物、果實
 モット、尙ホ
 町
 遊園、公園
 庭、園

産虜特崎長

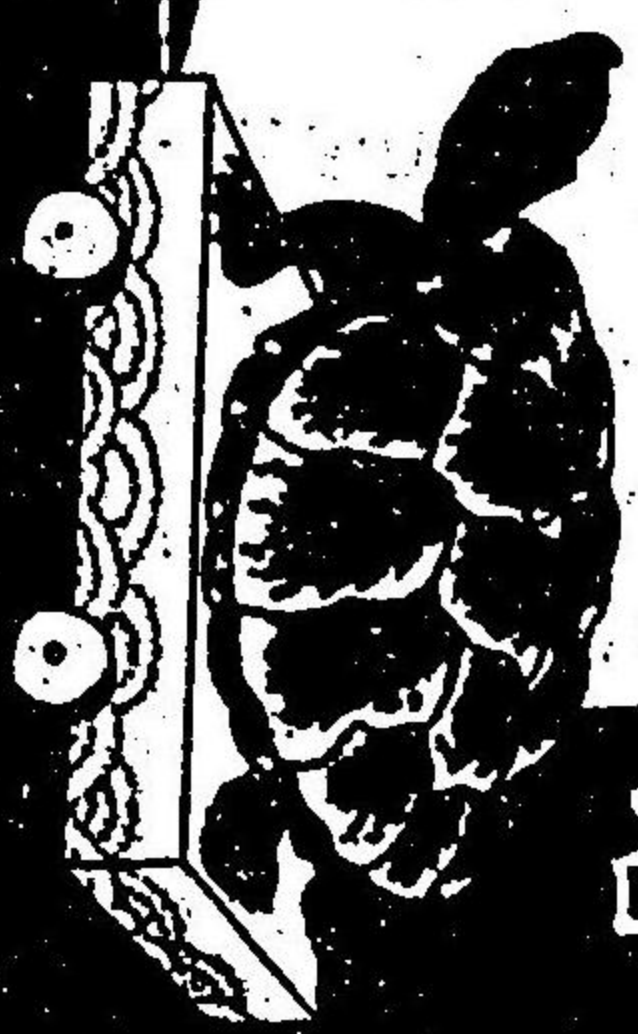
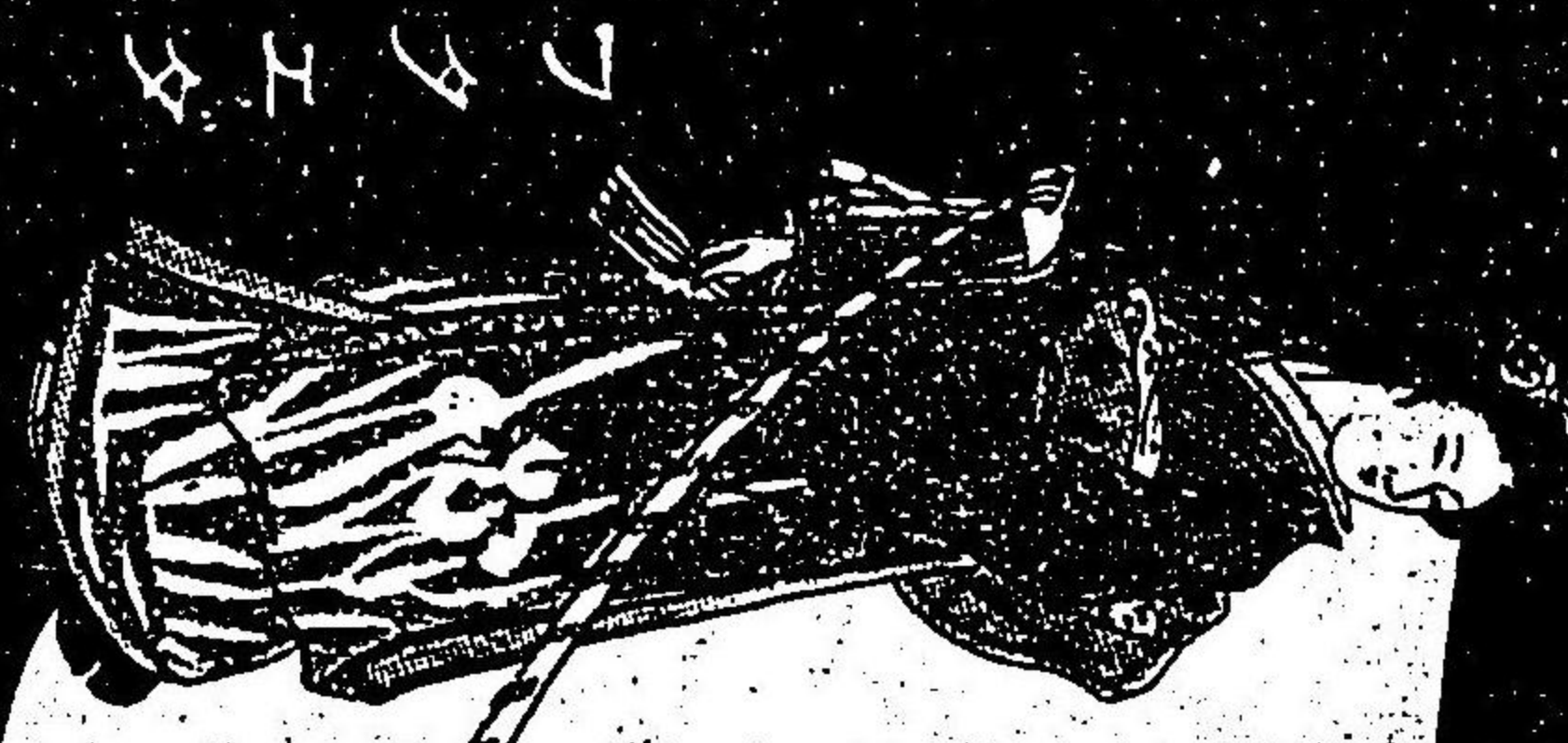
Patronized by the Imperial Japanese Household.

→ **FUTAYEDA & CO.,** ←

Manufacturers of and Dealers in

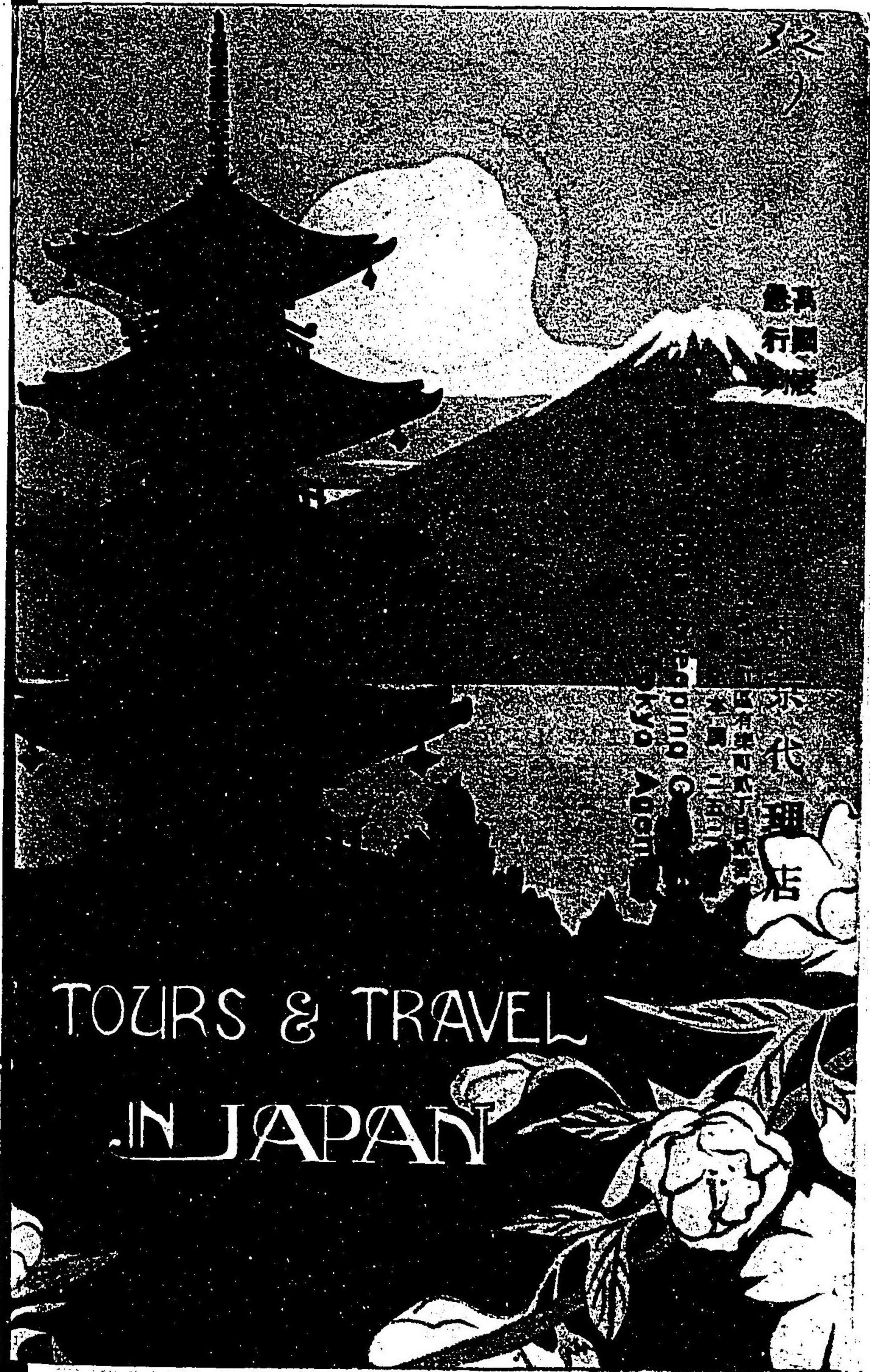
Tortoise-shell and Ivory Wares.

No. 83 Higashi Hamano-machi,
YAGASAKI.
 TELEPHONE No. 438.



長崎市中東濱
二枝鬘甲美漱店

番)(五四話電長



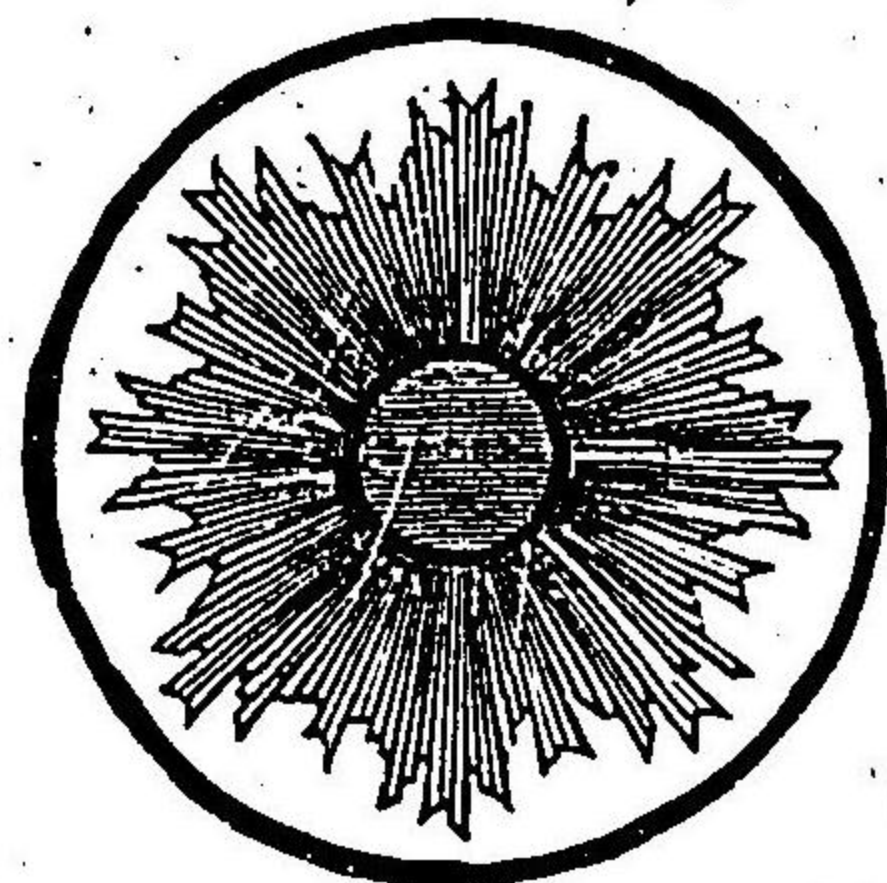
32

總行
東京

東京
KYO
Austria

代理
店

TOURS & TRAVEL
IN JAPAN



The Yokohama Specie Bank, Limited.

Paid-up Capital Yen 24,000,000
Reserve Fund ,, 16,850,000

PRESIDENT. Viscount Y. MISHIMA.
VICE-PRESIDENT. J. INOUE Esq.

DIRECTORS.
Viscount Y. Mishima. J. Inoue Esq. N. Soma Esq.
K. Sonoda Esq. R. Kimura Esq. R. Hara Esq.
Y. Yamakawa Esq. M. Odagiri Esq. T. Kawashima Esq.
H. Bekkey Esq. Baron K. Iwasaki.

GENERAL MANAGER. YUKI YAMAKAWA Esq.

HEAD OFFICE YOKOHAMA.
MANAGER. T. KAWASHIMA Esq.

BRANCHES AND AGENCIES.
Tokyo. Osaka. Kobe. Nagasaki.
London. Lyons. New York. San Francisco.
Honolulu. Bombay. Hongkong. Shanghai.
Hankow. Peking. Tientsin. Newchwang.
Dairen (Dalny). Ryojun (Port Arthur). Liaoyang. Fengtien (Mukden).
Tiehling. Changchun. Antung-Hsien.

Correspondents at all the chief commercial cities in the world.

London Bankers.

Parr's Bank, Ltd.
Union of London & Smith's Bank, Ltd.
London Joint Stock Bank, Ltd.

Interest allowed on Current Accounts and Fixed Deposits on terms to be ascertained on application.

Every description of Banking business transacted.

For particulars, apply to the managers.

Certified cheques on this Bank will be taken by the Custom House at Yokohama as cash in payment of duty.

S. Nishimura.
Kyoto & Tokyo.
Silks, Embroideries.
Cut Velvets and Kimonos.

九馬條三 店本都京
西村總左衛門
十町下山区福京 店京東
天竺無雙
刺繡
綢緞
雜物
根地

NEW ARRANGEMENTS FOR THROUGH TRAFFIC BETWEEN RUSSIA OR MANCHURIA AND JAPAN

In order to facilitate travel between Manchuria, Siberia, or European Russia and Japan, through connections are now in operation for passengers and their luggage as follows:—

Railway Stations open for the above-mentioned Passenger and Luggage Through Traffic:—

On the Imperial Government Railways	}	Shimbashi, Tokyo City Office, Hirayama, Yokohama City Office, Kyoto, Kyoto City Office, Osaka, Osaka City Office, Kobe, Shimonoseki, Moji, Nagasaki.
On the Chinese Eastern and the Ussuri Railway	}	Manchuria, Tsitsikar, and Harbin (via Dairen), Habarovsk (via Vladivostock), and Vladivostock (via Tsuruga).
On the Russian Railways	}	Irkutsk, Moscow, St. Petersburg (via Moscow), St. Petersburg (via Viatka), Warsaw, Odessa, Alexandrovo, Verdzbolovo (via Moscow), Verdzbolovo (via Viatka), Riga, Granitza, and Kiev.

Connecting Steamers:—

Via Dairen	}	Between Moji and Dairen by the Osaka Shosen Kaisha's Steamers.
Via Vladivostock	}	Between Tsuruga and Vladivostock by the Osaka Shosen Kaisha's or the Russian Volunteer Fleet's Steamers.

Availability of Tickets:—

- All Through Tickets with the Chinese Eastern and the Ussuri Railway—35 days.
- All Through Tickets with the Russian Railways—60 days.

July, 1911.

Imperial Government Railways

TOURISTS' SPECIAL COUPON-BOOK

Special Coupon-Books are issued as per the following list for first class passengers at a reduced rate:—

	Adults	Children
Shimbashi to Kobe or Sannomiya via Yumoto, Yamada, Nara, and Kyoto, or Vice Versa	18.00	9.25
Yokohama or Hiranuma to Kobe or Sannomiya via Yumoto, Yamada, Nara, and Kyoto, or Vice Versa	17.50	9.00
Shimbashi to Tsuruga via Yumoto, Yamada, Nara, and Kyoto, or Vice Versa	18.50	9.50
Shimbashi to Tsuruga via Yumoto, Yamada, Nara, Osaka, Kobe, and Kyoto, or Vice Versa	23.00	11.75
Yokohama or Hiranuma to Tsuruga via Yumoto, Yamada, Nara, and Kyoto, or Vice Versa	18.00	9.25
Yokohama or Hiranuma to Tsuruga via Yumoto, Yamada, Nara, Osaka, Kobe, and Kyoto, or Vice Versa	22.50	11.50
Shimbashi to Shimonoseki via Yumoto, Yamada, Nara, Kyoto, and Itsukushima, or Vice Versa	25.50	13.00
Yokohama or Hiranuma to Shimonoseki via Yumoto, Yamada, Nara, Kyoto, and Itsukushima, or Vice Versa	25.00	12.75
Shimbashi to Nagasaki via Yumoto, Yamada, Nara, Kyoto, and Itsukushima, or Vice Versa	28.50	14.50
Yokohama or Hiranuma to Nagasaki via Yumoto, Yamada, Nara, Kyoto, and Itsukushima, or Vice Versa	28.00	14.25
Uyeno to Nikko and Matsushima, and return	16.00	8.25
Yokohama or Hiranuma to Nikko and Matsushima, and return	17.00	8.75
Uyeno to Karuizawa and Nikko, and return	11.00	5.75
Yokohama or Hiranuma to Karuizawa and Nikko, and return	12.00	6.25

The Special Coupon-Books are available for 60 days including day of issue.

The holder of the Special Coupon-Book is entitled to travel by any express train without any additional charge.

The Special Coupon-Book, containing several coupons with fine pictures of beautiful scenes witnessed on each tour, is really of a novel design and an exquisite work of art. When the tour has been completed, should the holder desire to have the book of picture counterfoils as well as the cover, as a memento of his journey, he will be given it upon request to the station staff.

July, 1911.

Imperial Government Railways

NEW ARRANGEMENTS FOR THROUGH TRAFFIC BETWEEN RUSSIA OR MANCHURIA AND JAPAN

In order to facilitate travel between Manchuria, Siberia, or European Russia and Japan, through connections are now in operation for passengers and their luggage as follows:—

Railway Stations open for the above-mentioned Passenger and Luggage Through Traffic:—

On the Imperial Government Railways	}	Shimbashi, Tokyo City Office, Hirayama, Yokohama City Office, Kyoto, Kyoto City Office, Osaka, Osaka City Office, Kobe, Shimonoseki, Moji, Nagasaki.
On the Chinese Eastern and the Ussuri Railway	}	Manchuria, Tsitsikar, and Harbin (via Dairen), Habarovsk (via Vladivostock), and Vladivostock (via Tsuruga).
On the Russian Railways	}	Irkutsk, Moscow, St. Petersburg (via Moscow), St. Petersburg (via Viatka), Warsaw, Odessa, Alexandrovo, Verdzbolovo (via Moscow), Verdzbolovo (via Viatka), Riga, Granitza, and Kiev.

Connecting Steamers:—

Via Dairen	}	Between Moji and Dairen by the Osaka Shosen Kaisha's Steamers.
Via Vladivostock	}	Between Tsuruga and Vladivostock by the Osaka Shosen Kaisha's or the Russian Volunteer Fleet's Steamers.

Availability of Tickets:—

All Through Tickets with the Chinese Eastern and the Ussuri Railway—35 days.
All Through Tickets with the Russian Railways—60 days.

July, 1911.

Imperial Government Railways

TOURISTS' SPECIAL COUPON-BOOK

Special Coupon-Books are issued as per the following list for first class passengers at a reduced rate:—

	Adults	Children
Shimbashi to Kobe or Sannomiya via Yumoto, Yamada, Nara, and Kyoto, or Vice Versa	Yen 18.00	Yen 9.25
Yokohama or Hiranuma to Kobe or Sannomiya via Yumoto, Yamada, Nara, and Kyoto, or Vice Versa	17.50	9.00
Shimbashi to Tsuruga via Yumoto, Yamada, Nara, and Kyoto, or Vice Versa	18.50	9.50
Shimbashi to Tsuruga via Yumoto, Yamada, Nara, Osaka, Kobe, and Kyoto, or Vice Versa	23.00	11.75
Yokohama or Hiranuma to Tsuruga via Yumoto, Yamada, Nara, and Kyoto, or Vice Versa	18.00	9.25
Yokohama or Hiranuma to Tsuruga via Yumoto, Yamada, Nara, Osaka, Kobe, and Kyoto, or Vice Versa	22.50	11.50
Shimbashi to Shimonoseki via Yumoto, Yamada, Nara, Kyoto, and Itsukushima, or Vice Versa	25.50	13.00
Yokohama or Hiranuma to Shimonoseki via Yumoto, Yamada, Nara, Kyoto, and Itsukushima, or Vice Versa	25.00	12.75
Shimbashi to Nagasaki via Yumoto, Yamada, Nara, Kyoto, and Itsukushima, or Vice Versa	28.50	14.50
Yokohama or Hiranuma to Nagasaki via Yumoto, Yamada, Nara, Kyoto, and Itsukushima, or Vice Versa	28.00	14.25
Uyeno to Nikko and Matsushima, and return	16.00	8.25
Yokohama or Hiranuma to Nikko and Matsushima, and return	17.00	8.75
Uyeno to Karuizawa and Nikko, and return	11.00	5.75
Yokohama or Hiranuma to Karuizawa and Nikko, and return	12.00	6.25

The Special Coupon-Books are available for 60 days including day of issue.

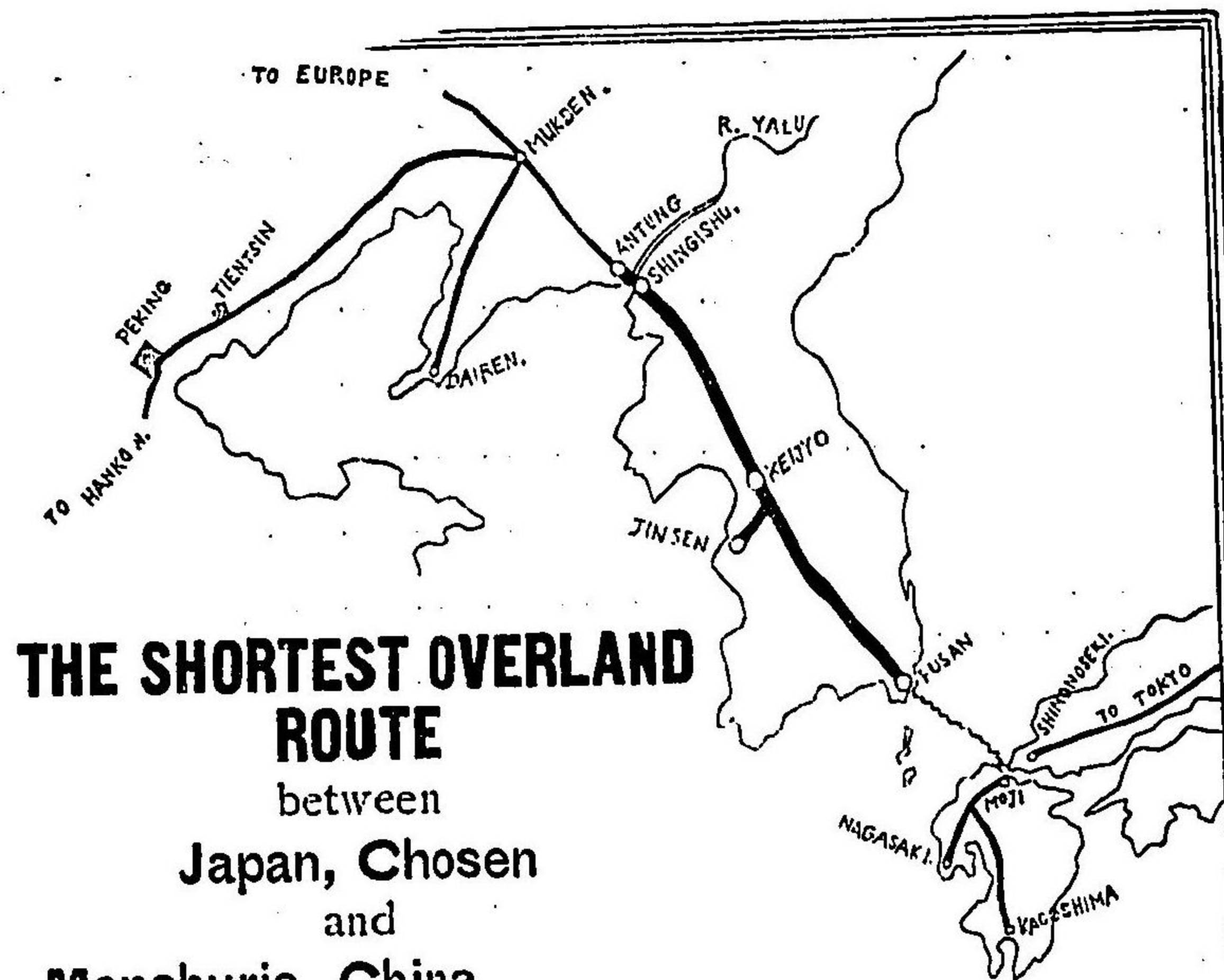
The holder of the Special Coupon-Book is entitled to travel by any express train without any additional charge.

The Special Coupon-Book, containing several coupons with fine pictures of beautiful scenes witnessed on each tour, is really of a novel design and an exquisite work of art. When the tour has been completed, should the holder desire to have the book of picture counterfoils as well as the cover, as a memento of his journey, he will be given it upon request to the station staff.

July, 1911.

Imperial Government Railways

THE CHOSEN (KOREAN) RAILWAY.



THE SHORTEST OVERLAND ROUTE

between
Japan, Chosen
and
Manchuria, China.
Siberia, Europe.

STANDARD GAUGE:—4'8½"

Fusan—Keijyo (Seoul), 275 miles, 9½ hours.

Keijyo—Shingishu, 312 miles, about 10 hours.

Fusan—Shimonoseki, 120 nautical miles, 11 hours.

TICKET AGENCIES:—Messrs. Thomas Cook and Son and the International Sleeping Car and Express Trains Company.

FULL INFORMATION as to rates, tickets, etc., etc. can be secured by addressing to

**THE RAILWAY BUREAU OF THE
GOVERNMENT-GENERAL OF CHOSEN,**

Ryuzan, Chosen.

Director:—DR. G. OYA.

SOUTH MANCHURIA RAILWAY

Shortest, Quickest & Cheapest Route

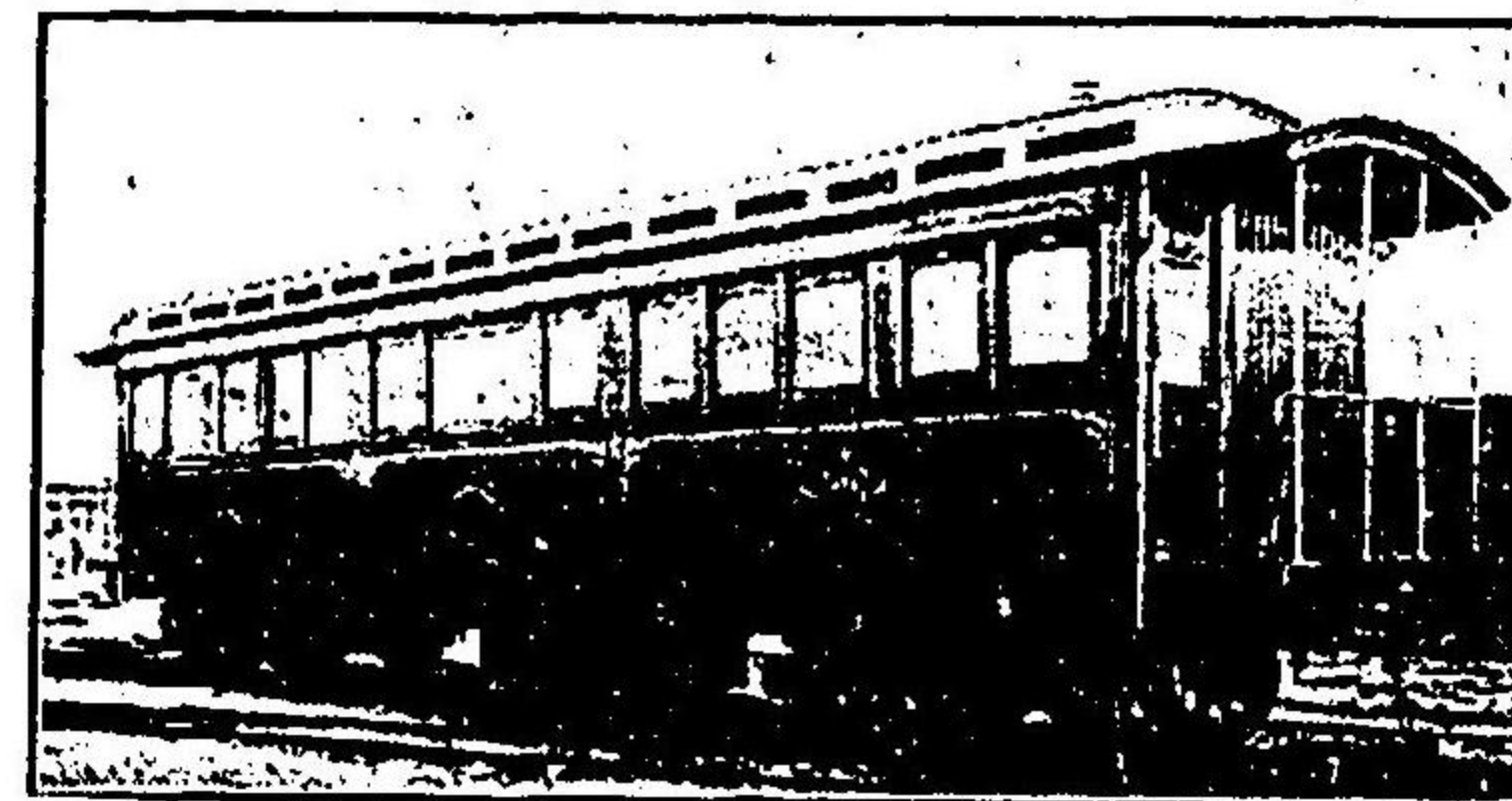
BETWEEN

The Far East & Europe *via* Dairen.

THRICE-WEEKLY EXPRESS TRAINS,

Composed of excellently equipped SLEEPING, DINING and 1st CLASS CARS, are operated between DAIREN and CHANGCHUN in connection with the TRANS-SIBERIAN TRAINS and SHANGHAI MAIL STEAMERS.

CONNECTION AT MUKDEN.



These Express Trains connect at MUKDEN with the PEKING - MUKDEN RAILWAY running *via* TIENTSIN, and also with the MUKDEN-ANTUNG LINE reconstructed mainly into standard gauge, traversing a most picturesque country and

connecting with the KOREAN RAILWAY.

OTHER STEAMER CONNECTIONS AT DAIREN.

Regular Steamship Services are maintained between DAIREN and MOJI, KOBE, CHEMULPO, TIENTSIN, CHEFOO, TSINGTAO and other ports in Japan and China.

RAILWAY HOTELS.

YAMATO HOTEL at DAIREN, PORT AUTHER, MUKDEN, FUSHUN and CHANGCHUN, all managed by the Company, and furnished in European style, provide comfortable accommodation.

TICKET AGENTS in EUROPE and the FAR EAST.

THE INTERNATIONAL SLEEPING CAR and EXPRESS TRAINS CO., the NIPPON YUSEN KAISHA, SHANGHAI; MESSRS. THOS. COOK and SON; and the REISEBUREAU der HAMBURG AMERIKA LINIE.

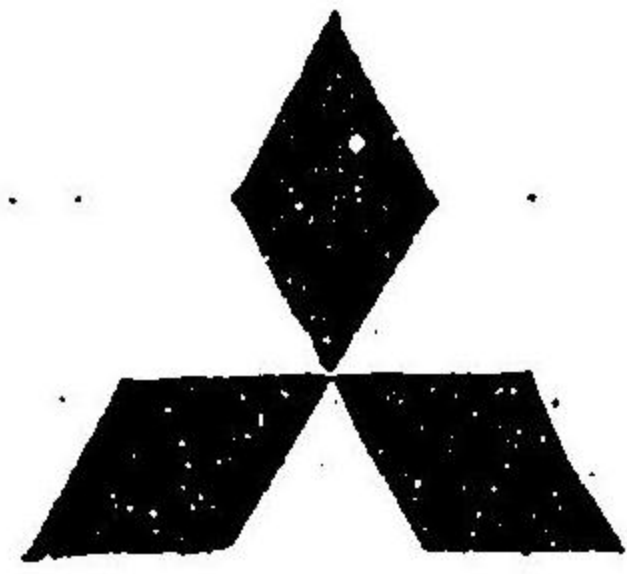
From Dairen (Time occupied)

To Tokyo or Yokohama	3½ days
„ Moji or Shimonoseki	2 „
„ Changchun	14½ hours
„ Harbin	27 „
„ St. Petersburg	10 days
(<i>via</i> Viatka)	
„ Berlin	11 „
„ Paris	12 „
„ London	12½ „

**South
Manchuria
Railway
Company,**

Dairen, Manchuria.

Tel. Add: "Mantetsu". Codes: A. B. C. 5th Ed., A. I. & Lieber's.



MITSU BISHI GOSHI KWAISHA.
(MITSU BISHI CO.)

Capital, paid up Yen 15,000,000

HEAD OFFICE.

No. 1, YAESU-CHO ITCHOME, KOJIMACHI-KU, TOKYO.
Telegraphic Address: IWASAKI.

President Baron HISAYA IWASAKI.
Vice-President Baron KOYATA IWASAKI.

BANKING DEPARTMENT.

Branches:—Tokyo, Osaka, Kobe, Hiogo.

SHIPBUILDING AND ENGINEERING DEPARTMENT.

Dockyards and Engine Works:—Nagasaki and Kobe.

BUSINESS DEPARTMENT.

Branches and Agencies:

Tokyo, Yokohama, Nagoya, Handa, Osaka, Kobe, Moji,
Wakamatsu, Karatsu, Nagasaki, Shanghai, Hankow,
Chinkiang, Hongkong, Singapore, Manila,
London, Glasgow.

MINING DEPARTMENT:

Mines:

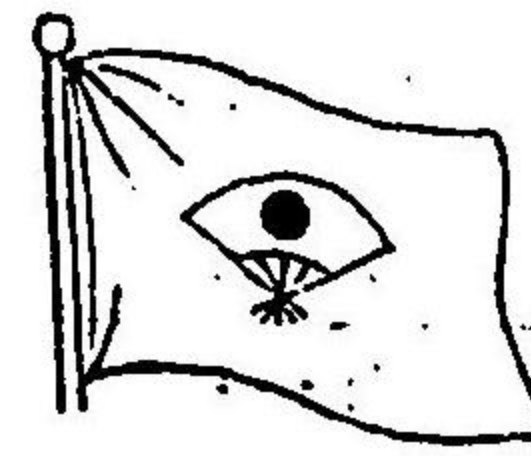
Sado, Ikuno, Osarusawa, Arakawa, Yoshioka, Omodani,
Makimine, Takara, Togi.

Collieries:

Takashima, Ochi, Yoshinotani, Namazuta, Kami-yamada,
Shinnew, Hojo, Kanada.

ESTATE DEPARTMENT.

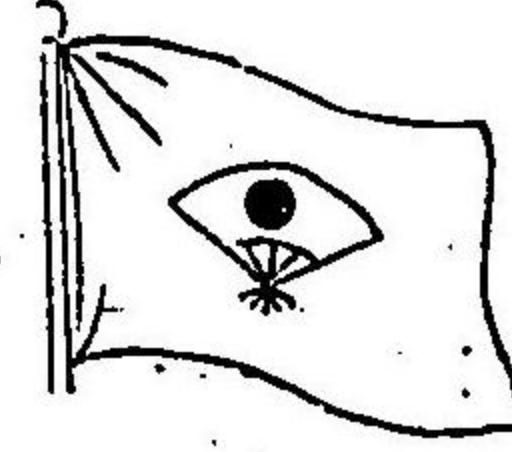
Offices:—Tokyo, Niigata.



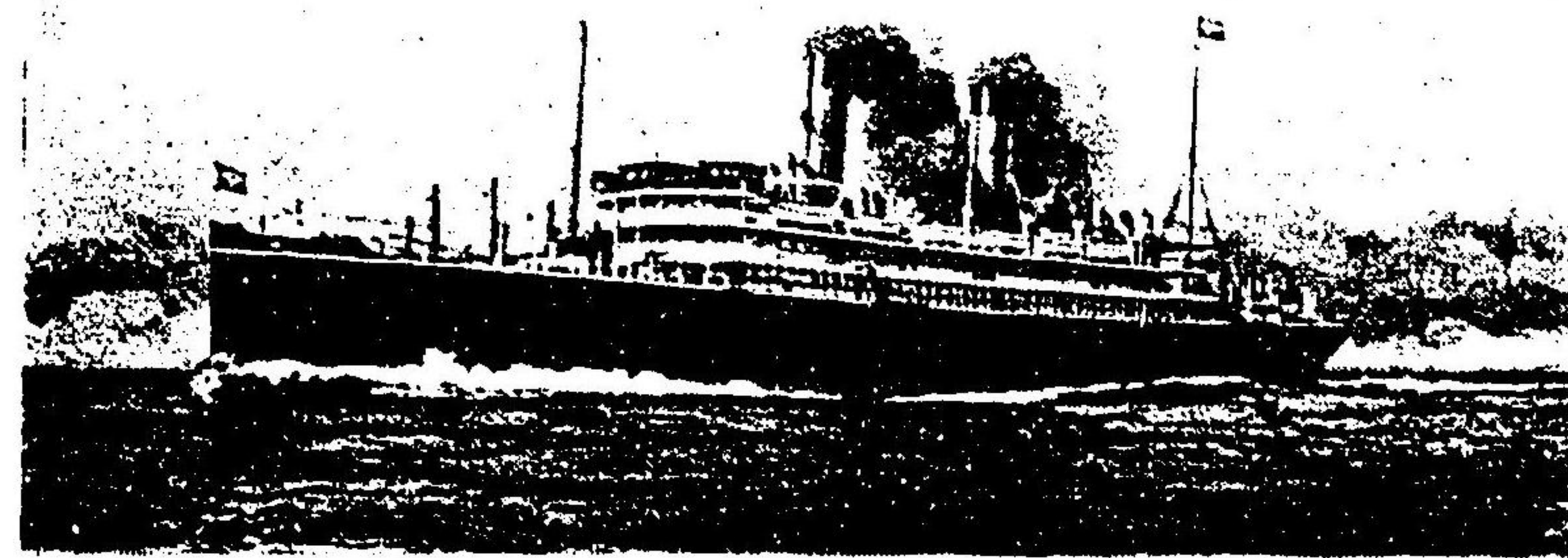
"How to Cross the Pacific!"

TOYO KISEN KAISHA.

(Oriental Steamship Company.)



The largest and fastest Modern Steam turbiners running between **Hongkong** and **San Francisco**, via **Shanghai, Nagasaki**, then **Inland Sea, Kobe, Yokohama** and **Honolulu**: and vice versa, connecting with every important city of the **United States** and **Europe**. **Round the world ticket issued.**



S.S. Tenyo Maru, S.S. Chiyo Maru, S.S. Shunyo Maru.

(21,000 TONS TRIPLE SCREW TURBINE.)

For Passage apply to the company's agent at various points of call as well as of other important cities of world.

HEAD OFFICE:

YURAKUCHO, ITCHOME, TOKYO.

Nippon Yusen Kaisha.

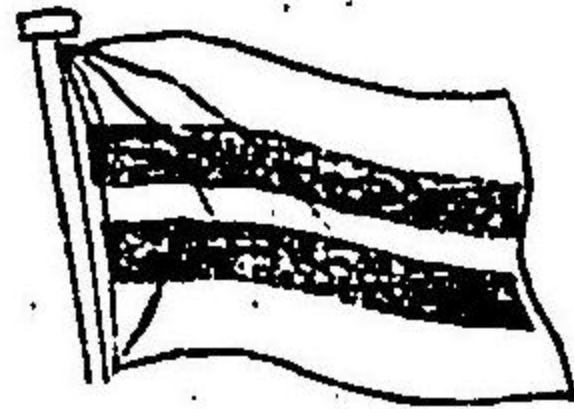
JAPAN MAIL STEAMSHIP COMPANY

UNDER MAIL CONTRACT WITH THE IMPERIAL JAPANESE GOVERNMENT.

Fleet
811 vessels.

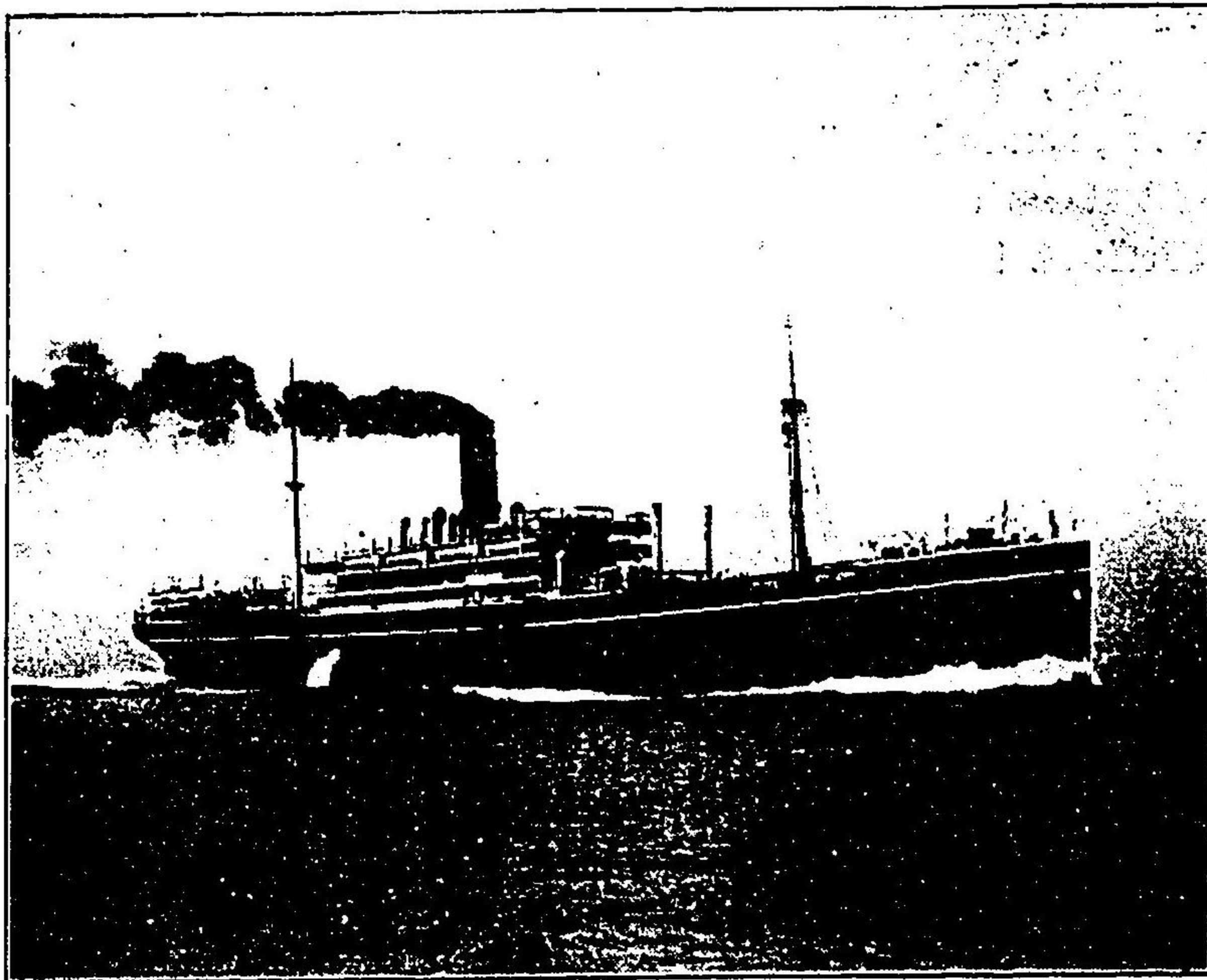
Tonnage
300,000 tons Gross.

Telephone : . . .
Honkyoku
No. 167, 1551, 1721,
399, 1807 & 1905.



Telegraphic add : . . .
"Morloka,
Tokyo."

HEAD OFFICE: TOKYO, JAPAN.



Regular Sailings of Mail Steamship Services

JAPAN--EUROPE, AMERICA, AUSTRALIA, INDIA,
STRAITS, PHILIPPINES, CHINA, CHOSEN, ETC.

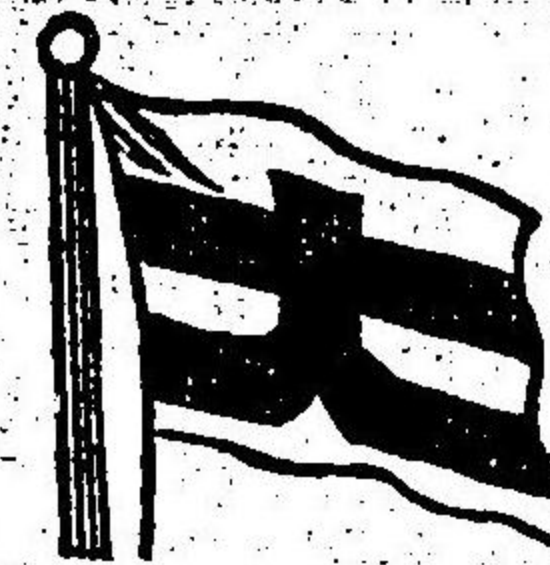
Round the World and Various other Tours
at Reduced Rates.

**Also, Specially Cheap Rates
for Trans-Pacific Service.**

Branches and Agencies at Principal Ports Throughout
the World.

東京 日本郵船株式會社

OSAKA SHOSEN KAISHA.



REGULAR WEEKLY SERVICE BETWEEN TSURUGA AND VLADIVOSTOCK.
S. S. "HOZAN MARU"
SCHEDULE OF SUMMER SERVICE

TSURUGA.	VLADIVOSTOCK.		TSURUGA.
DEPARTURE.	ARRIVAL.	DEPARTURE.	ARRIVAL.
FRIDAY. 5.00 p.m.	SUNDAY. 9.00 a.m.	TUESDAY. noon.	THURSDAY. 5.00 a.m.

Connecting with the Express train leaving VLADIVOSTOCK on Sunday, 1.20 p.m. for Europe *via* MOSCOW and also with the same from Europe *via* ST. PETERSBURG arriving at VLADIVOSTOCK on Tuesday 6. a.m.

OVERLAND THROUGH TICKETS,

in connection with CHINESE EASTERN and RUSSIAN STATE RAILWAYS, are sold at Co's. TSURUGA AGENT and principal stations of the IMPERIAL JAPANESE GOVERNMENT RAILWAYS to

HABAROVSK, HARBIN, TSITSIKAR, MANCHURIA, IRKUTSK,
MOSCOW, ST. PETERSBURG, WARSAW and ODESSA.

and also are sold at Co's. VLADIVOSTOCK AGENT to the principal stations of the IMPERIAL JAPANESE GOVERNMENT RAILWAYS.

PASSAGES are booked at

VLADIVOSTOCK, Y. Hayashi.
YOKOHAMA, Yamagataya & Co.
KIOTO, Torii & Co.
TSURUGA, Owada & Co.

TOKIO, Yawataya & Co.
OSAKA, KOBE, NAGASAKI,
Osaka Shosen Kaisha.

REGULAR SERVICES:

Manila Hongkong Tacoma Line.
Osaka Kobe Moji Tientsin Line.
Yokohama Takao Line.
Osaka Kobe Antoken Line.
Nagasaki Chemulpo Dairen Line.
Otaru Saghalien Ports Line.
Canton Hongkong Swatow Amoy
Anping Takao Line.
Hongkong Swatow Foochow Line.

Shanghai Foochow Keelung Takao
Line.
Osaka Kobe Moji Dairen Line.
Kobe Moji Keelung Line.
Osaka Kobe Chemulpo Line.
Osaka Kobe Seishin Line.
Otaru Vladivostock Line.
Hakodate Saghalien Ports Line.
Hongkong Swatow Amoy Tamsui
Line.

BESIDES, DAILY SERVICES are operated in over 20 REGULAR MAIL and PASSENGER SERVICES, reaching all important coast ports in the CENTRAL and WESTERN JAPAN, including the WORD-FAMED "INLAND SEA of JAPAN."

HEAD OFFICE:—OSAKA, JAPAN.

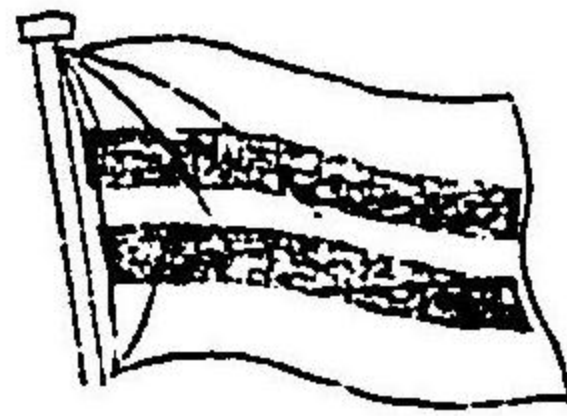
Nippon Yusen Kaisha.

JAPAN MAIL STEAMSHIP COMPANY

UNDER MAIL CONTRACT WITH THE IMPERIAL JAPANESE GOVERNMENT.

Fleet
All vessels,

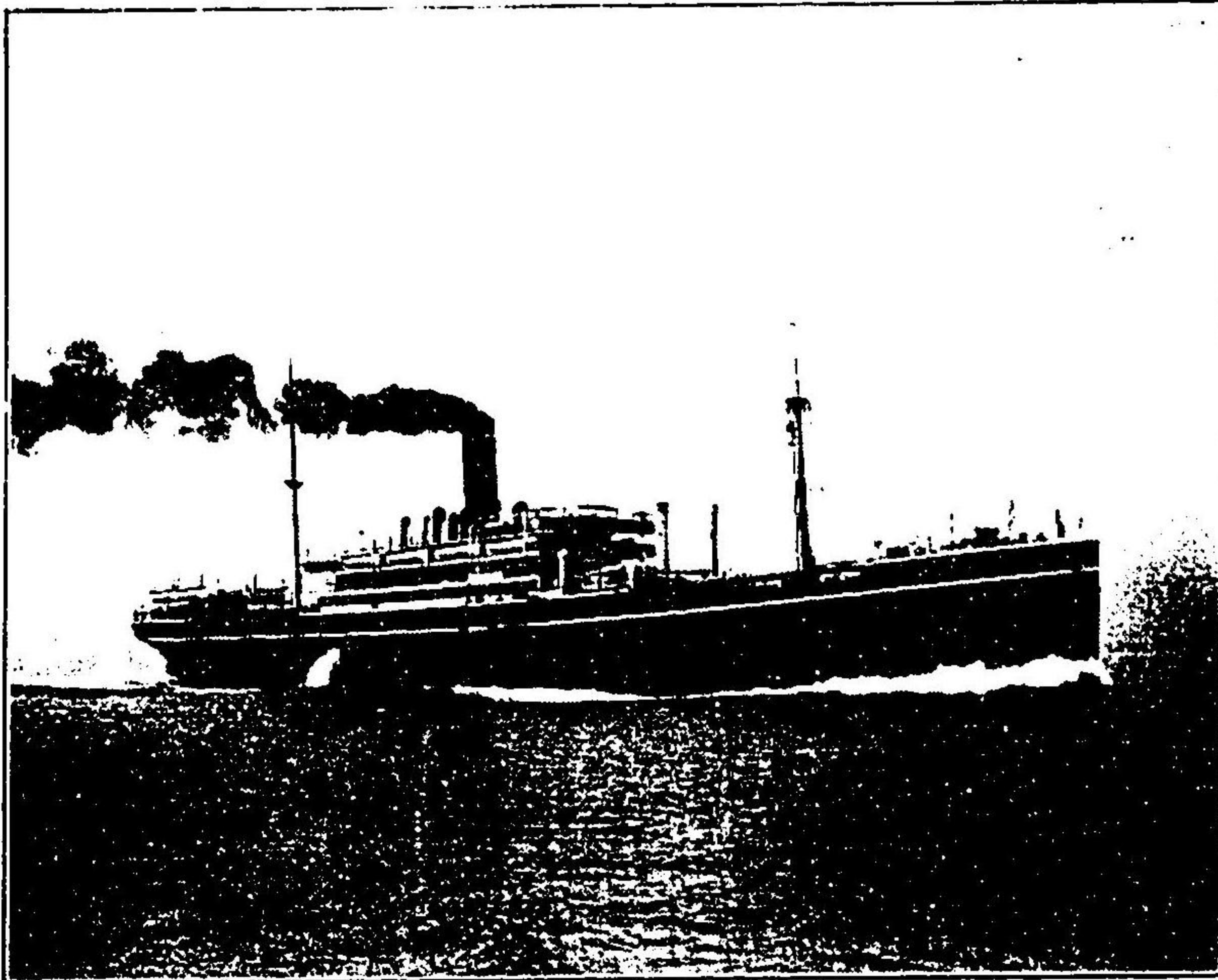
Telephone: . . .
Honkyoku
No. 167, 1551, 1721,
399, 1807 & 1905.



Tonnage
300,000 tons Gross.

Telegraphic add: . . .
"Morioka,
Tokyo."

HEAD OFFICE: TOKYO, JAPAN.



Regular Sailings of Mail Steamship Services

JAPAN--EUROPE, AMERICA, AUSTRALIA, INDIA,
STRAITS, PHILIPPINES, CHINA, CHOSSEN, ETC.

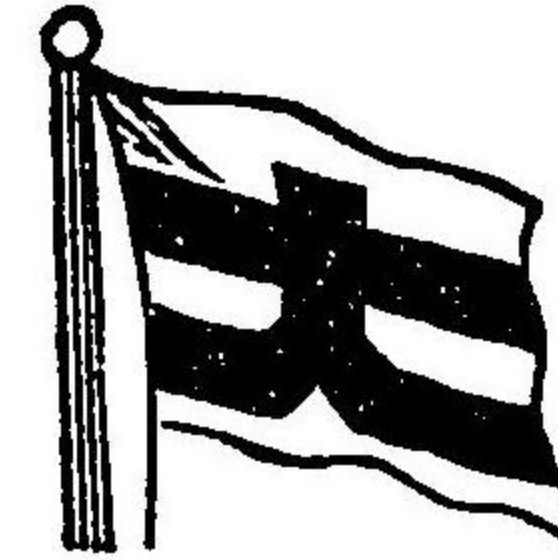
Round the World and Various other Tours
at Reduced Rates.

**Also, Specially Cheap Rates
for Trans-Pacific Service.**

Branches and Agencies at Principal Ports Throughout
the World.

東京 日本郵船株式會社

OSAKA SHOSEN KAISHA.



REGULAR WEEKLY SERVICE BETWEEN TSURUGA AND VLADIVOSTOCK.

S. S. "HOZAN MARU"

SCHEDULE OF SUMMER SERVICE

TSURUGA.	VLADIVOSTOCK.		TSURUGA.
DEPARTURE.	ARRIVAL.	DEPARTURE.	ARRIVAL.
FRIDAY.	SUNDAY.	TUESDAY.	THURSDAY.
5.00 p.m.	9.00 a.m.	noon.	5.00 a.m.

Connecting with the Express train leaving VLADIVOSTOCK on Sunday, 1.20 p.m. for Europe *via* MOSCOW and also with the same from Europe *via* ST. PETERSBURG arriving at VLADIVOSTOCK on Tuesday 6. a.m.

OVERLAND THROUGH TICKETS,

in connection with CHINESE EASTERN and RUSSIAN STATE RAILWAYS, are sold at Co's. TSURUGA AGENT and principal stations of the IMPERIAL JAPANESE GOVERNMENT RAILWAYS to

HABAROVSK, HARBIN, TSITSIKAR, MANCHURIA, IRKUTSK,
MOSCOW, ST. PETERSBURG, WARSAW and ODESSA.

and also are sold at Co's. VLADIVOSTOCK AGENT to the principal stations of the IMPERIAL JAPANESE GOVERNMENT RAILWAYS.

PASSAGES are booked at

VLADIVOSTOCK, Y. Hayashi.
YOKOHAMA, Yamagataya & Co.
KIOTO, Torii & Co.
TSURUGA, Owada & Co.

TOKIO, Yawataya & Co.
OSAKA, KOBE, NAGASAKI,
Osaka Shosen Kaisha.

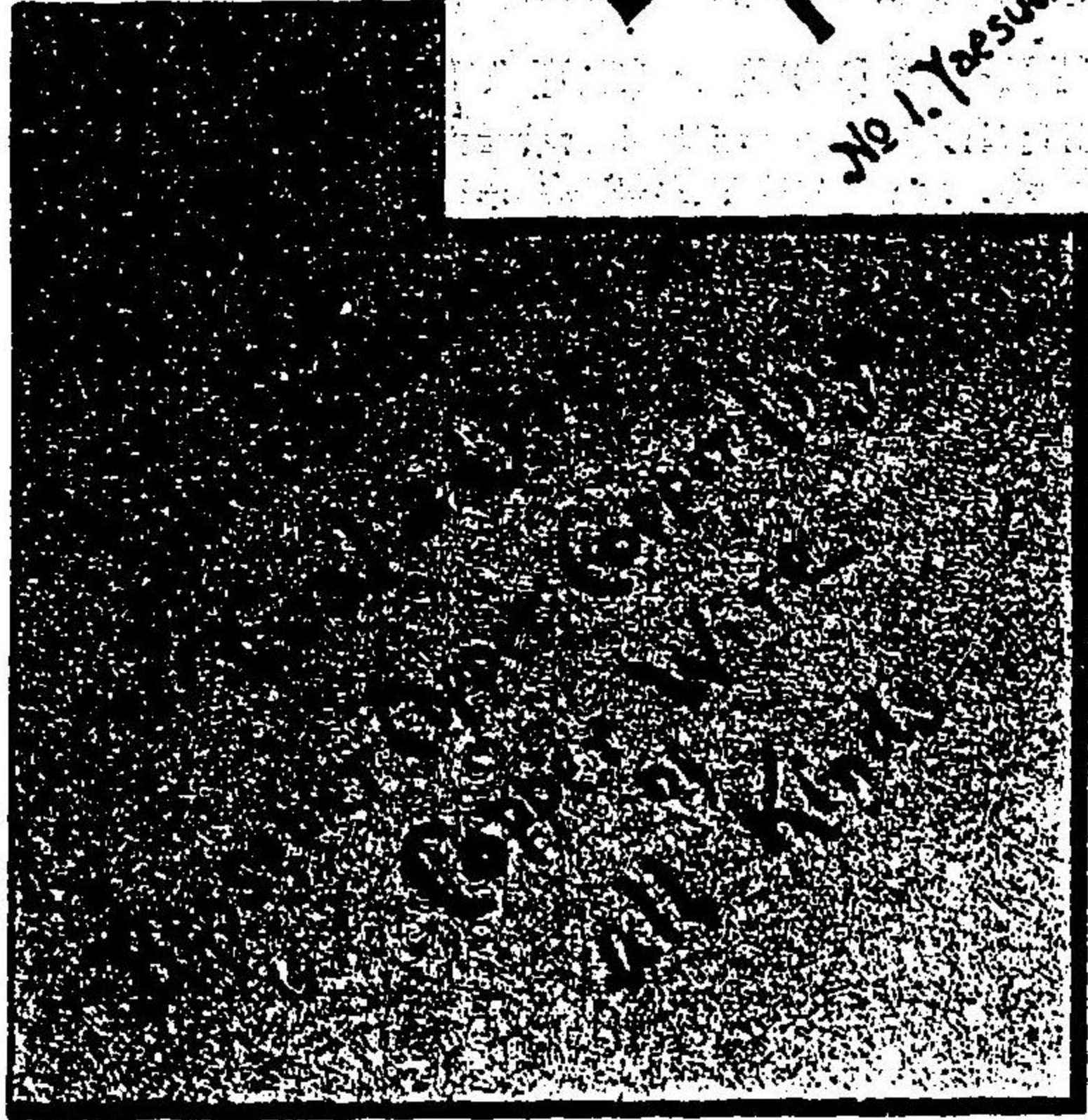
REGULAR SERVICES:

Manila Hongkong Tacoma Line.
Osaka Kobe Moji Tientsin Line.
Yokohama Takao Line.
Osaka Kobe Antoken Line.
Nagasaki Chemulpo Dairen Line.
Otaru Saghalien Ports Line.
Canton Hongkong Swatow Amoy
Anping Takao Line.
Hongkong Swatow Foochow Line.

Shanghai Foochow Keelung Takao
Line.
Osaka Kobe Moji Dairen Line.
Kobe Moji Keelung Line.
Osaka Kobe Chemulpo Line.
Osaka Kobe Seishin Line.
Otaru Vladivostock Line.
Hakodate Saghalien Ports Line.
Hongkong Swatow Amoy Tamsui
Line.

BESIDES, DAILY SERVICES are operated in over 20 REGULAR MAIL and PASSENGER SERVICES, reaching all important coast ports in the CENTRAL and WESTERN JAPAN, including the WORD-FAMED "INLAND SEA of JAPAN."

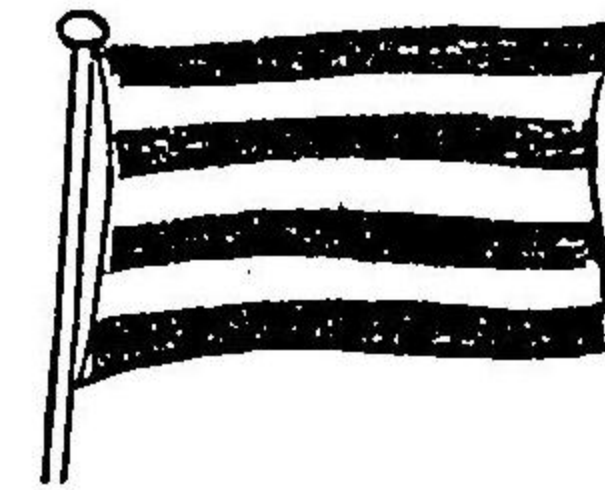
HEAD OFFICE:—OSAKA, JAPAN.



NISSHIN KISEN KAISHA.

(JAPAN CHINA STEAMSHIP CO.)

Paid Up Capital :
Y. 8,100,000.00



Tonnage :
28,000 Tons

HEAD OFFICE: TOKYO.



Under Mail Contract with the Imperial
Japanese Government.

Running Regular Services with the largest
Fleet on the Yangtszekiang.

MAIN LINES :

Shanghai-Hankow Line Four times a week.
Hankow-Ichang Line Six times a month.
Hankow-Siangtan Line Twice a week.
Hankow-Chagteh Line Weekly.

STEAM LAUNCH SERVICES :

Kiukiang-Nanchang Line Six times a month.
Shanghai-Soochow Line Every day from both ends.
Shanghai-Hangchow Line " " " " "
Soochow-Hangchow Line " " " " "
Chinkiang-Tsingkiangpoo Line Twenty times a month.
Chinkiang-Yangchow Line Three times a day.



"YEBISU"



→ BEER ←



"SAPPORO"

"CITRON" AERATED WATER.

"Grand Prize"

Japan-British Exhibition, 1910.

**DAI NIPPON BREWERY CO.,
LIMITED LTD.**

The largest brewery in the Orient.

CAPITAL - - - - - Yen 12,000,000
ANNUAL OUT-PUT - - - - - Gall 10,000,000

HEAD OFFICE.—Ginza, Tokio.

"ASAHI"



"MÜNCHENER"



NAIKOKU TSU-UN KABUSHIKI KAISHA.
TOKYO, JAPAN.
ESTABLISHED 1872



CAPITAL Yen 1,250,000
RESERVE FUND " 600,000

President and Director: JINBEI YOSHIMURA
Managing Director: SAHEI YOSHIMURA

**GENERAL FORWARDING, DRAFTS, INSUR-
ANCE, CUSTOMS GOODS HANDLING, PACK-
ING, RIVER STEAM LAUNCHES TRANS-
PORTATION, PARCELS FOR THE ENTIRE
RAILWAYS.**

BRANCHES AND AGENCIES:—
In all ports and important places in Japan.

S. Tanaka & Co.

Yumoto, Hakone, Japan.

Wholesale and Dealer in all Kinds

of

Cabinets, Frames, Embossed, Carvings,
Lacoured Wares, Toys, Etc.

領受牌賞會覽博國各

新 嶄 種 各

品許特各 ● 類器漆 ● 品刻彫 ● 箴象良改 ● 工細物挽 ● 工細木寄 ●

東
京
口
座
四
六
二
二
番

元 造 製
屋 問 產 物

店 商 中 田

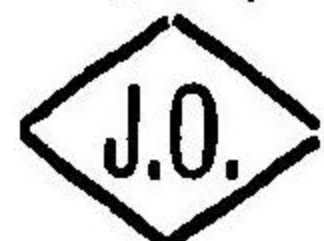
泉 温 本 湯 根 箱 國 摸 相

電
話
湯
本
二
十
三
番



OKOCHI SHOTEN.

No. 7, Masago-cho, Hongo-ku, Tokyo.
Tel. No. 528 (Shitaya)



Book Transfer Saving
Account No. 8372 (Tokyo)
Dealer in Foreign Fancy
Goods, Foreign Dracs and all
Attached.

町 砂 真 區 鄉 本 市 京 東
地 番 七

服 洋 女 男 物 間 小 物 織 洋 西
賣 小 卸 式 一 品 處 附 同 縫 裁



店 商 內 河 大

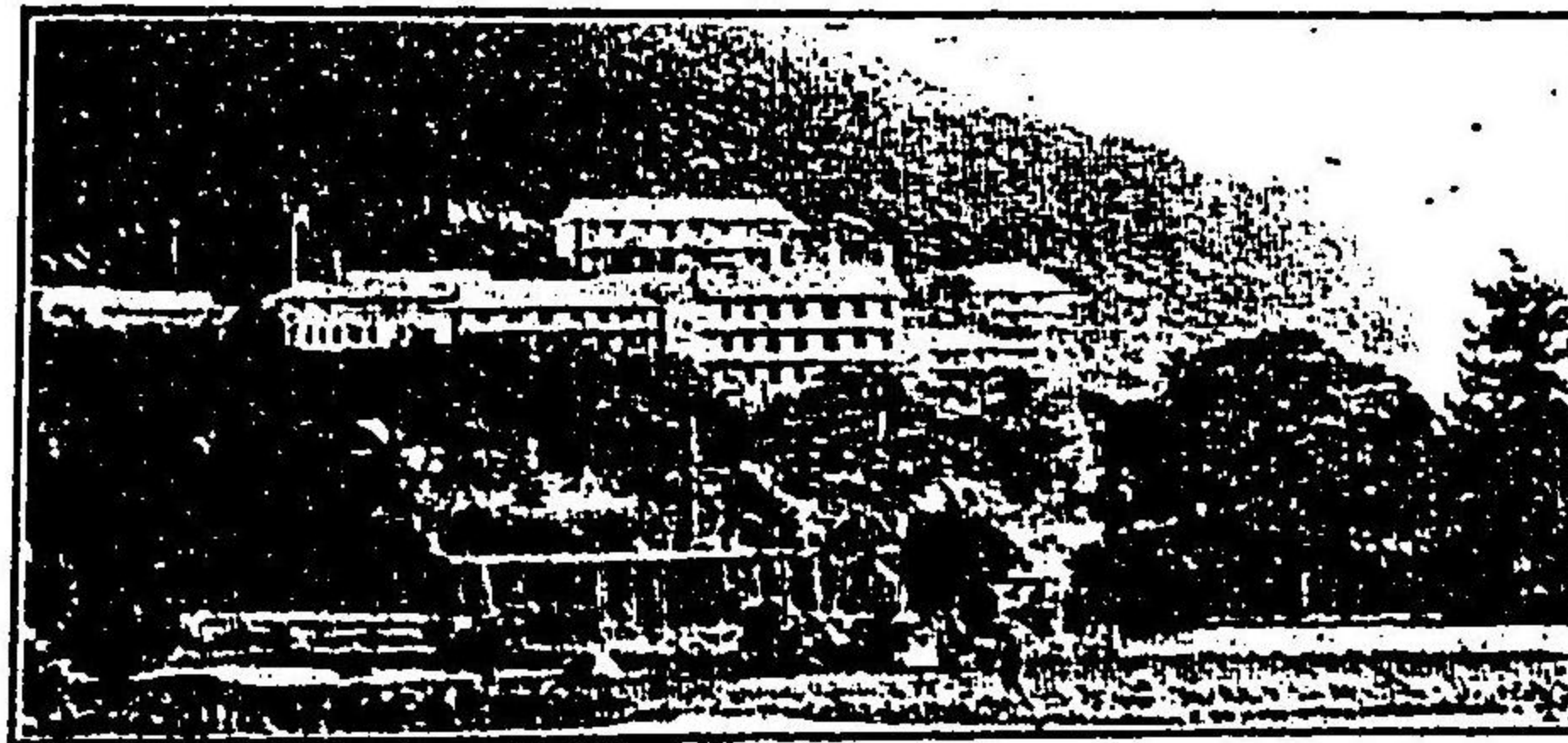
番 八 十 二 百 五 谷 下 話 電
番 二 七 三 八 京 東 座 口 替 振

THE MIYAKO HOTEL,

■ ■ ■ KYOTO, JAPAN & BRANCHES. ■ ■ ■

THE GONIKAI HOTEL, YAMADA, ISE. TEL. No. 52.

The SACRED SHRINES OF THE IMPERIAL ANCESTORS are near the Hotel.

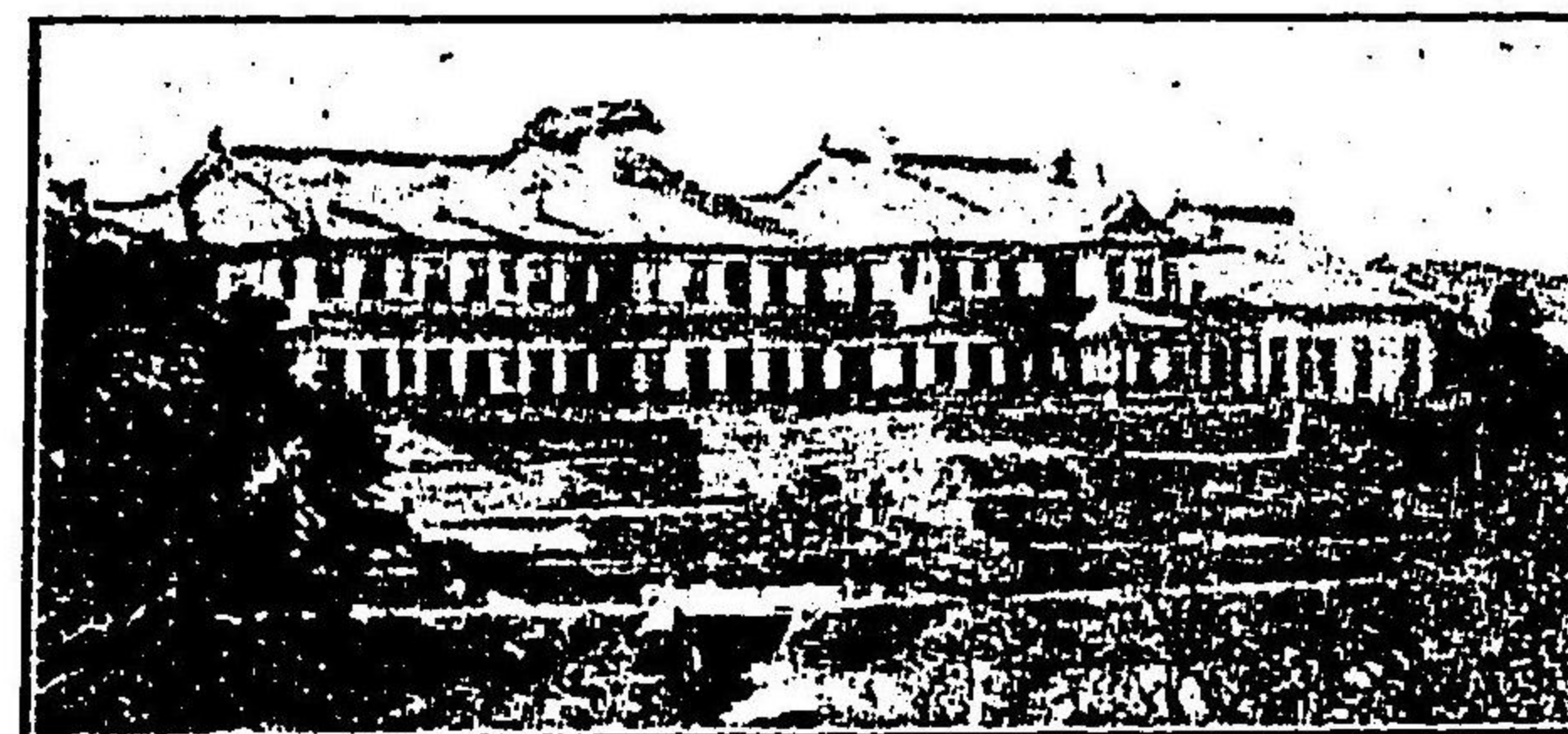


"MIYAKO HOTEL,"—KYOTO.
COOK'S COUPONS ACCEPTED.

The FUTA-
MI ROCKS.
The wo-
men shell
fish divers
at TOBA.
ASAMA MO-
UNTAIN and
the pecu-
liar dance
of the dis-
trict are
also of in-
terest.

THE ARIMA HOTEL, ARIMA. ≡

Arima
is a po-
pular
Summer
resort.
It is
well
known
for its
Mineral
Springs
and he-
althy
atmosph-
ere,



"ARIMA HOTEL,"—ARIMA.

the Mineral bath and Swimming Tank within the Hotel premises.
OPEN FROM 1ST JUNE TO 30TH SEPTEMBER.

THE MIYAKO HOTEL. CABLE ADDRESS: "MIYAKO" KYOTO.
TEL. Nos. 421—338.

== MOST POPULAR HOTEL IN THIS POPULAR CITY. ==

Twice Patronised by

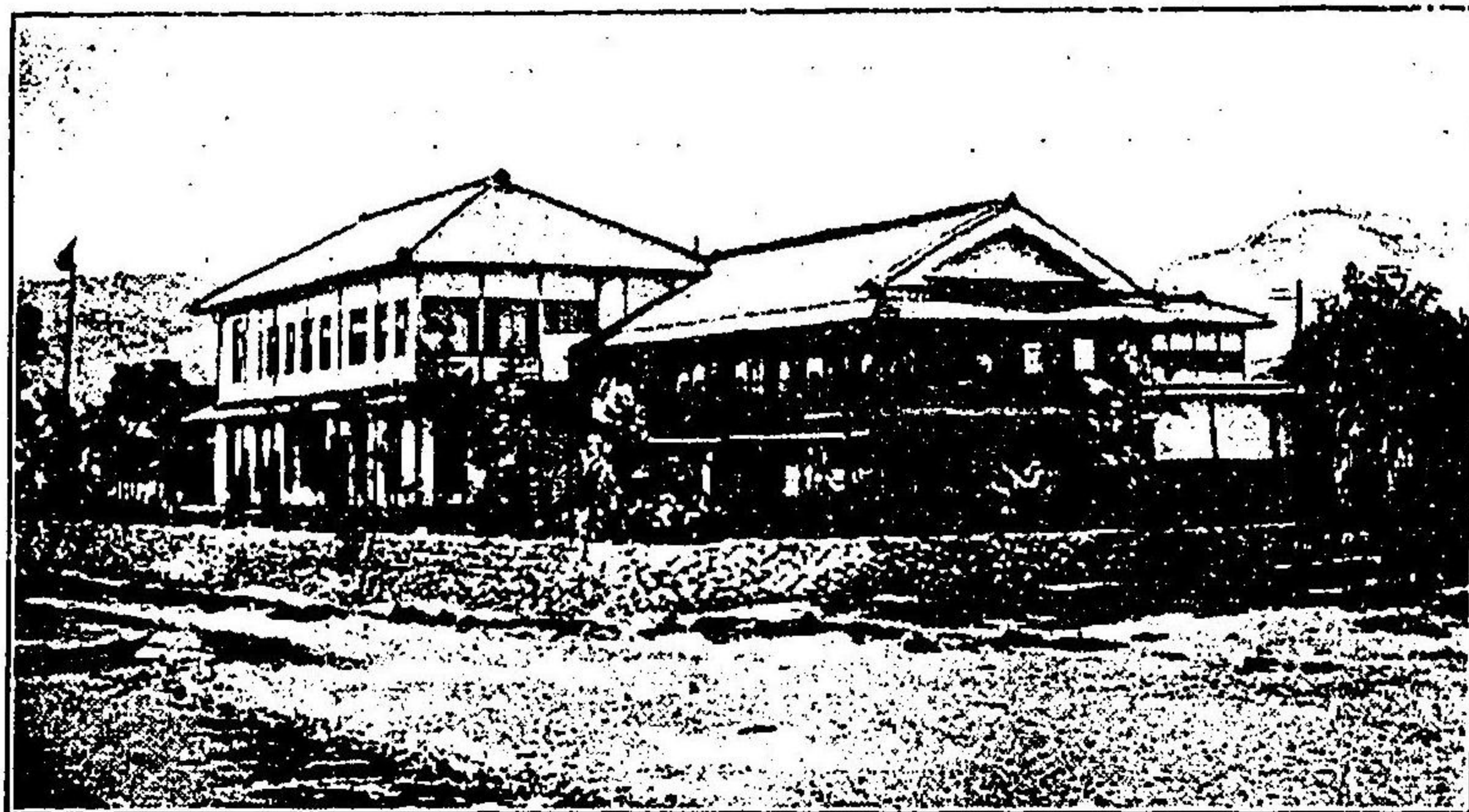
H. R. H. PRINCE ARTHUR OF CONNAUGHT.

It has 150 Rooms and more than 25 acres of Ground and is most beauti-
fully situated.

THE NARA HOTEL, NARA (Near Kyoto). TEL. 153—156.

NOW OPEN FOR THE RECEPTION OF GUESTS.

The opening of this Hotel will mean to the Foreign Tourist the opening
of the Richest district Historically and Artistically in the Japanese Empire.



THE FIRST
CLASS HOTEL
IN TSURUGA



Tsuruga Hotel
CHARGES MODERATE



Only 5
minutes by rikisha
from Railway station
and Custom House.

Occupies the most conven-
ient place and comfortable rooms
command the charming view.

The Imperial Government Railways permits our porters only, among
the Hotels in Tsuruga, to attend all the Trains to give the personal
attention to Passengers and their baggages.

Telephone :— No. 49 (L. D.)

HOTEL DU JAPON

No. 25 Oura **NAGASAKI, JAPAN** Tel. No. 664

Few minutes walk from the landing stage.

**The Best Known Hotel in Nagasaki
Under Foreign Management**

*A employé of the Hotel meet all steamers and conveys
passengers and their Baggages*

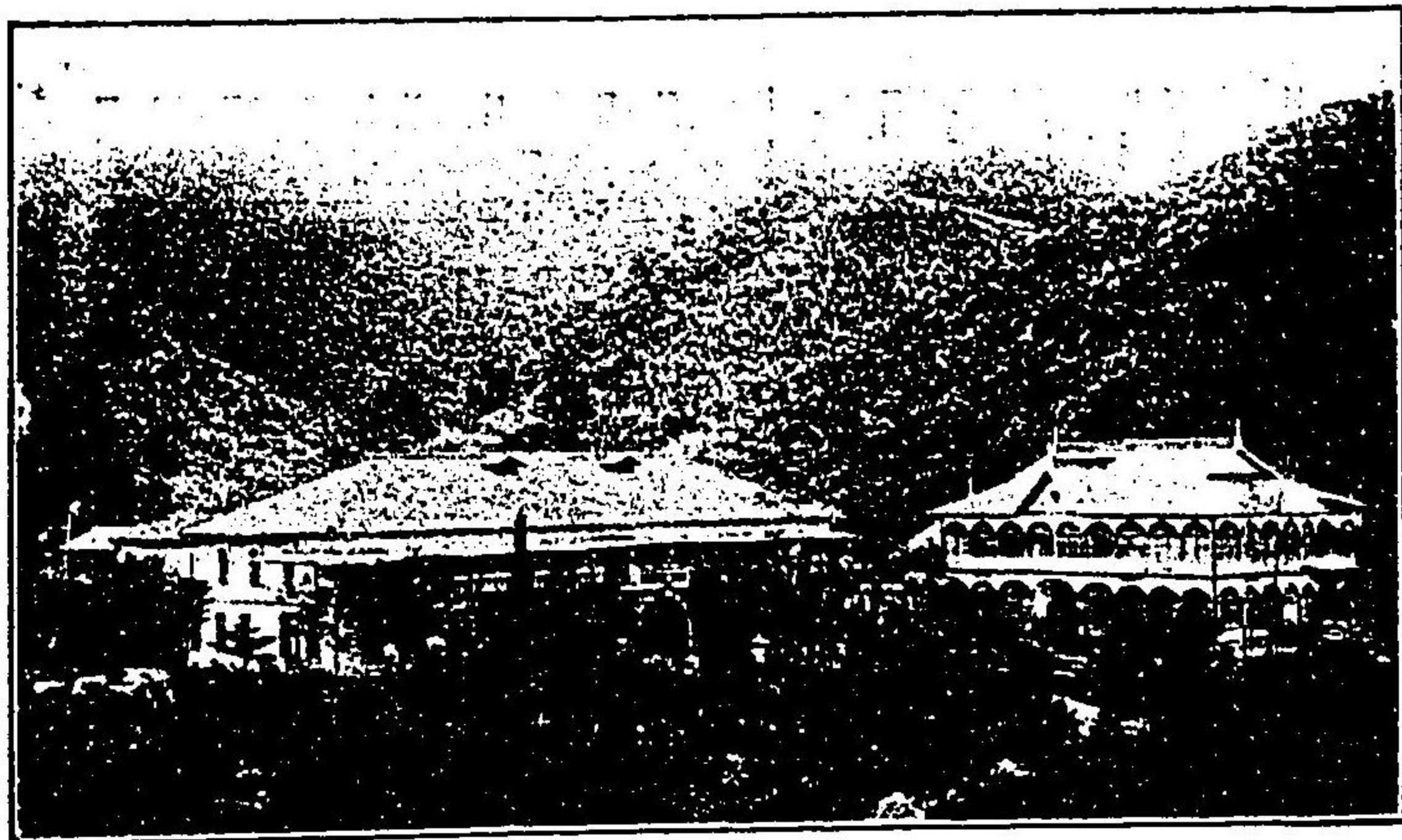
Excellent French Cuisine



*Moderate Terms, special arrangements for families and
prolonged stay.*

**Electric Light and Bells Throughout
Billiard Tables**

*Separate House (ANNEXE) of the Hotel,
located on the hill, command the best view of the
harbour and the town English, French, Russian,
and Italian Spoken.*



MAMPEI HOTEL

The Leading Hotel in Karuizawa



Situated an elevation of **3,270 feet** above the sea, on a loose volcanic soil. The **Healthiest Summer Resort** in the **Far East**. May be reached from **Tokyo** in **5** hours and in **7** hours from **Yokohama**; now each access by the New **Central Railway**. Only **12** hours from **Nagoya**.

Strictly First Class, Commands the whole view of Karuizawa and **Volcano Asama**.

■ ■ ■ ESTABLISHED IN 1893 ■ ■ ■

EXCELLENT CUISINE

EVERY MORDERN CONVENIENCE

K. SATO, Propriector & Manager

KARUIZAWA HOTEL

KARUIZAWA, JAPAN.

The Coolest and Dryest Summer Resort in the Far East. 7 hours from Yokohama, 6 hours from Tokyo. Accessible from Kobe, Osaka and Kyoto *via* Nagoya, Fukushima (Kiso) and Shiojiri, Chuo-Saisen.

Centrally situated commanding a Full View of Karuizawa with home-like surroundings. Strictly First Class. Modern Style throughout.

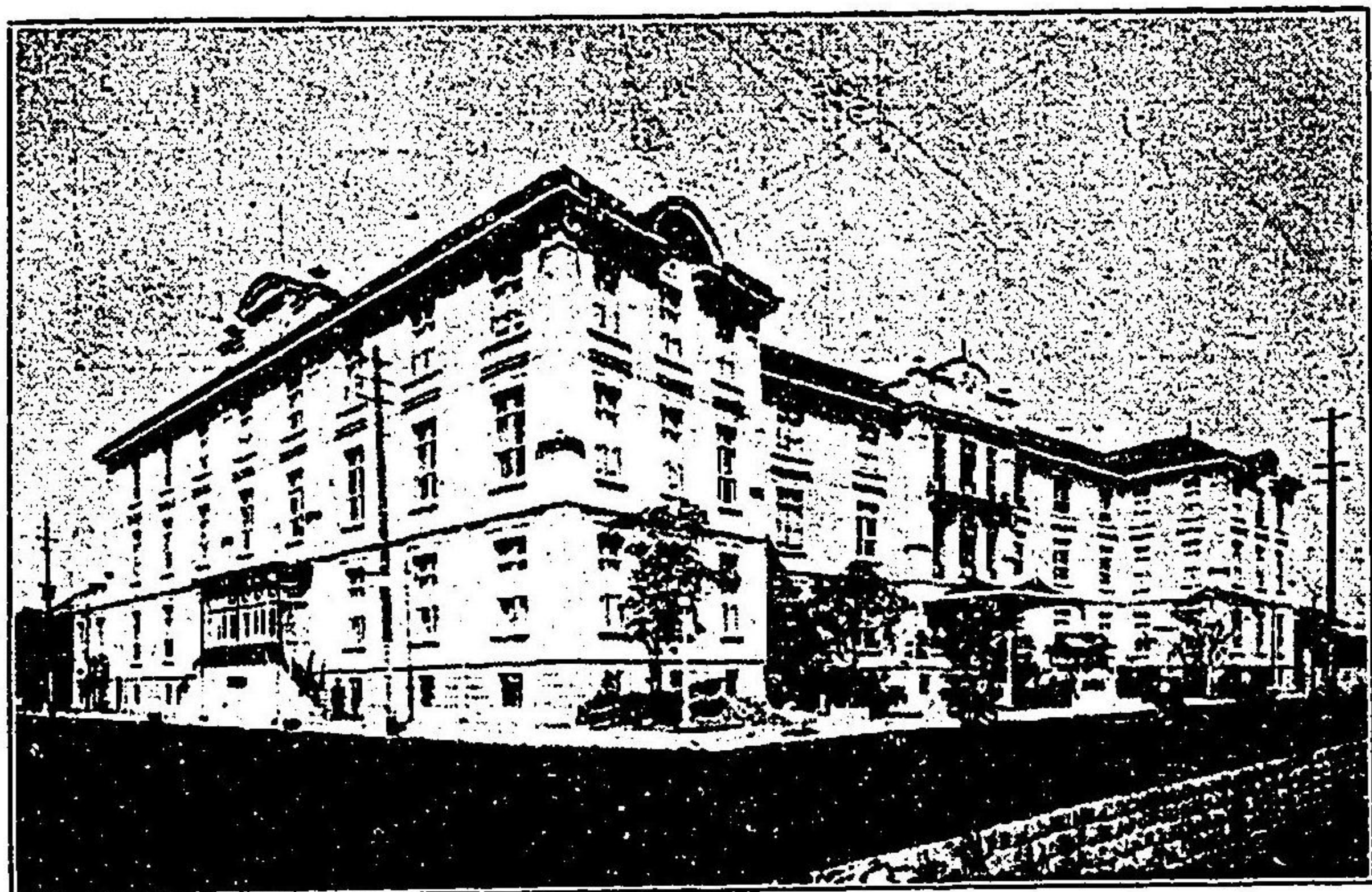
Excellent Guisine,
Best Attendance,
Charges Moderate.

SPECIAL TERMS FOR LONG STAY.
GUIDE FOR VOLCANO ASAMA AND ITS LAVA BEDS.

K. R. SATO, PROPRIETOR.

Telephone No. 20 (Long Distance).





ESTABLISHED 1869.

REBUILT 1911.

Tsukiji Seiyoken Hotel

TOKIO, JAPAN.

Cable Address
"HISEIYOKEN"

Telephone Nos.
Shimbashi 462-463. L.D.
464-648-1563.

European and American Plan.

LEADING HOTEL IN CAPITAL.

Every Mordern Convenience.

S. KITAMURA Prop.

UYENO SEIYOKEN HOTEL (Branch).

Uyeno Park, Tokio.

SEIYOKEN DINING CAR SERVICE, THROUGH MAIN
LINE OF JAPAN.

ITEMS OF PRINCIPAL BUSINESS.

1. Issuing of Railway and steamship tickets to principal places.
2. Issuing of tickets to principal points to South Manchuria Railway.
3. Issuing of through tickets of the Trans-Siberian Railway and other European places.
4. Issuing of tickets for Chinese Railways.
5. Issuing of tickets for the Nippon Yusen Kaisha.
6. Issuing of tickets for the Osaka Shosen Kaisha.
7. Issuing of tickets for the Russian Volunteer Fleet Lines.
8. Issuing of tickets for the French Mail steamship, North Lloyd Steamship and other steamship companies.
9. Organizing of tourist party principal.
10. Supplying guides to foreign tourists.
11. Currency exchange at home and abroad.
12. Advertizing agency for the "Traveller."
Other matters relating to travellers in general.

AGENT OF

The International Sleeping Car & Express Trains Co.

in Tokyo.

No. 2, Nichōme, Yuraku-chō,
Kojimachi-ku, Tokyo.

Telephone ¹⁵⁸⁰ 2525 "HONKYOKU."
Telegraphic Address "TOKYO SHINDAI."

SPECIAL ATTENTION TO TOURISTS.

The Empire of Japan possesses an ancient history of over 2,500 years which has continued unbroken up to the present. The Empire has Formosa on the South, and Karafuto (Saghalien) on the North, which is situated in 50° North Latitude. The Empire of China has also an old historical record. The attempt to investigate the customs and manners of the people the historic ruins and the scenic beauty of Japan alone nor to speak of other oriental countries can not be made in a short space of a month or half a year. It is therefore to the interest of travellers that they should observe the time and condition so as to attain their object in view in the best possible manner. A day spent in proper observation is better than ten days spent in a poor manner.

The present guide book shows the tourists how the time at their disposal could be put to the best account. In the first part of the book, various attentions are given to travelling in Japan, and a table is given showing the places to be visited and the division of the time for the completing of such visits. Another table is given tabulating the accounts of the places to be visited. Finally a description of places to be observed is given with the accounts of the routes in the three different cases of landing at Yokohama, Kobe, Tsuruga and Nagasaki.

[3]

Our earnest desire is to assist tourists to enjoy to the best advantages all the benefits derived from such observation tours. Within the limited scope of the book, it is next to impossible to exhaust the subject. Therefore, visitors are requested to spend an hour or two in calling for personal consultation.

TOKYO AGENCY

INTERNATIONAL SLEEPING CAR & EXPRESS TRAINS COMPANY

No. 2, Yurakucho-Nichome, Kojimachi-ku, Tokyo.

TELEPHONE No. 1580 "Honkoku."

Travellers starting from European countries to the Far East, and who change cars in Siberia at Moscow and Irkutsk will reach Harbin in about 10 days.

It is at Harbin that those who go to Japan *via* Vladivostock and those who go to Japan, Peking, and Shanghai *via* Mukden and Dairen and those who go to Japan passing through Korea by the Antung-Mukden Railway are separated. The distance from Harbin to Vladivostock is about 729 Russian miles, and requires 22 hours.

Vladivostock is a splendid harbour facing the sea of Japan, and was built in 1906 upon the surrounding hills, and has a population of about 50,000. Not far from the station, there are situated the Grand Hotel, the Zoroitoig Hotel and the Hotel d'Almann. Between Japan and Vladivostock there is a periodical service three times a week;

both steamers of the Osaka Shosen Kwaisha and the Russian Volunteer Fleet are run as shown in the following table :--

Vladivostock	R. V. F. Steamer.			O.S.K. Steamer.		Tri-Weekly Steamer
	Tsuruga	noon 5.00 p.m.	Wed. Fri.	Sun. Wed.	noon 11.00 a.m.	

In order to visit China or Japan from Harbin, tourists arrive at the terminus of the Eastern Chinese Railway at Kwan-Chengtsu and in Changchun, change cars for the South Manchuria Railway whence in about of 7 hours they reach at Mukden.

From this station, they may reach straightway Dairen and Port Arthur, and turning to the right, they may reach Peking by taking the trains of the Imperial Railway of North China, and turning to the left, they may take the Antung-Mukden Railway train, arriving at Japan *via* Korea, the station forms the junction point. Taking the Southward journey, for about 8 hours towards Dairen, they may reach the starting point of the South Manchuria Railway. From Dairen to Shanghai there are two steamers run by the South Manchuria Railway Company, which keep up the regular service twice a week. From Dairen to Japan, there is bi-weekly steamship service of the Osaka Shosen Kaisha connecting Moji or Shimonoseki. Besides there are a steamship service of the N.Y.K. Steamship Co. and other special steamship services. The

distance between the two places is 620 nautical miles, and may be reached in 48 hours (2 days and nights). The steamer touching at Moji or Shimonoseki passes through the most superb scenery of the Seto Inland sea, and reaches Kobe. There is besides a steamship service to Nagasaki.

The points of landing in Japan are numerous. One way will be to land at Tsuruga through Vladivostock, the other way is to land at Shimonoseki by a steamship service connecting Fusan and Shimonoseki by the Antung Railway and the Korean railway or to arrive at Shimonoseki *via* Dairen, or else, they may land at Nagasaki, Moji or Kobe by taking the sea route from Europe and Australia, or they may land at Yokohama or Kobe *via* Seattle, San Francisco, Tacoma, and Vancouver by crossing the American Continent. The time and place of observation in this country must be decided according to these different places of landing.

Next, the time at the disposal for these travellers must be taken into consideration. Should the tourists have only a week, weeks two or three weeks in their disposal, they would simply get passing views of Tokyo, Yokohama, Kyoto, Osaka and Kobe. Places of interest must therefore be regulated by the time at their disposal. For instance in the vicinity of Tokyo and Yokohama, there are such places of interest as Kamakura, Enoshima, Miyano-shita, Shizuoka, Nikko and Sendai as well as Nagoya, Nara, Osaka, Yamada, Ise Province, Matsushima, Miyajima, Amano-Hashitate and etc. Should the travellers enjoy quiet rest, they should in summer visit either the sea-shore or the scenic beauty of the verdant hills, and

if winter, they may visit such hot springs as Atami, Kusazu, Shiōbara, Arima, Takarazuka, Ikaho, Dogo, Beppu and hundreds of other places of interest. There are also celebrated places for fishing and hunting. The travellers may enjoy life and comforts according to the time left at their disposal. The attached table shows the principal places of interest as arranged according to the time allotted to travellers.

The Southern limit of Japan, Formosa, is situated in $21^{\circ} 48'$ North Latitude and the Northern limit is located at $50^{\circ} 56'$, and therefore the whole island lies in the temperate zone, so that with some variation in the climate, there is neither heat nor cold so rigorous as not to be borne.

The best seasons adopted for sight seeing in Japan are the Spring from April to May, or from the latter part of September to November. The former season is noted for its sweet cherry blossoms, and the latter for the Chrysanthemums and tinted maples. In January, February and March it is cold in winter, except at the hot springs and other special places; and in Summer from the middle part of July, August and September, it is hot; but there are other places where the heat may be avoided, nor is the heat unbearable. From the latter part of June to July about 3 weeks the rainy season begins. In short, the best season for visiting Japan is the spring time from the latter part of March to May and the autumn from the latter part of September to November.

PUBLIC HOLIDAYS.

The following are the national holidays in which various offices, banks, companies and other public offices rest from their work.

January 1st, 2nd, 5th, ...	New Years Holidays.
January 30th	The Anniversary of the Death of the late Emperor Komei.
February 11th	The Kigen-Setsu Constitution Anniversary.
March 22nd	Spring Equinox (Shunki-Korei-Sai).
April 3rd	Emperor Jimmu Day.
September 23rd	Autumn Equinox (Shūki-Korei-Sai).
October 17th	The Kan-Name-Sai (Thanks Giving Day).
November 3rd	The Emperor's Birth Day.
November 23rd	The Niiname-Sai-First Fruits Day.

POST AND TELEGRAPH SERVICE.

The Imperial Post and Telegraph services are well organized throughout the country.

The classification of Domestic mail matter and postage rates are as follows:—

<i>1st Class.</i>	Letters, per each $\frac{1}{2}$ ounce or fraction thereof,
	3 <i>sen.</i>
	Printed Matter (not Sealed) for each $1\frac{1}{2}$ oz. or Fraction thereof, 2 <i>sen.</i>

2nd Class. Postal cards; single $1\frac{1}{2}$ *sen*, Return Postal Cards, 3 *sen*, sealed Postal Cards, 3 *sen*.

3rd Class. Periodicals published more than once a month: Single number per $2\frac{1}{2}$ oz. or fraction thereof $\frac{1}{2}$ *sen*; a packet containing 2 numbers or more per $2\frac{1}{2}$ oz. or fraction thereof 1 *sen*.

4th Class. Books, printed matter, business papers, photographs, Hand-writings, pictures, drawings, samples of merchandise, patterns and specimens relating to natural history, per $3\frac{3}{4}$ oz., or fraction thereof, 2 *sen*.

5th Class. Seeds, per $3\frac{3}{4}$ oz., or fraction thereof 1 *sen*.

The dimension 3 of general mail matter must not exceed $1\frac{1}{2}$ ft., in length, 10 inches in breadth, and 6 inches in depth, the weight being limited to 40 oz. in case of the 3rd, 4th and 5th classes; and $13\frac{1}{4}$ oz. in case of samples of merchandise and patterns.

The registration of mail matter is 7 *sen* extra.

Poste Restante.—Mail matter will be held at the post office of destination for 30 days. The fee is 3 *sen*.

The dimensions of a domestic postal parcel must not exceed $1\frac{1}{2}$ ft. in length, breadth, and depth respectively; and $2\frac{1}{2}$ ft. in length in case the parcel does not exceed $\frac{1}{2}$ ft. in both breadth and depth. The weight is limited to $12\frac{1}{2}$ lbs. and the registered value must not surpass *yen* 150.

Money Orders, Postal.—Domestic orders include Japan proper, Formosa, Saghalien and Korea. The fee for each Postal order not exceeding 5 *yen* called

Kogawase or "Petty Money Orders" is 3 *sen*. Ordinary Money orders:—Maximum 100 *yen*. Fees:—6 *sen* for a sum of not exceeding 10 *yen*; and 4 *sen* is added for the increased sum of every 10 *yen*.

To China the Fee is 10 *sen* up to 10 *yen*; and an additional 10 *sen* on every 10 *yen* up to 100 *yen*.

Money Orders, Telegraphic.—Throughout Japan Proper. Maximum, 100 *yen*. Fees, 30 *sen* up to 10 *yen*; 5 *sen* is added for the increase of every 10 *yen*.

To Formosa—Fees, 50 *sen* up to 10 *yen*; and an additional 10 *sen* on every 10 *yen*. Maximum, 100 *yen*.

To Saghalien, and Korea—Fees, 80 *sen* up to 10 *yen*; and an additional 10 *sen* on every 10 *yen*. Maximum, 100 *yen*.

Foreign Mails.—To Korea and the places in China where Japanese post offices are established, namely: Shanghai, Chefoo, Tientsin, Peking, Amoy, Soochow, Hankow, Hangchow, Shasho, Foochow, Nanking and Newchwang, the domestic postal rates are applicable.

To the Countries in the Postal Union, the following rates are applied:—Letters (not subject to any limit in weight or dimension) per 20 grammes, 10 *sen*; each additional 20 grammes 6 *sen*, Postal cards, single 4 *sen*, with reply 8 *sen*.

Printed matter per 50 grammes, 2 *sen* (one packet may not exceed 2 kilos. in weight and 42 centimetres in length, breadth or depth. In the form of a roll, however, a packet may be 75 centimetres in length and 10 centimetres in diameter).

Samples of merchandise, up to 100 grammes 4

sen, each additional 50 grammes 2 *sen* (one packet is limited to 350 grammes in weight, 30 centimetres in length, 20 centimetres in depth. In the form of a roll, however, a packet must not exceed 30 centimetres in length and 15 centimetres in diameter).

Commercial papers (both the limits of weight and dimensions are the same for printed matter) up to 250 grammes 10 *sen*, each additional 50 grammes 2 *sen*.
Registration Fee. 10 *sen*.

TELEGRAMS, (Domestic.)

Within a city or town; 10 *sen* for 15 *Kana* or Japanese character, with senders address included, and 3 *sen* for each additional 5 *kana*. The receiver's address being free of charge. 15 *sen* for 5 European words, and 3 *sen* for each additional word. The sender's and receiver's addresses being charged for.

Outside the city or town. 20 *sen* for 15 *kana*, and 5 *sen* for each additional 5 *kana* or any fraction thereof. 25 *sen* for 5 European words, and 5 *sen* for each additional word.

Between the Bohnin Islands, Formosa, Saghalien, and Japan proper. 40 *sen* for each 15 *kana*, and 10 *sen* for each additional 5 *kana*, 50 *sen* for 5 European words; and 10 *sen* for each additional word.

When an urgent message is required Government telegrams are charged double the ordinary rate, and for the private applicants three times as much as the ordinary rate will be charged.

FOREIGN TELEGRAMS.

	Per word.
Shanghai	<i>sen</i> 60
Hongkong	78
Tientsin	96
Peking	96
Chefoo	96
Vladivostock	72
Fusan	30
Seoul	<i>yen</i> .30
Chemulpo30
Manila	1.56
Singapore	2.02
India	2.02
Europe	2.82

(Russia excepted).

	<i>Via Shanghai.</i>	<i>Via Manilla.</i>
	<i>yen</i>	<i>yen</i>
New York and Boston ...	4.32	3.06
Philadelphia and Washington	4.58	2.90
San Francisco	4.58	2.82
Chicago	4.44	3.00
District of Columbia ...	4.40	3.06
Canada, Ontario, Quebec ...	4.32	3.14

Telephone exchanges are organized in nearly all the large cities and towns throughout Japan, and in these places there are many automatic telephone boxes everywhere in the city. The charge is 5 *sen* for the use of 5 minutes within the city limit.

CURRENCY; BANKS; MEASURES ETC.

In 1897 a gold standard system was adopted. The system is decimal. One *yen* is equivalent to about two English shillings or 50 cents U.S. gold. One *yen* contains 100 *sen*; one *sen* 10 *rin*. The currency consists of gold pieces of 20 *yen*, 10 *yen*, and 5 *yen*; of silver pieces 50 *sen*, 20 *sen* and 10 *sen*; of nickel pieces 5 *sen*; of copper pieces 2 *sen*, 1 *sen*, and 5 *rin*; and of the convertible notes issued by the Bank of Japan worth 1 *yen*, 5 *yen*, 10 *yen* and 100 *yen*, etc. It is advisable to carry paper money, or drafts, and circular notes of Banks for long journeys.

Banks.—At Yokohama, Kobe and Nagasaki, there the Hongkong and Shanghai Banking Corporation, Chartered Bank of India, Australia and China. The International Banking Corporation. Yokohama has arranged a system of Hotel Letters of Credit which should prove a great convenience to travellers. The Yokohama Specie Bank discharges important functions in the field of foreign trade and is much used by foreigners. The One Hundredth Bank has a number of correspondents abroad. The Industrial Bank of Japan, the Mitsui, the Mitsubishi, the First and the Fifteenth at Tokyo; and the Sumitomo and the Konoike at Osaka, are prominent banks in Japan.

TOUR NO. 1.

Yokohama	1/2 Day.
Tokio	2 "

Miyanoshita or Nikko	1 Day.
Kioto	2 "
Kobe	1/2 "
In transit...	1 "
								<u>7 Days.</u>

TOUR NO. 2.

Yokohama	1/2 Day.
Tokio	1 1/2 "
Nagoya	1 "
Kioto	1 "
Nara	1 "
Osaka	1/2 "
Kobe	1/2 "
In transit...	1 "
								<u>7 Days.</u>

TOUR NO. 3.

Yokohama	1 Day.
Tokio	2 "
Nikko	2 "
Miyanoshita	2 "
Nagoya	3 "
Kioto...	3 "
Miyajima...	1 "
Shimonoseki	1 "
In transit	1 "
								<u>14 Days.</u>

Nara	1 Day.
Osaka	1 "
Kobe	1 "
Okayama Inland Sea	1 "
Miyajima...	1 "
Shimonoseki	1 "
Nagasaki...	1 "
In transit...	3 "
							<u>30 Days.</u>

TOUR NO. 8.

Yokohama	1 Day.
Tokio	2 "
Nikko	2 "
Sendai Aomori	1 "
Hokkaido Yezzo	5 "
Kamakura	1 "
Miyanoshta	2 "
Shizuoka...	1 "
Nagoya	1 "
Kioto	3 1/2 "
Nara	1/2 "
Osaka	1/2 "
Kobe	1 "
Okayama...	1 "
Onomichi Inland Sea	1 "
Miyajima...	1 "
Nagasaki...	1 "
In transit	4 1/2 "
							<u>30 Days.</u>

Route No. 1. Landing at Yokohama.

Those who take this route are either from America or those who continue their journey to Europe and other places. They pass through Japan, taking the steamer at Kobe, Moji or Nagasaki.

YOKOHAMA.

Yokohama is one of the oldest and largest trading ports in Japan, and enjoys the most prosperous business relations with other countries. It has a population about 330,000. The city is the seat of the Kanagawa prefecture. There are Yokohama Specie Bank, other banks and the shipping offices. Among hotels, we may mention such as the Grand Hotel, the Oriental Palace Hotel, the Club Hotel, the Hotel Pleasanton, Wrights Hotel, Hotel de Geneve, Phoenix Hotel, Hotel de Paris, Windsor Hotel, Bluff Hotel, Shakespeare Hotel, Mikado Hotel, Yokohama Hotel, (Kanagawa).

THE CITY OF TOKYO.

The distance from Yokohama to Tokyo is 18 miles, and takes about 30 minutes by express train, 1st class fare being 75 *sen*, and the 2nd class 45 *sen*. Tokyo is the Capital of the Empire of Japan and is the seat of the Imperial Palace, and various departments. During the Shogunate, it was also the seat of the Government under the name of "Edo." It has a population of about 2,200,000, and in fact is the largest and the most prosperous city in

Japan. The hotels are the Imperial Hotel, the Hotel Central, the Tokyo Hotel, the Seiyoken Hotel, etc.

The city of Tokyo having a vast extent of area is full of renowned historic places of interest. It is necessary that tourists should spend at least a few days here. Beginning with Ueno, Shiba and Hibiya parks, we may mention such places of attraction as the Asakusa Park, the temple Kwan-non, the Kudan Yasukuni Shrine, the Yushukwan (trophy museum), the Imperial Museum, the Zo-



UENO PARK.

ological Garden and theatres. Cherry flowers, Chrysanthemum and tinted maples have their own proper seasons and places.

FROM TOKYO TO NIKKO.

In between the Ueno station (Tokyo) and Nikko, there

is the Omiya station. Omiya is situated at a distance of 17 miles from Tokyo and may be reached in about one hour; the station is the junction point of various lines leading to Takasaki, Naoetsu, Niigata and the North-Eastern system. Banskore is a noted hotel.

Karuizawa situated at an elevation of 3,270 feet above the sea level on a loose volcanic soil, it is the most favourite summer resort and may be reached from Tokyo in about 5 hours.

The Asama Volcano lies within the limited of one day's excursion from here.

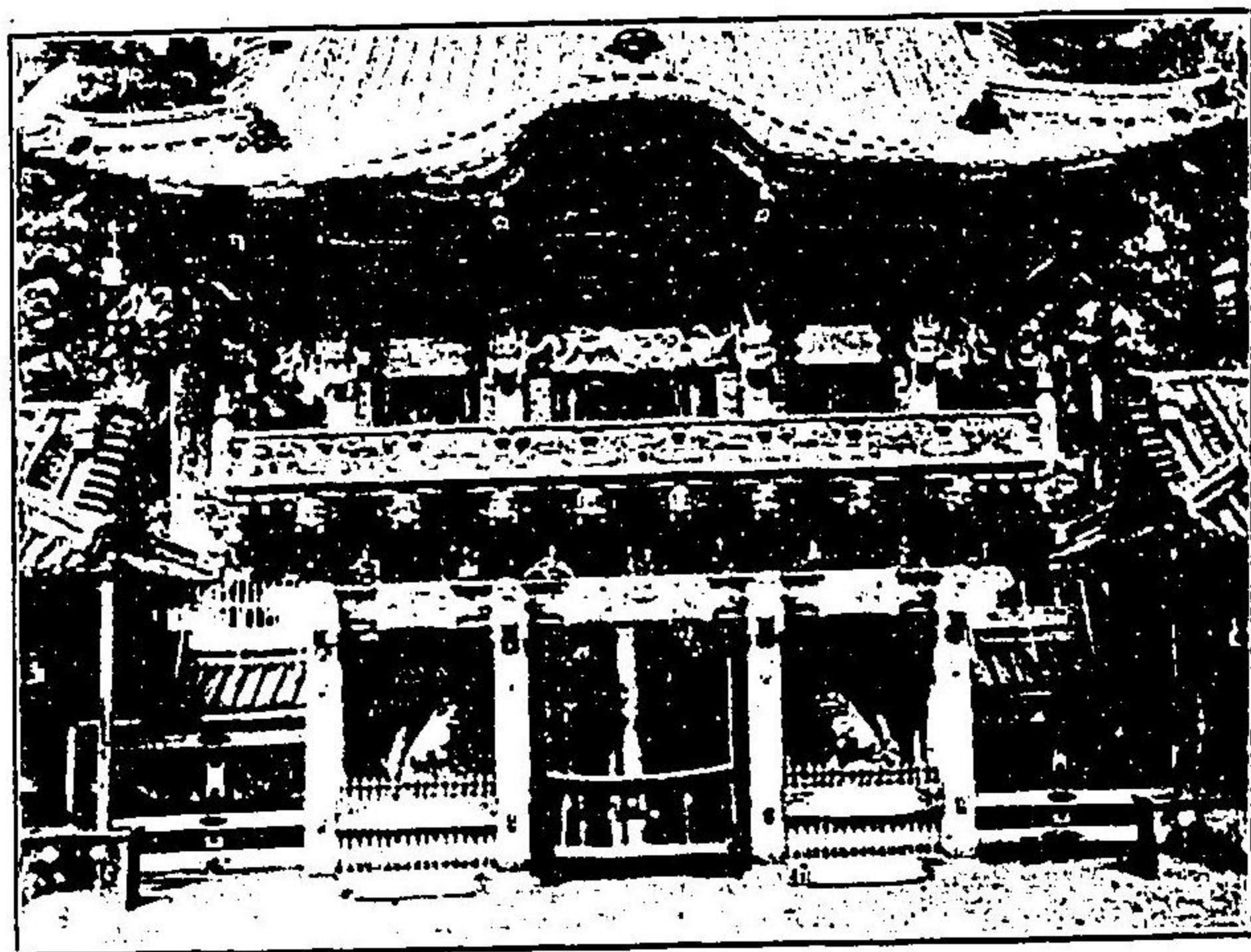
Hotels and the Manpei Hotel, the Karuizawa Hotel and the Mikasa Hotel.

The **Kusatsu** Hot Springs lies at a distance of 24 or 25 miles from Karuizawa, and may be reached on horseback in about 8 hours. There are found natural hot springs celebrated for medical cure. Hotels are the Ichii and the Shirane Hotel.

Ikao is a well known mineral spring, and may be reached in 5 or 6 hours. Hotels are the Ikao Hotel and the Kindayu Hotel.

Utsunomiya is situated at a distance of 66 miles from Tokyo, and may be reached in about 3 hours. Here the passengers must change cars, the station being the junction point of the Nikko branch. Hotels in Nikko are the Nikko Hotel, Kanaya Hotel, the Konishiya and the Kamiyamas. There are the tombs of Tokugawa Ieyasu the 1st Shogun and also of the 3rd Shogun. These temples were built in the 7th century, and enjoy a world-wide fame because of the fine awe-inspiring locality and celebrated architecture. In the vicinity of Nikko, there are the Kegon and other famous water-falls.

The Ashio Copper Mine lies about 17 miles from



YOMEIMON (Temple Gate), NIKKO.

Nikko. It is one of the largest and best known mines in the east.

Chuzenji is the most famous Summer resort. It is full of beautiful scenery being situated not far from Nikko. Hotel are the Lake Side Hotel and Komeya.

Yumoto is situated at a distance of 7 miles from Chuzenji, and is noted for the sulphur spring and hot baths. From Nikko, we may proceed to Mito, Sendai, and Matsushima, Sendai lies between Tokyo and Aomori, and is a prosperous city of about 100,000 population. The distance from Tokyo to Sendai is 217 miles, and may be reached in about 12 hours. The 1st class fare is *yen*. 6.55 *sen* and the 2nd class fare *yen* 3.93.

Matsushima is one of the three places noted for their scenic beauty. The bay of Shiogama shows an island entirely by covered with pine trees. The exquisite scenery baffles our power of description.

Going farther north-ward, Aomori will be reached, and then on the opposite shore stands Hakodate, which is the beginning of the Hokkaido. Between Aomori (*via*) and Hakodate there is a periodical steam service, and the distance may be covered in about 4 hours. The 1st class fare is *yen* 3.00 and the 2nd class fare *yen* 2.00.

The City of **Hakodate** forms the very gauge of the Hokkaido, when we approach from Japan proper. The city has a population of 88,000 and is a prosperous trading port. Hotels are the Hakodate Hotel and Katsuta. The principal capital of the Hokkaido is Sapparo, (180 miles from Hakodate and is reached in about 13 hours) *via* Otaru and Muroran.

Otaru is a trading port facing the sea of Japan. There is a periodic steamship service connection with Vladivostock and Karafuto, the Japanese territory of Sighalien. Apples and other fruits are exported from this port.

To Kobe from Tokyo o Yokohama.— After having completed their tour through Tokyo and Nikko, tourists may now direct their attention towards Kobe which in an express train from Tokyo may be reached in 13 hours, the distance being 375 miles. On their way they will find large cities such as Shizuoka, Nagoya, Kyoto and Osaka and other places of historic interest. Those who land at Yokohama and take steamer from Kobe will find it best to take this route.

Ofuna forms the junction point of the branch line to Kamakura and Yokohama.

Kamakura is situated at a distance of 30 miles from Tokyo, and may be reached in one hour.

The 1st class fare is *yen* 1.28 and the 2nd class fare is 77 *sen*. Kamakura was the seat of the Bakufu Government when the Genji family was in the ascendancy, but now it is a small fishing village. It is near Tokyo and renowned for its pretty scenery and numerous places of historic interest, and also for the well-known Daibutsu (the Image of Buddha) and the Hachiman Shrine. The hotel is the Kaihin-in Hotel.

Enoshima is a picturesque island, and may be reached from Kamakura in about 30 minutes by electric cars. The most celebrated hotel is Ebisuya Hotel.

Fujisawa.—There is an electric car service from here to Enoshima, but a transfer must be made on the way.

Oiso commands the prettiest scenery along the shore, and is a celebrated sea bathing place in summer time.

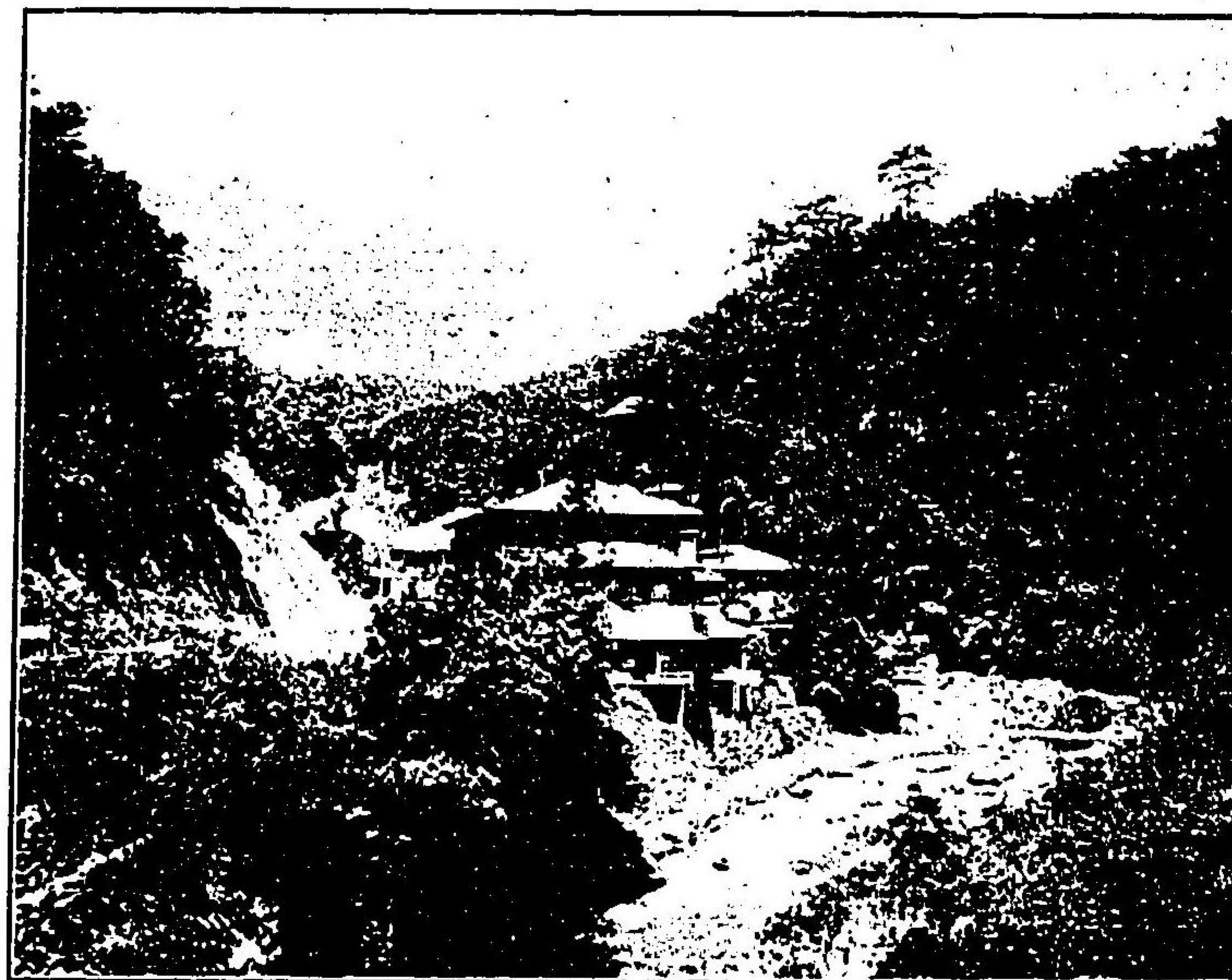
In order to reach Kozu, Odawara, Yumoto and Miyanoshita, we alight from the train, and take the electric cars. The distance from Shimbashi is 47 miles, and may be reached in 2 hours and a half. The 1st class fare is *yen* 1.95 and the 2nd class fare *yen* 1.17.

Miyanoshita.—There are here the Fujiya Hotel and the Naraya Hotel. After leaving the train at Kozu, there is an electric car running from Odawara to Yumoto, and thence by Jinrikisha, these hotels may be gained. Thus the journey from Tokyo takes about 5 hours. There are hot springs here and one enjoys beautiful climate and fine scenery. Foreign visitors should pay a visit here.

Hakone.—This is the general name for the 7

hot springs of Yumoto, Tōnosawa, Miyanoshita, Kiga, Sokokura, Ashino-ko with beautiful hills, valleys and lakes which make the whole district a splendid summer resort.

Gotenba is the station situated in the highest point in the Tōkaidō line being 1,489 feet above the sea



HAKONE TŌNOSAWA.

level. It is from this point that Mt. Fuji is climbed. This celebrated mountain is the highest mountain in Japan its peak reaching 12,370 feet, above the sea level, being capped with snow all the year round, and it presents a very fantastic shape of an inverted fan, and is highly admired for its beautiful and imposing appearance.

Sano.—This is well known for its 6 beautiful waterfalls, and in the vicinity there is the agricultural experimental farm.

Numazu is the best place as a summer resort being situated along the sea shore.

Suzukawa and Iwabuchi.—Between these two stations, we command a most perfect view of Mt. Fuji on the right side. Between Okitsu and Ejiri, we find on the right hand side a lovely scenic place covered with pine trees known as “Miho-no-Matsu-bara.”

Shizuoka.—This is one of the most important capital in the Tōkaidō, and is well known for its production of tea, lacquer and bamboo works. In ancient times, the Shogun Tokugawa had a castle here.

Maizaka.—Laka Hamana presents the finest view. The river Tenryū on this side of the station is celebrated for its rapid stream, the length being 150 miles.

Nagoya.—This is situated at a distance of 233 miles from Tokyo which may be reached in 8 hours and a half. The 1st class fare is *yen* 6.88 and the 2nd class fare *yen* 4.13. The city of Nagoya lies about half way between Tokyo and Kobe, and in fact ranks 4th among the cities in Japan, and is one of the largest in the Tōkaidō. It is a most prosperous commercial town with a population of 280,000. Staple products are lacquer wares, porcelains, watches and fans. The Nagoya castle in the city is well known for its two beautiful golden dolphins which decorate both ends of the roof of the castle.

The Kansai line starts at Osaka, and is connected with the Tōkaidō line in Nagoya. Those who are travelling westward may pay a visit to the Yamada shrine at Ise by the Kanasai line, and may well reach Kyoto, but the regular route is to go to Yamada, Kyōto and Ōsaka after leaving Nagoya. On the way from Nagoya

to Kyoto, we pass Gifu, Ōgaki, Maibara and Baba.

Nagoya-Yama.—We pass Yokkaichi on the way, and the distance may be covered in 5 hours, being 73 miles. The 1st class fare is *yen* 2.83 and the 2nd class fare *yen* 1.70. Yamada is the sacred shrine where the forefather of the Yamato race is enshrined. There is constant pilgrimage made to the sacred place all the year round. “Ise-ondo” classic dance is seen here. Hotels are the Gonikai Hotel and the Yamada Hotel.

The beautiful scenery of Futamiga-ura is found at a distance of 5 miles from here.

On the route from Yamada to Kyoto, we pass Kusazu, and have to travel a distance of 87 miles which takes us about 8 hours. The 1st class fare is *yen* 3.28 and the 2nd class fare *yen* 1.97.

Gifu is worth a visit because it is in the neighbourhood of the city there is a famous cormorant fishing seen in Nagara-gawa. There are the Tamaiya and the Tsunokuniya inns.

Ōgaki.—From this place, we may behold an ancient castle of the Lord is to be seen from the train, and the famous Yōrō-no-taki is found not far from here.

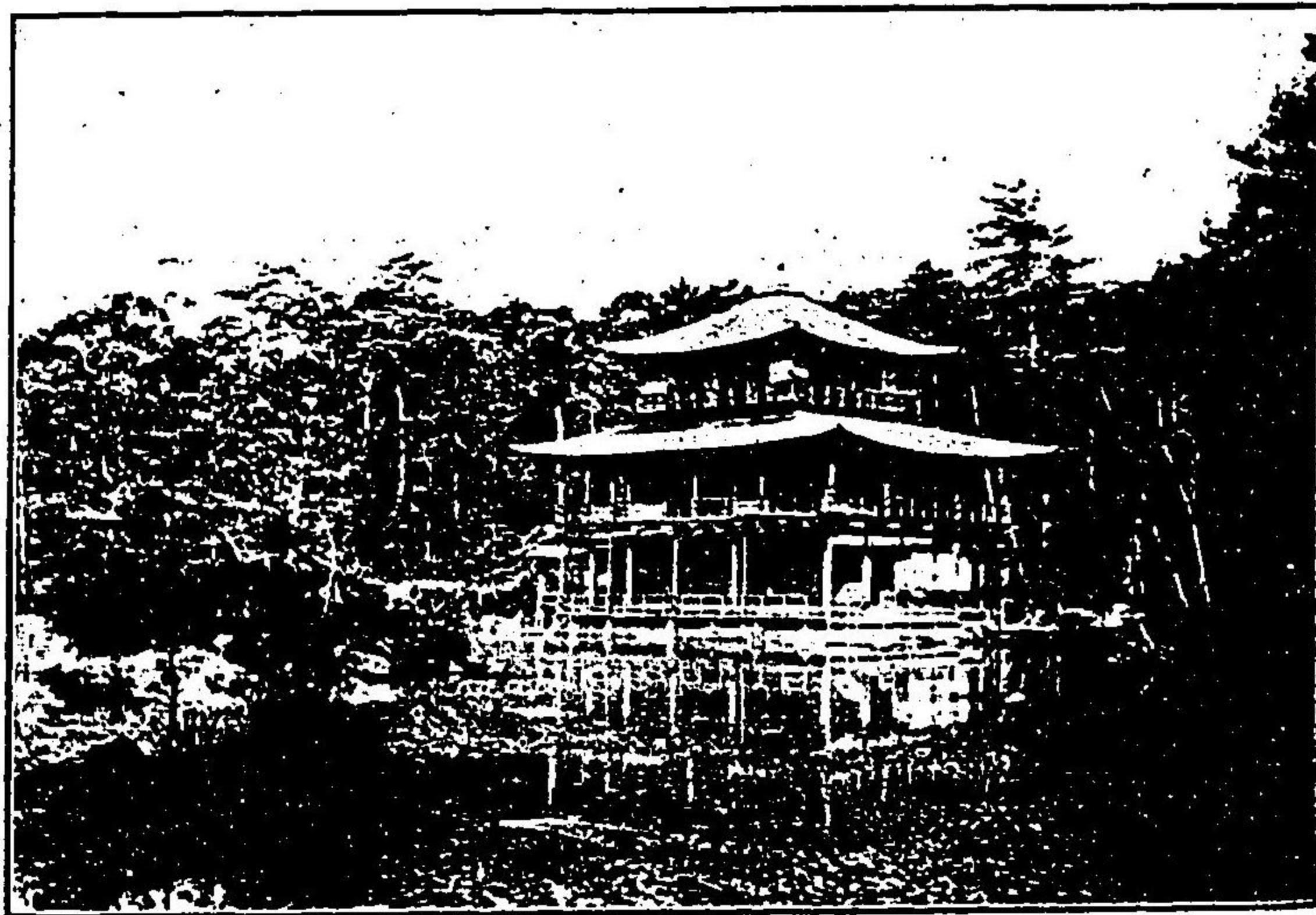
Maibara is the junction point of Tsuruga, Kanazawa and Toyama lines. Passengers for Vladivostock passing through Tsuruga have to change cars 5 in this station coming either from Tokyo on the east, Kyoto, Osaka, and Kobe in the west.

Hikone.—This place is also known for its ancient castle.

Baba.—The beautiful sight of Lake Biwa may be enjoyed from the train. The celebrated eight scenes of

Ōmi lie in the neighbourhood of Ōtsu where may be reached by a branch line about 1 mile from here. The inn is the Hakkei-kan.

Kyoto is situated about 328 miles from Tokyo, and the distance may be covered in 11 hours and a half. The 1st class fare is *yen* 8.70 and the 2nd class fare *yen* 5.22. Successive Emperors resided in this ancient capital

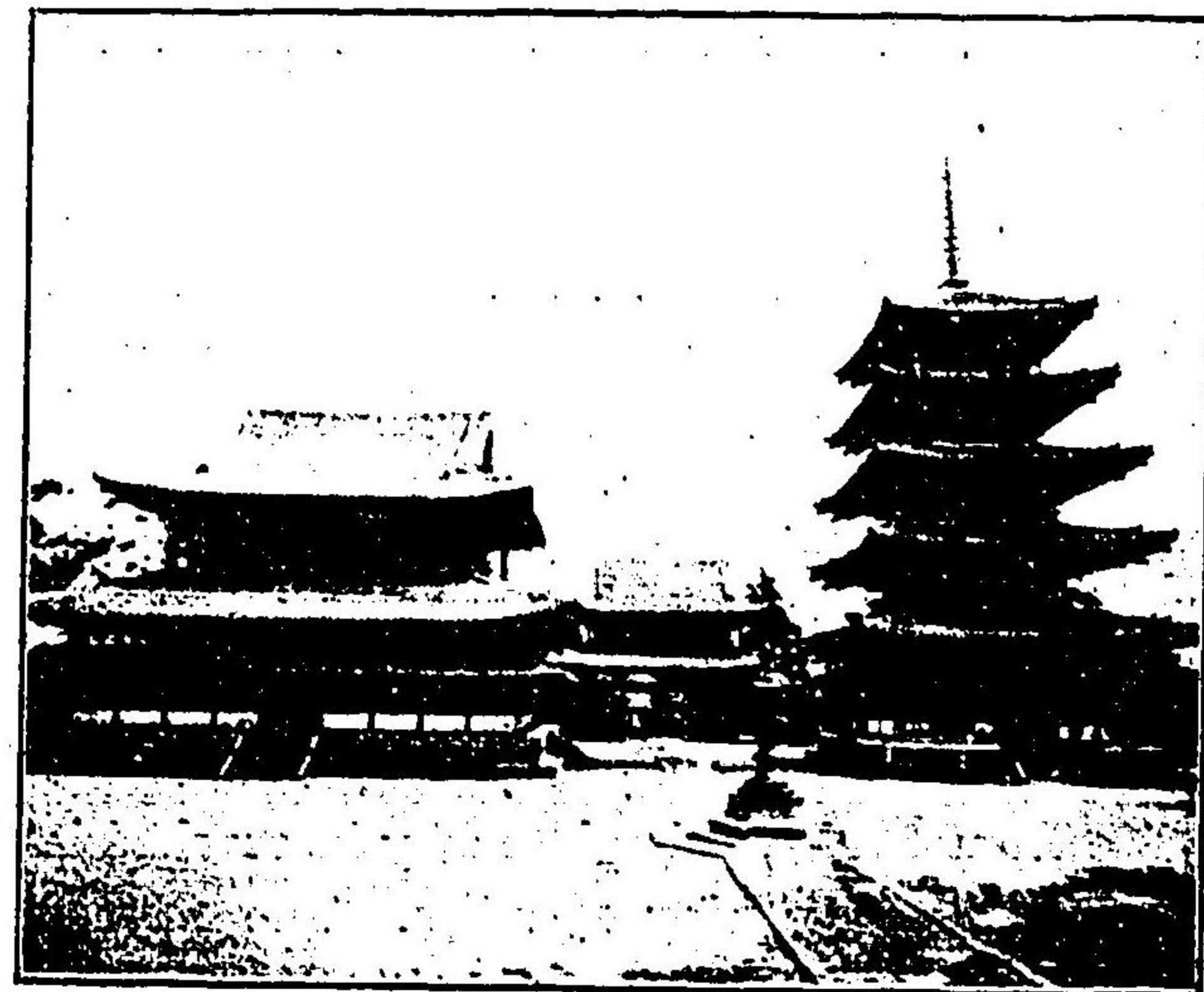


KINKAKUJI.

until 1868 when the capital was removed to Tokyo. Kyoto has a population of 450,000 and among rank the 3rd the cities in Japan. The city is noted for fine arts and technical industry. Principal products are embroidery, porcelain and cloisonne works. Kyoto is noted for its fine arts, the genteel and refined manners of the people and the quiet natural scenery that attracts foreigners of various nationalities. There are beautiful large temples, the pride of

architects in various periods. Of the places of interest, we may mention the East and West Honganji, Kinkakuji, Ginkakuji, the Kitano-tenjin and Arashiyama, etc. Passengers may enjoy a quiet and serene life for a couple of days refreshing their weary minds. Hotels are the Miyako Hotel, the Kyoto Hotel and the Yaami Hotel. After doing with Kyoto, travellers may take the opposite course that is to Tokyo, and taking the Yamada shrine on the way. (Vide description of Yamada on page). Then may arrive at Nagoya by the Kansai line. While in Kyoto, a day may be spent for visiting Nara or after doing Kyoto, Nara may be visited before arriving at Osaka.

From **Kyoto** to **Nara**.—Uji is celebrated for its tea plantations, and a considerable quantity is exported.



HORYU-JI.

Nara.—In ancient times, there was the Imperial Court, the place presenting most beautiful scenery. It is here that we find the Daibutsu, in the greatest image of Buddha. The Hōryū-ji is the oldest temple in Japan, having been built in 607 A.D. There are the Hotel and the inn Kikusui-rō.

Yoshino is noted for its pretty cherry flowers.

Osaka may be reached from Kyoto in about 50 minutes, the distance being about 26 miles. The 1st class fare *yen* 1.13 and the 2nd class fare 63 *sen*.

Osaka is the largest city in Japan next to Tokyo. It has a population of 1,250,000. It is the most prosperous city being the commercial centre of Japan. Canals run in all directions, being spanned with bridges and the streets being crowded with passers-by. There are many places of interest such as the Osaka castle and the Imperial Mint. There are the Osaka Hotel and the Nippon Hotel.

FROM OSAKA TO TAKARAZUKA AND ARIMA HOT SPRING.

Kanzaki.—Passengers arriving from Kobe or Kyoto shall change cars to the Hankaku line at this place.

Takarazuka.—By changing cars to the Hankaku line from Ōsaka, this place may be reached in about 1 hour, the distance being 15 miles. The 1st class fare 65 *sen* and the 2nd class fare 39 *sen*. It is well known for its hot springs.

Sanda.—Passengers bound for Arima and alight from the train here. The distance to Arima is 6 miles. The Arima hotel and the inns Masudaya and Sugimotoya are found here. Both in winter and summer, the place is a favorite resort, and bamboo works may be taken as a souvenir. Should passengers have leisure and wish to visit Maizuru, Miyazu and Amano-Hashidate, they have to take a northward course from Sanda.

Maizuru may be gained in five hours. This is the only naval station facing the sea of Japan. To Miyazu there is a periodic steamship service every day.

Amano-Hashidate is one of the three celebrated places of scenic beauty in Japan. Green pines covering the stretched white sand present a picturesque sight.

The distance between Osaka and Kobe is about 20 miles, and may be reached by train in $\frac{3}{4}$ of an hour. The 1st class fare is 85 *sen* and the 2nd class fare is 51 *sen* while between these two places there are electric cars running.

Kobe is a large trading port, next to Yokohama, and is situated about the central part of Japan. It has a population of 378,000. In the harbour, there are assembled vessels of different countries since steamers running between Europe, America and Oriental countries call at this port. The Hotels are the Oriental Hotel, the Mikado Hotel, the Tor Hotel, the Grand Hotel, the California Hotel, the Club Hotel, the Hotel Francis, and the Glenlea Hotel.

LANDING AT TSURUGA.

THE ROUTE FROM TSURUGA TO TOKYO OR KOBE.

Passengers leaving Vladivostock by the Trans Siberian railway for Tsuruga by the steamship services will arrive at Tsuruga in about 40 hours.

Tsuruga is an important commercial port facing the Japan sea, and thence we may visit Fukui (A Habutaye producing district) and Kanazawa. The distance between Tsuruga and Maibara is about 30 miles, and may be covered in two hours. It is at this place that a junction is formed with the Tōkaidō line.

Landing at Kobe.—Passengers who are desirous of reaching America from the west and south by sea by passing Hongkong and Shanghai may land at Kobe, and may take steamer from Yokohama. Those passengers are advised to do the principal places mentioned under the heading "From Tokyo or Yokohama to Kobe" according to the time at their disposal, and if they have time, they should do all these places mentioned before in the reverse order. At the same time, those passengers coming from Yokohama to Kobe and those who landing at Kobe who propose to go to Kobe and Nagasaki should take notice of the accounts given of the routes between Shimonoseki and Kobe as well as Nagasaki and Kobe.

Landing at Nagasaki.—From **Nagasaki to Kobe.**—This description of the route is in-

tended for the benefit of those from the west and the south sea islands who land at Nagasaki *via* Hongkong and Shanghai and wish to sail from Nagasaki.

By the Siberian railway, they start from Harbin and by the South Manchuria Railway pass through Dairen arriving at Moji or those leaving Harbin and by Antung-Mukden and Chosen Railway, and arrive at Moji by the steamship service connecting Shimonoseki and Fusan and wish to Kobe and Tokyo will take this route at Moji and those going for Nagasaki should take the backward course to Nagasaki.

Nagasaki is the oldest port which was visited from the earliest period by foreign steamers. It has a population of 178,000 and forms the western terminus of the Kyushu railway. The Mitsubishi dockyard in the harbour is the foremost in the east. Nagasaki is well known for tortoise shells. Hotels are the Nagasaki Hotel, the Japan Hotel, the Cliff, House Hotel, the Hotel de France, the Hotel Antoinette, the Unzen Hotel, and the Ikkakuro Hotel. The Obama hot springs may easily be visited from Nagasaki. The Michi-no-o hot spring lie some three miles from Nagasaki.

From **Nagasaki to Moji.**—On the way from Nagasaki to Moji, one passes such important cities as Haiki, Tosu, Hakata and the railway lines connecting these places are called the Kyushu railway, the distance being 164 miles.

About half an hour's train ride will bring us to Nagayo, and passing through a few tunnels, the line runs along the Ōmura harbour presenting a beautiful sight.

Haiki (49 miles) forms the junction point of the Saseho naval harbour branch line.

Arita (56 miles) is celebrated for the production of porcelain.

Takeo is about 65 miles from Nagasaki, and may be reached in 5 hours. This little town is hemmed in by pretty hills, and is known for its hot springs. Hotels are the Tokyo-ya Hotel, the Toyokan Hotel and the Hill-Side Hotel.

Tosu is the junction point of the Kumamoto and Kagoshima line.

Futsukaichi lies near the station, and there is the Musashi hot spring. The Dazai-fu Shrine is situated about 2 miles from the station, and an electric car service is available. The place is noted for plum blossoms.

Hakata combined with Fukuoka is known as Fukuoka now, and is the most celebrated place in central Kyushu, for its silk textile fabrics known as the Hakata-ori.

Orio is the junction point of the Wakamatsu branch. Wakamatsu, there is a coal depot for the coals obtained from the provinces of Chikuzen and Busen, and the export trade is prosperous.

Kokura.—Towards the left of Kokura there is a large works with numerous chimneys which is the famous Edamitsu Iron Foundry, and is regarded as the largest iron works in the East. The celebrated Yabakei, a place of scenic beauty may be reached by train in about 4 hours passing through Nakatsu.

Moji is situated at a distance of 165 miles from Nagasaki. The Hotels are the Moji Hotel and the

Ishidaya. Moji forms the northern terminus of the Kyushu railway. Twenty years ago, it was nothing more or less than a desolate fishing village, but at present, it has a population of about 40,000. There are numerous vessels moored in the harbour, it being a most important trading port. All the steamers from Dairen, Chemulpo, Shanghai, Hongkong and other eastern ports, and American ports call at this harbour.

There is a periodic steamship service in connection with Shimonoseki.

FROM SHIMONOSEKI TO KOBE.

Shimonoseki lies on the opposite shore of Moji; it is an important trading port forming the terminus of the Sanyō Railway.

With Fusan (Korea) there is a periodic steamship service run by the Imperial Railways. Passengers arriving at Japan by Siberia, South Manchuria, Antung-Mukden and Korean Railways from here.

On the way from Shimonoseki to Kobe, we pass through places of pretty scenery and important cities such as Miyajima, Hiroshima, Okayama, Himeji, Akashi, Maiko and Suma. The total line is 329 miles, and may be reached in 13 hours. The 1st class fare is *yen* 8.70 and the 2nd class *yen* 5.22.

Miyajima may be reached from Shimonoseki in 4 hours, the distance being 126 miles. The small island in the sea opposite the station is called Miyajima or Itsukushima to which a small steamer plies, Miyajima.

with Matsushima and Amano-Hashidate forms one of the three beautiful sights in Japan. Those who are really entitled to appreciate the fine scenery of Japan must pay a visit here. The Hotels are the Mikado Hotel and the Iwasō.

Hiroshima is a prosperous city in the western part of the Sanyō Line. It has a population of about 143,000. For Ujina, there is a branch line of the railway from here.

Takahama. (Shikoku) may be reached in 4 hours by steamer. The 1st class fare is *yen* 1.40 and the 2nd class is *yen* 1.00, while Matsuyama or Dogo may be reached by train in about one hour and a half. In Dogo, there is a celebrated hot spring. The Inns are the Funazu and the Chakin.

Onomichi is a splendid harbour of the inland sea of Seto. There is a steamship service under the control of the Imperial Railways with Tadotsu, Sanuki province, and the distance is covered in 3 hours. The 1st class fare is *yen* 1.40 and the 2nd class fare *yen* 1.05. The district is noted for the Kotohira Shrine with its fine scenery.

Okayama is the capital in the central part of the Sanyo Line. The city is prosperous, being the seat of the prefectural government with a population of 93,000. Koraku-en is one of the three largest parks in Japan. The principal product of the city is mattings. There is a periodic steamship service of the Imperial Railways to Takamatsu Shikoku, and the distance may be covered in 4 hours.

Himeji.—From the train we can see a white

building in the left side which is called "castle of snowy-heron." From Himeji there is a branch line running to Ikuno which is celebrated for its silver mine.

Akashi, Maiko and Suma.—So far, the train has been running among the mountains or along the sea shore with different beautiful parts of scenery, but at Akashi, Maiko and Suma our eyes are confronted with a vast space of white sand knitted with green pine leaves, and on the opposite side there is seen Awajishima, a place of exquisite beauty. After completing these visits,



MAIKO-NO-HAMA.

we take a train from Shimonoseki, and arrive at Kobe after having travelled about 330 miles.

Trip to Formosa.—From Japan to Formosa, there is a steamship service of the Nippon Yusen Kaisha and the Osaka Shosen Kaisha 4 times a month from Kobe to Keelung *via* Moji. The distance is 990 nautical miles which may be covered in about 4 days. The 1st

class fare is 36 *yen* and the 2nd class fare 24 *yen*. The new routes of both these companies are run by steamers of over 6,000 tons with complete and satisfactory equipments, so that a pleasant voyage may be enjoyed even along the Formosan coast waves are high and rough.

Journey in Formosa.—From Keelung to Takao—Keelung in the north eastern part of Formosa, and is an important harbour having close connection of communications with Japan. The port is surrounded by hills on three sides, with the northern part facing the sea. The water is deep inside the harbour and is the best available port in Formosa. Inns are the Takasagoya and others.

Keelung is the starting point of the Formosan Railway and at present a trunk line of 242 miles is formed reaching to Takao.

Daihoku.—This may be reached from Keelung in one hour and a half, the distance being 18 miles. The 1st class fare is *yen* 1.10 and the 2nd class fare 55 *sen*. Taihoku is the capital of Formosa, and has a population of about 100,000. The office of the Governor—General is situated here. Among the hotels we may mention the Railway Hotel (European style) and Inns Choyogo and Hinomaru—kan.

Hokuto.—It is noted for its sulphur hot spring and for healthy and beautiful climate.

Shinchiku the distance from Keelung is 63 miles, which may be reached in 5 hours and a half. This is the most important capital in Northern Formosa.

Taichu is the most important city in the central part of Formosa. It has a new park near the station. The inns are Maruyama-kan and Harada-kan.

Tainan is situated at a distance of 213 miles from Keelung. It has a population of about 50,000. Formerly there was the administrative office in China. It has a pretty garden and old temple.

Anpei.—This port is situated about 2 miles and a half along the western shore. From this port, there is the Hongkong service of the Osaka Shosen Kaisha.

Takao.—This forms the terminus of the Formosan Railway, and may be reached in about 13 hours the distance being 242 miles. The hotel is the Takao Hotel.

The Takao harbour is surrounded by hills on all sides. It is an important harbour with deep water. Almost all the coast steamship service has connection with this harbour.



THE "CHOSEN" KOREAN RAILWAY.

The railways in Chosen have a length of about 700 miles at present (July, 1911). These consist of a trunk line which starts from Fusan and after touching Taikyu, Taiden, Ryuzan, Keijyo (Seoul), Kaijyo, Heijyo (Pyong Yang) &c., terminates at Shingishu and branch lines leading to Masan, Renzan, Jinsen (Chemulpo), Chinnampo &c. Besides, the Konan line measuring over 170 miles which leads to Kunzan and Moppo on the southern coast from Taiden on the Keijyo-Fusan line as well as the Keijyo-Genzan line measuring 130 miles which diverges from Ryuzan to Genzan, are under construction. The Konan line has partly been opened to traffic and, all the construction works being pushed forward, it will be in no distant future that lines open to traffic arrive at 1,000 miles.

In the south, the ferry service between Fusan and Shimonoseki is maintained by speedy up-to-date steamers under control of the Imperial Government Railways of Japan. In the north, connection is made across the river Yalu by steam-boats (or by sleds in winter) with Antung, China.

The Chosen Railway, therefore, promises to become the shortest overland route between Japan, Chosen and Europe and one of the most important stock lines of the round-the-world traffic upon accomplishment of the bridge over the river Yalu as well as the reconstruction of the Antung-Mukden line, both of which have mostly been completed.

Fusan (120 nautical miles from Shimonoseki) is situated on the south-eastern coast of the peninsula. The well-known Zetsuycito or "Deer Island" lying just in front of the harbour, give an excellent shelter to the bay. The harbour is of sufficient depth and ferry boats plying between here and Shimonoseki every morning and night get alongside the pier while the railway station newly constructed on a reclaimed land affords ample facilities to passenger landing and leaving. Fusan, holding a very important position as a commercial gateway in the Far East, is expected to be one of the most flourishing business place. Ryutozan and Ryubizan stand in the sphere of Fusan and from its eminence a bird's eye view of the town may be enjoyed.

JAPANESE HOTELS:—Oike, Moriya, Naruto, &c., etc.

Masan, the terminus of the Masan branch line, is situated 25 miles distant from Sanroshin and 160 nautical miles from Shimonoseki. It stands on the lake-like bay, well protected by a large island called Kyosaito lying in the entrance of the bay of Chinkai. It has the highest reputation for its mild temperature and beautiful sceneries and no place in the country surpasses as a resort for all seasons.

JAPANESE HOTELS:—Yoshikawa Bogetsu &c., &c.

Taikyu, the most important town between Fusan and Keijyo, is situated in the North Keisho Province and thrives as the central market place of the neighbouring districts where a rich plain spread out and grains fruits, tobaccos &c. are abundantly produced.

JAPANESE HOTELS :—Taikyu-Kwan, Tadayu, &c., &c.

Taiden was only a small lonely village before the opening of the railway traffic. It has made a rapid progress and is making still further advance in every respect since it has been decided to be a junction for the Konan line leading to the ports of Kunzan and Moppo. The Konan line which is in the course of construction has partly been completed and traffic is now being operated here and Renzan, the distance being 25 miles.

Seikwan is noted for a battlefield in the Sino-Japanese war. It holds an important position as a dividing point of roads leading to Gasan and Tompo. A noted gold mine called Shokusan is situated at a distance of 7 miles from this town.

Suigen is an ancient historical place. It has no equal in the country in its splendor of natural views and passengers may enjoy here beautiful landscapes from car windows. An extensive plain is very fertile and agriculture products are richly raised. Pine trees numbering to 6,000,000 were newly planted by the Government on Kwasan, an old Imperial mausoleum, forming the largest model afforestation in the country. Apart a little from the railway station, there stands a Agricultural and Industrial Model Farm which is controlled by the Government for the improvement of the backward agriculture in this country.

Yeitoho. From this town a branch line diverges to Jinsen passengers from the Fusan direction have to change a car here.

Ryuzan where the Keijyo-Shingishu line starts and divides it from the Keijyo-Fusan line is situated about

1 mile this side of the Keijyo (Nandaimon Station). It is the most important trading post on the bank of the river Kan. It has made rapid progress after the Russo-Japanese War and is now making speedy evolution. The head office of the Chosen Railway as well as the head quarters of Army stand here. It is connected by electric cars with Keijyo. The Keijyo-Genzan line now under construction diverges from here and therefore Ryuzan will be the most important business place in future.

JAPANESE HOTEL :—Taiyo-kwan.

Keijyo. There are two railway stations here at Nandaimon (South Gate) and Seidaimon (West Gate), the latter being the terminus of the Keijyo-Fusan line. It was the capital of Korea and is now the seat of the Government-General of Chosen. Mountains surrounding the city and the tranquil stream of the river Kan flowing by it present a panoramic sight. It is encircled by a stone wall pierced by eight gateways which measure about 5 miles. The city which is thickly populated and whose streets are always crowded with busy people, affords ample opportunities to visitors desiring to study the country and to see the things Korean. Shoro (Bell Street) with a colossal bell at a corner is the central and liveliest street. Among others, Keifuku palace, Pagoda Park, Wajyodai, East and North Imperial Mausoleums are places of attraction.

EUROPEAN HOTELS :—Sontag Hotel, Astor House Hotel.

JAPANESE HOTELS :—Hajyo-kwan, Tenshin-ro, Keijyo-Hotel, &c., &c.